

平成30年度

鹿児島学習定着度調査結果及び対策

[平成31年1月調査]



令和元年5月

鹿児島市教育委員会

目 次

I	本報告書の見方	1
II	調査結果の概要	2
III	学力調査の結果	
1	国語	4
2	社会	12
3	算数・数学	20
4	理科	28
5	英語	36
IV	児童生徒質問紙調査の結果	42
V	今後の対策－主体的・対話的で深い学びを実現するために－	49

表紙写真：福元 徹

I 本報告書の見方

本調査の結果及び対策は、鹿児島県教育委員会が平成31年1月に実施した鹿児島学習定着度調査における鹿児島市に係るものです。

については、各学校において、本冊子を活用し、本市全体の状況を把握するとともに、全市的な傾向との比較・分析などを通して自校の課題を明確にし、今後の個に応じたきめ細かな指導や問題解決的な学習活動など、教員の指導方法の工夫や児童生徒の学習状況の改善を図ってください。

【調査内容に関する表記について】

本調査では、学力調査と学習状況調査が行われています。学力調査は、次の二つの内容で出題されています。

- ① 主として「基礎・基本」に関する問題・・・本書では、「基礎・基本」と示しています。
- ② 主として「思考・表現」に関する問題・・・本書では、「思考・表現」と示しています。

②の問題は、次の内容を問うものであり、本書では各教科ごとに「思考・表現1」などと番号を用いて示しています。

教科名	番号	主として「思考・表現」に関する問題の内容
国 語	1	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用して課題解決する問題
	2	身近な資料を用いて、表現の仕方や文章の特徴を捉え、自分の表現に役立てることができるようにする問題
	3	複数の情報を関連付け、それを基に自分の考えを論理的に書くことができるようにする問題
社 会	1	社会的事象の特徴や背景・原因等について、自分の考えを筋道立てて説明する問題
	2	提示された資料を関連付けたり、比較したりして読み取ったことを基に、社会的事象について説明する問題
	3	歴史的事象の相互の関係を判断したり、社会的事象について正しく説明しているものを判断したりする問題（選択肢による出題）
算数・数学	1	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用して課題解決する問題
	2	示された課題解決の過程を、新たな課題に活用して解決する問題
	3	課題解決の方法や判断の根拠などを言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて、筋道立てて説明する問題
理 科	1	観察、実験の結果（事実・データ）から結論を考察する問題
	2	原理、法則を他の身近な現象に当てはめて説明する問題
	3	視覚的に実感しにくい現象をモデルで説明する問題
英 語	1	「聞くこと」においては、聞き取った英語を基に、英文を完成させたり、英語の質問文に英語で答えたりする問題
	2	「読むこと」においては、文と文のつながりや段落と段落の関係、内容に合う英文選択などを問う問題
	3	「書くこと」においては、対話やまとまりのある文章における流れや文と文のつながりに留意し、適切な英文を書く問題

II 調査結果の概要

1 調査の概要

(1) 趣旨

ア 基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等に関する学力状況及び児童生徒の学習に関する意識や学び方などの学習状況の把握

イ 市全体の状況把握、個に応じたきめ細かな指導方法の工夫・改善

(2) 内容

小学校：国語・社会・算数・理科、児童質問紙、学校質問紙

中学校：国語・社会・数学・理科・英語、生徒質問紙、学校質問紙

(3) 実施日

平成31年1月16日(水)・17日(木)

(4) 対象

全ての市立小・中学校

学校種	学年	調査実施校数		調査実施児童生徒数	
		鹿児島市	鹿児島県	鹿児島市	鹿児島県
小学校	第5学年	77校	491校	5,065人	13,637人
中学校	第1学年	39校	212校	4,494人	12,423人
	第2学年	39校	218校	4,493人	12,413人

2 学力調査の結果

(1) 各教科の平均通過率

	学年	基礎・基本			思考・表現			全体			
		市(%)	県(%)	差(市-県)	市(%)	県(%)	差(市-県)	市(%)	県(%)	差(市-県) (H29)	
国語	小5	65.3	64.8	0.5	49.6	47.5	2.1	61.1	60.1	1.0	(0.6)
	中1	65.7	63.2	2.5	61.2	58.5	2.7	64.4	61.9	2.5	(2.3)
	中2	72.9	71.0	1.9	60.0	58.4	1.6	69.4	67.6	1.8	(1.0)
社会	小5	80.4	79.8	0.6	57.7	58.1	-0.4	73.2	72.9	0.3	(0.3)
	中1	70.8	68.8	2.0	47.7	46.5	1.2	63.9	62.2	1.7	(1.8)
	中2	55.9	54.9	1.0	42.7	42.6	0.1	52.0	51.2	0.8	(1.0)
算数・数学	小5	77.6	78.0	-0.4	62.5	62.3	0.2	72.6	72.8	-0.2	(0.4)
	中1	68.6	68.0	0.6	41.6	39.0	2.6	60.9	59.7	1.2	(2.0)
	中2	68.4	65.1	3.3	58.8	54.1	4.7	64.6	60.8	3.8	(1.2)
理科	小5	59.6	59.7	-0.1	49.0	47.8	1.2	55.0	54.6	0.4	(0.0)
	中1	64.7	62.2	2.5	55.5	53.9	1.6	61.4	59.2	2.2	(2.4)
	中2	58.4	55.9	2.5	41.3	39.0	2.3	52.7	50.3	2.4	(0.0)
英語	中1	77.3	76.5	0.8	68.2	67.9	0.3	73.9	73.3	0.6	(3.7)
	中2	61.7	58.3	3.4	43.4	41.4	2.0	54.6	51.7	2.9	(3.0)

(2) 結果の概要

小学校は、社会の「思考・表現」、算数の「基礎・基本」及び「全体」、理科の「基礎・基本」以外において県平均通過率を上回っている。

中学校は、全ての教科で「基礎・基本」、「思考・表現」、「全体」のいずれも県平均通過率を上回っている。

3 児童生徒質問紙に対する回答の割合

(1) 家庭学習について

※ ①の〔 〕はH29の数値

質問内容	学年	市(%)	県(%)	差(市-県)
① 家で、学校の宿題をしていますか。 (質問1) ※ 「している」「どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合(②も同じ)	小5	95.0 〔84.5〕	84.0 〔84.1〕	11.0 〔0.4〕
	中1	92.6 〔77.8〕	78.6 〔79.7〕	14.0 〔-1.9〕
	中2	88.4 〔76.0〕	73.8 〔76.9〕	14.6 〔-0.9〕
② 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。 (質問3)	小5	65.7	65.8	-0.1
	中1	57.4	58.0	-0.6
	中2	50.4	50.5	-0.1

(2) 学校での学習活動について

※ 〔 〕はH29の数値

質問内容	学年	市(%)	県(%)	差(市-県)
③ 授業中に、自分で考えたり、自分から進んで活動に取り組んだりしていますか。 (質問16) ※ 「よくしている」「どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合	小5	76.2 〔77.6〕	78.0 〔78.0〕	-1.8 〔-0.4〕
	中1	72.1 〔72.0〕	73.7 〔72.5〕	-1.6 〔-0.5〕
	中2	70.3 〔71.2〕	71.4 〔71.3〕	-1.1 〔-0.1〕
④ 授業中に、先生から教えてもらったことや友達と話し合ったことなどを通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか。 (質問17) ※ 「よくできている」「どちらかといえばできている」と回答した児童生徒の割合(⑤も同じ)	小5	72.5 〔73.3〕	74.0 〔72.0〕	-1.5 〔1.3〕
	中1	73.0 〔72.2〕	73.1 〔71.4〕	-0.1 〔0.8〕
	中2	72.4 〔71.6〕	71.8 〔71.1〕	0.6 〔0.5〕
⑤ 授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かすことができていますか。 (質問18)	小5	81.7 〔82.2〕	81.8 〔82.1〕	-0.1 〔0.1〕
	中1	73.0 〔73.3〕	72.6 〔72.3〕	0.4 〔1.0〕
	中2	67.5 〔70.0〕	67.4 〔68.4〕	0.1 〔1.6〕

(3) 結果の概要

家で学校の宿題をしている児童生徒の割合は、どの学年も昨年度より増加している(①)。ただし、自分で計画を立てて勉強している児童生徒の割合は、県平均を下回っている(②)。また、家庭学習に取り組んでいる割合は、学年が上がるにつれて減少している(①、②)。学校での学習活動については、小学校は、全項目で県平均を下回っている(③～⑤)。特に、「授業中に、自分で考えたり、自分から進んで活動に取り組んだりしている」と回答している児童生徒の割合は、全学年で昨年度に引き続き、県平均を下回っている(③)。また、授業で学んだことを他教科等や生活に生かすことについては、学年が上がるにつれてその割合が減少している(⑤)。

Ⅲ 学力調査の結果

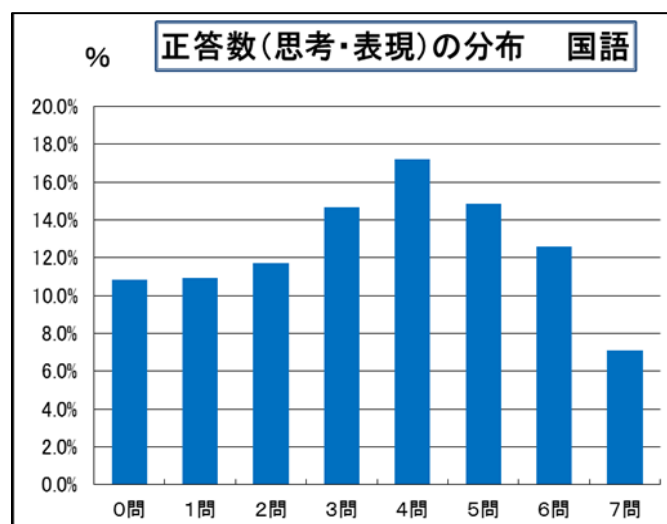
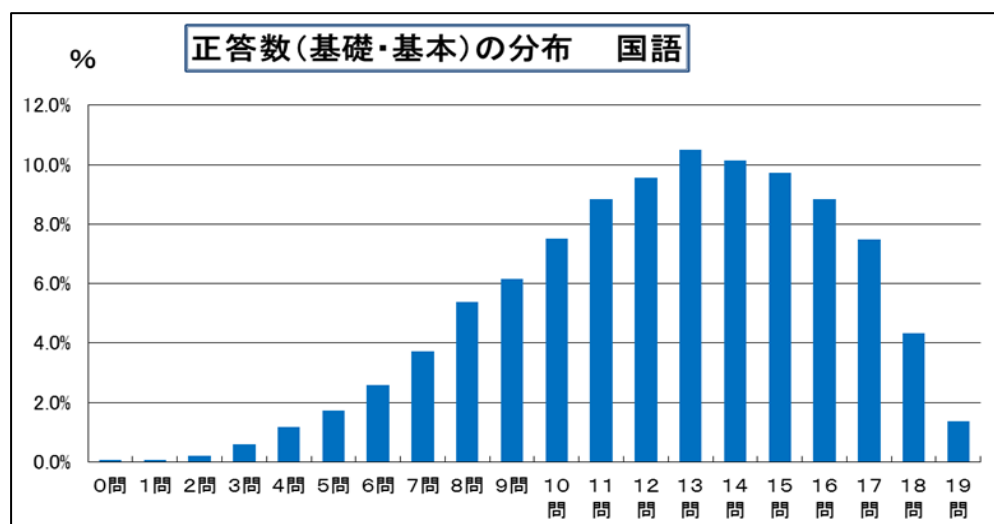
1 国語

○分析 ◆対策

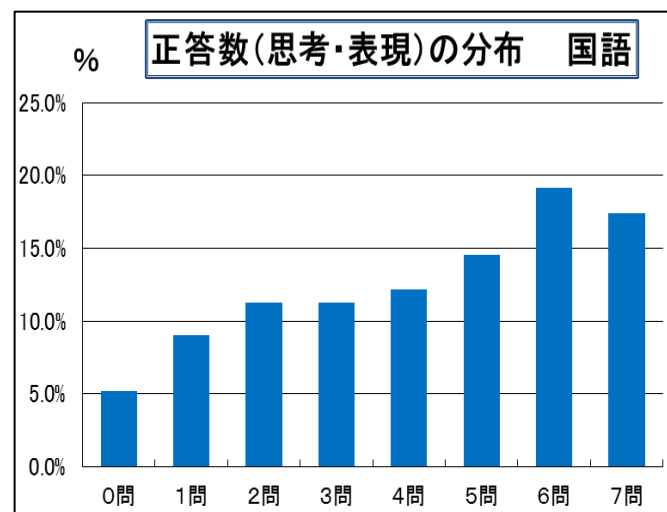
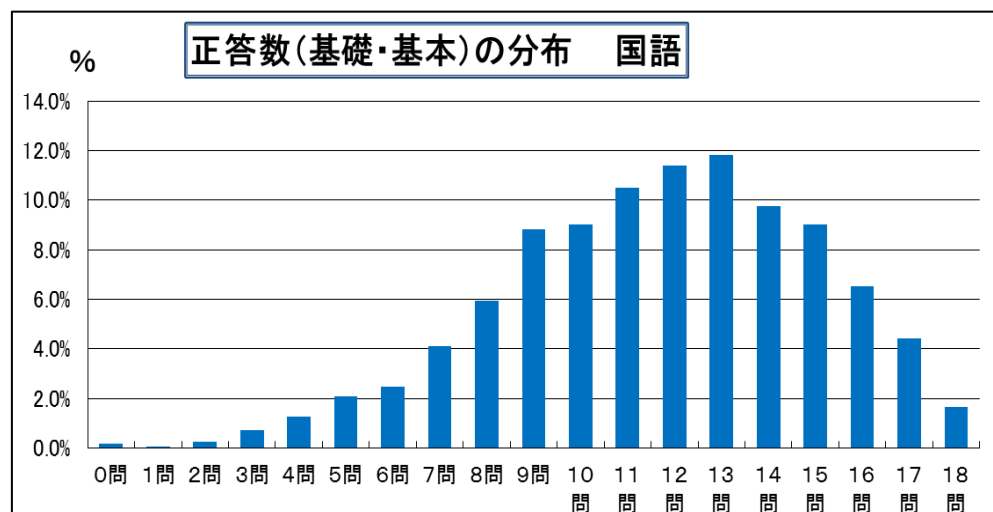
(1) 全体

学 年	基礎・基本			思考・表現			全 体		
	市	県	県との差	市	県	県との差	市	県	県との差
小5	65.3%	64.8%	0.5	49.6%	47.5%	2.1	61.1%	60.1%	1.0
中1	65.7%	63.2%	2.5	61.2%	58.5%	2.7	64.4%	61.9%	2.5
中2	72.9%	71.0%	1.9	60.0%	58.4%	1.6	69.4%	67.6%	1.8

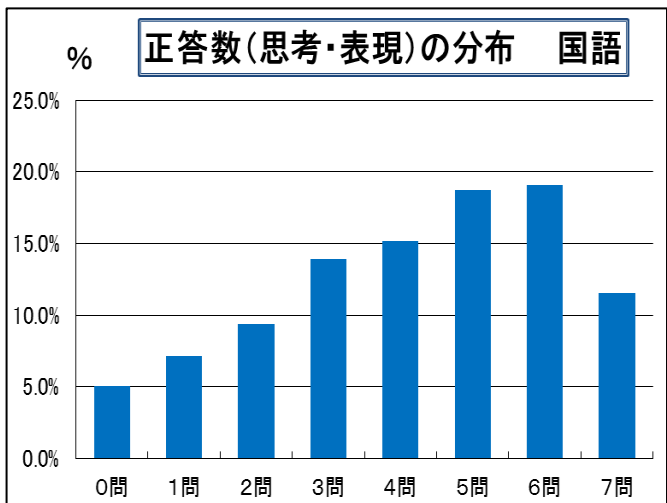
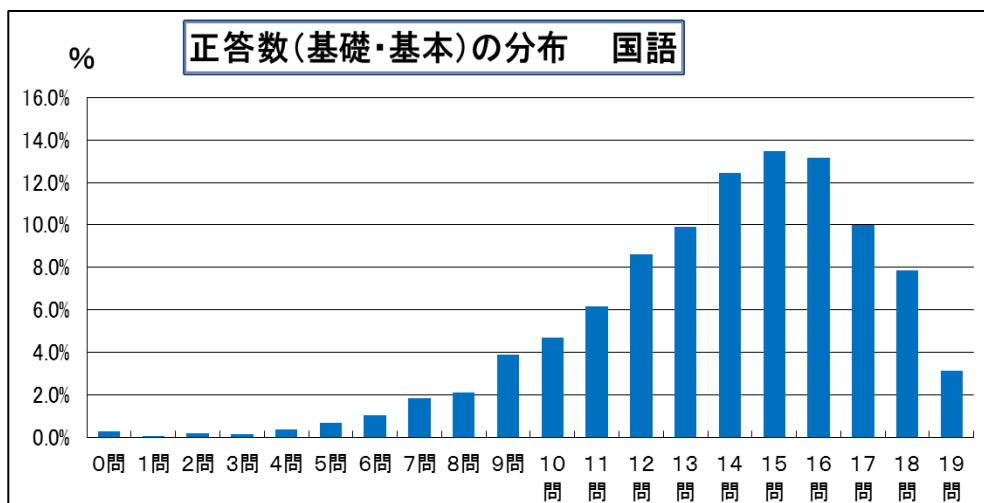
【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



【中学校第2学年】

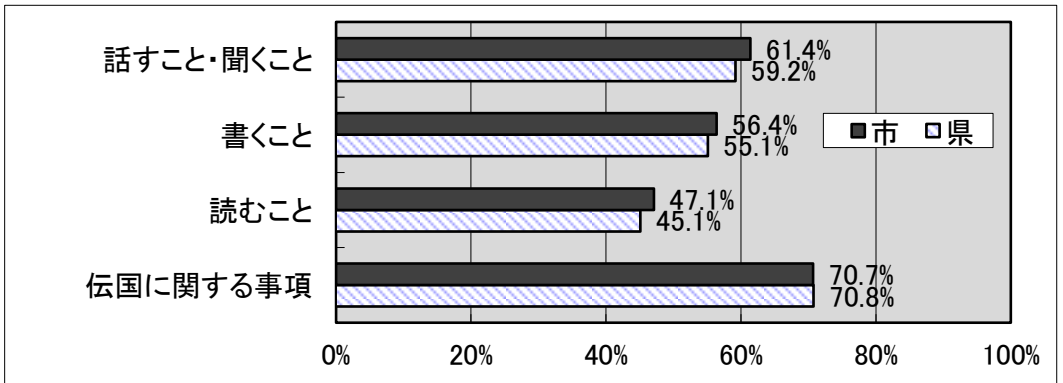


- 全体では、小5、中1、中2いずれも県の平均通過率を上回っている。
- 「基礎・基本」では、分布から全学年山型になっている。
- 「思考・表現」では、分布図から小5、中1はふた山型になっており下位層が多いことが分かる。
- ◆ 「基礎・基本」では、通過率の低い問題の補充指導をすることで、定着を図る。「思考・判断」では、課題に対して様々な言語活動を位置付けたり、個に応じた対応をしたりすることで、能力の育成を図る。

(2) 内容・領域別平均通過率

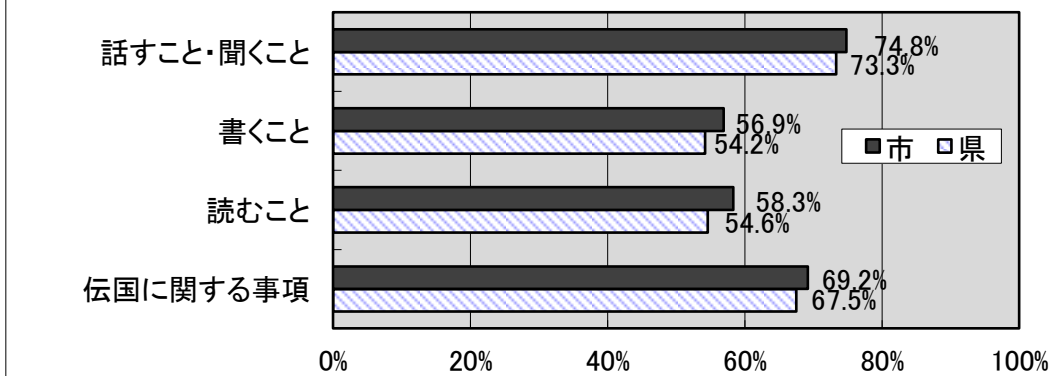
ア 小学校第5学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
話すこと・聞くこと	61.4%	59.2%	2.2
書くこと	56.4%	55.1%	1.3
読むこと	47.1%	45.1%	2.0
伝国	70.7%	70.8%	-0.1



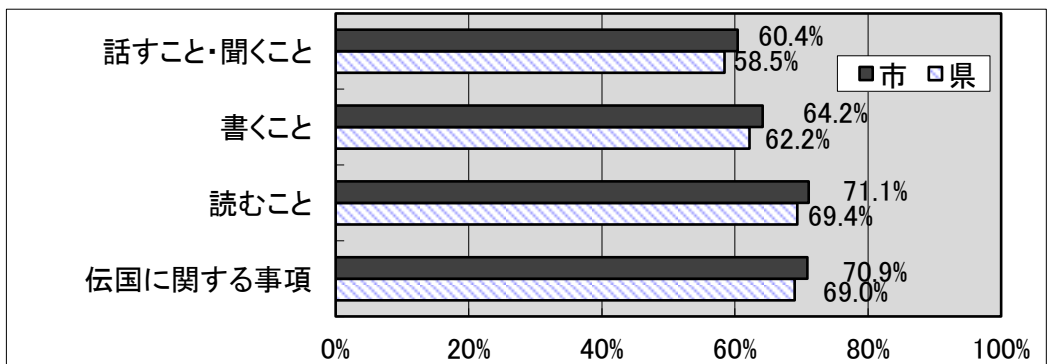
イ 中学校第1学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
話すこと・聞くこと	74.8%	73.3%	1.5
書くこと	56.9%	54.2%	2.7
読むこと	58.3%	54.6%	3.7
伝国	69.2%	67.5%	1.7



ウ 中学校第2学年

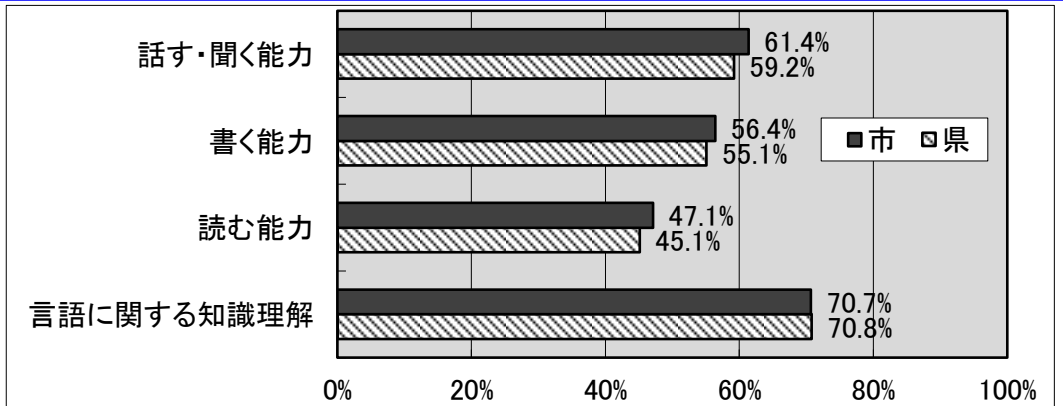
	平均通過率		県との差
	市	県	
話すこと・聞くこと	60.4%	58.5%	1.9
書くこと	64.2%	62.2%	2.0
読むこと	71.1%	69.4%	1.7
伝国	70.9%	69.0%	1.9



(3) 観点別平均通過率

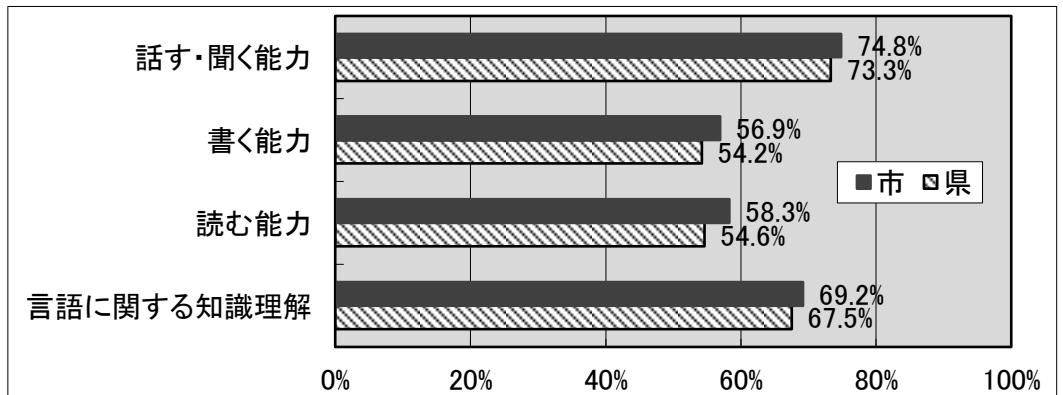
ア 小学校5年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
話す・聞く能力	61.4%	59.2%	2.2
書く能力	56.4%	55.1%	1.3
読む能力	47.1%	45.1%	2.0
言語に関する知識理解	70.7%	70.8%	-0.1



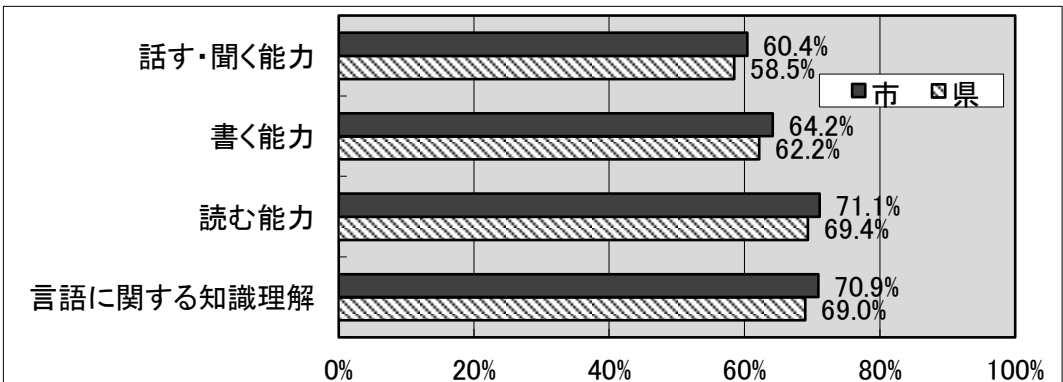
イ 中学校1年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
話す・聞く能力	74.8%	73.3%	1.5
書く能力	56.9%	54.2%	2.7
読む能力	58.3%	54.6%	3.7
言語に関する知識理解	69.2%	67.5%	1.7



ウ 中学校2年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
話す・聞く能力	60.4%	58.5%	1.9
書く能力	64.2%	62.2%	2.0
読む能力	71.1%	69.4%	1.7
言語に関する知識理解	70.9%	69.0%	1.9



- 「内容・領域別」、「観点別」の平均通過率は、県より高い結果が出ている。
- ◆ 「読むこと」及び「読む能力」は、様々な文種やグラフを比較して読み、必要な情報を取捨選択しまとめる学習過程を設定したい。
- ◆ 小5においては、漢字や語彙を更に習得させるとともに、生活の中で活用していく学習活動に継続して取り組ませたい。

(4) 小学校第5学年

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に着色している。

大問	中問	小問	出題 学年	問題内容別		内容領域別				観 点 別				県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図
				基礎・基本	思考・表現	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝国	話す・聞く	書く	読む	言語	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	
1		ア	小4	○					○				○	52.6%		1.5%	50.8%		1.6%				学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり、書いたりすることができるか。
2		イ	小1	○					○				○	58.0%		0.5%	54.2%		0.6%				
3		ウ	小5	○					○				○	77.7%		1.5%	79.3%		1.5%				
4	1	エ	小3	○					○				○	80.6%		2.7%	83.7%		2.7%				
5		2	小3	○			○						○	52.2%		0.4%	49.8%		0.5%				手紙を書き方のきまりを理解しているか。
6		1	小3	○					○				○	90.6%		2.6%	91.3%		2.6%				ローマ字を正しく読んだり、書いたりすることができるか。
7		2	小3	○					○				○	50.9%		3.2%	48.1%		3.3%				
8		1	小4	○					○				○	61.0%		0.5%	58.9%		0.7%				季語を理解しているか。
9		2	小4	○					○				○	66.8%		0.7%	68.4%		0.8%				慣用句の意味を理解しているか。
10		二	小3	○					○				○	70.4%		0.4%	70.1%		0.5%				国語辞典の基本的な引き方を身に付けているか。
11		三	小5	○					○				○	93.3%		0.4%	93.6%		0.6%				相手や場面に応じて、敬語を適切に使うことができるか。
12		四	小2	○					○				○	80.6%		0.4%	80.3%		0.6%				主語と述語の関係を理解しているか。
13		五	小5	○					○				○	67.7%		0.5%	70.0%		0.6%				文章における語句と語句の関係を理解しているか。
14		①	小4	○		○							○	66.0%		0.3%	69.7%		0.3%				インタビューにおける聞き手や話し手の役割を理解しているか。
15	3	②	小4	○		○							○	67.7%		0.3%	69.4%		0.3%				
16		二	小5		○	○							○		43.9%	3.9%		45.0%	3.6%				聞き手として、話し手の発言の要点をまとめることができるか。
17		一	小2	○					○				○	31.0%		7.3%	32.7%		6.8%				登場人物の心情に関わって、文章の中で大事な言葉を書き抜くことができるか。
18		二	小4		○				○				○		31.9%	9.8%		33.8%	9.0%				各場面の様子に気を付けながら、場面と場面とを関係付けて読むことができるか。
19		①表現	小5		○				○				○		29.0%	18.2%		31.0%	17.4%				暗示的に表現されている登場人物の心情について、叙述を基に想像して読むことができるか。
20		②効果	小5		○				○				○		59.3%	18.3%		61.7%	17.4%				
21		①	小5	○					○				○	36.8%		8.2%	38.5%		8.5%				文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えることができるか。 筆者の意図や思考を想定して読むことができるか。
22		②	小5	○					○				○	66.8%		2.9%	68.5%		3.0%				
23		③	小5	○					○				○	60.7%		3.0%	63.2%		3.2%				
24		①	小5		○		○						○		60.5%	17.3%		63.7%	15.8%				事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことができるか。
25		②	小5		○		○						○		43.9%	17.9%		47.1%	16.2%				引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くことができるか。
26		③	小5		○		○						○		64.0%	17.9%		64.9%	16.1%				目的や意図に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりすることができるか。
計			問題数	19	7	3	4	7	12	3	4	7	12										
			出題割合	73.1%	26.9%	11.5%	15.4%	26.9%	46.2%	11.5%	15.4%	26.9%	46.2%										
			通過率										64.8%	47.5%	5.4%	65.3%	49.6%	5.2%					
															60.1%			61.1%					

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問1-1-1 (小4 漢字の書き)、大問1-2-2 (小3 ローマ字)

【基礎・基本】

2 きっぷ

↓

二 次の1のローマ字の読み方をひらがなで書きましょう。また、2の言葉をローマ字で書きましょう。

1 手紙文の――線部の漢字の読みをひらがなで、部のひらがなを漢字で、それぞれにねいに書きましょう。

鹿児島市の水道のしくみについて、かんしんをもちました。

漢字の書き		平均通過率	
市	県	差	
50.8%	52.6%	-1.8	

ローマ字		平均通過率	
市	県	差	
48.1%	50.9%	-2.8	

指導のポイント

2問とも、これまでも類似の問題が出題されており、引き続き課題である。

同音異義語の漢字については、文中での意味を考えながら活用していく取組を繰り返して確実に定着を図りたい。

ローマ字に関しては、固有名詞をローマ字に直す学習を意図的に繰り返して定着を図りたい。

(イ) 大問4-3 (小5 暗示的に表現されている登場人物の心情について、叙述を基に想像して読むことができる。) 【思考・表現】

三 おばあさんからの「お礼」が何であるかを理解したときの少女の心情について考えます。

あなたは、文章中のどの表現から、少女がどのようなことを感じていると考えますか。

次の【条件】にしたがって自分の考えを書きましよう。

【条件】

① 文章中のどの表現に着目したかが分かるように書く。六十字以上、八十字以内で書く。

②

①表現		平均通過率	
市	県	差	
31.0%	29.0%	2.0	
②効果		平均通過率	
市	県	差	
61.7%	59.3%	2.4	

指導のポイント

根拠となる叙述や表現を基に心情を考えていくために、日常の学習の中で常に根拠を意識して自分の考えをまとめていく学習活動を行わせたい。

また、考えを述べる際、文章や経験など、複数の根拠を挙げさせることで、自分の考えを確かなものとしていきたい。

(5) 中学校第1学年

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に着色している。

設問	大問	中問	小問	出題学年	問題内容別		内容領域別				観点別				県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図	
					基礎・基本	思考・表現	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝国	話す・聞く	書く	読む	言語	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率		
1			1	中	○					○				○	31.7%		15.4%	36.3%		12.9%				中学校新出音訓を正しく読むことができるか。	
2			2	中	○					○				○	82.5%		2.1%	84.5%		1.6%				中学校新出音訓を正しく読むことができるか。	
3			3	小3 小4	○					○				○	44.7%		8.7%	43.9%		8.2%				小学校学習漢字を正しく書くことができるか。	
4			4	小4 小5	○					○				○	50.1%		4.7%	55.2%		4.3%				小学校学習漢字を正しく書くことができるか。	
5	1		二	小6	○					○				○	81.3%		4.4%	81.4%		4.2%				小学校学習漢字の部首名を理解し、書くことができるか。	
6			三	中1	○					○				○	63.2%		0.1%	66.3%		0.0%				文節を理解し、適切に区切ることができるか。	
7			四	1	中1	○				○				○	57.5%		0.3%	60.6%		0.2%				文章の内容を的確に理解し、イメージを正しく捉え、判断することができるか。	
8			2	中1	○					○				○	82.8%		0.3%	84.0%		0.2%				文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えたり、語句と語句との関係を理解したりすることができるか。	
9		一		中1	○					○				○	62.2%		0.4%	67.1%		0.3%				慣用句の意味を理解し、適切に活用することができるか。	
10		2	1	中1	○					○				○	96.2%		0.7%	96.1%		0.8%				歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができるか。	
11		二	2	中1		○				○				○		72.8%	0.2%		72.7%	0.2%				古語の意味を正しく理解することができるか。	
12		一		中1	○		○			○				○	70.7%		0.3%	71.2%		0.3%				話し合いの流れを読んで、司会の役割や働きを理解できるか。	
13		3	二	中1	○		○			○				○	87.4%		0.3%	88.3%		0.2%				話し合いの流れを整理しながら、的確に記録することができるか。	
14			三	中1		○	○			○				○		61.9%	0.3%		64.8%	0.3%				事例や根拠など、スピーチの構成のあり方について理解できるか。	
15		一		中1	○					○				○	85.4%		0.5%	86.9%		0.5%				文章中で用いられている接続語について、的確に捉えることができるか。	
16			二	中1	○					○				○	38.8%		5.7%	44.9%		5.3%				文章中で用いられている語句について、的確に捉えることができるか。	
17			三	中1	○					○				○	71.3%		1.0%	74.5%		1.1%				文章の構成や展開を的確に捉えることができるか。	
18		4	1	中1	○					○				○	54.6%		15.3%	58.0%		14.9%				文章から目的に応じて、必要な情報を読み取ることができるか。	
19			2	中1	○					○				○	51.2%		1.9%	53.7%		1.9%				図表を正しく読み取ることができるか。	
20			3	中1	○					○				○	22.6%		17.2%	27.7%		16.6%				文章から目的に応じて、必要な情報を読み取ることができるか。	
21			4	中1		○				○				○		58.1%	14.3%		63.4%	13.6%				自分の伝えたい事柄について、条件に応じて文章にまとめることができるか。	
22		一		中1		○		○		○				○		56.4%	18.7%		59.1%	17.9%				必要な情報に着目し、その情報を関連付けながら、書かれている内容を解釈することができるか。	
23		5	①	中1		○		○		○				○		54.6%	27.0%		55.3%	25.6%				自分の考えとその根拠を筋道立てて書くことができるか。	
24		二	②	中1		○		○		○				○		54.6%	27.3%		58.5%	25.9%					
25			③	中1		○		○		○				○		51.3%	28.3%		54.8%	27.1%					
計			問題数	18	7	3	4	8	10	3	4	8	10												
			出題割合	72.0%	28.0%	12.0%	16.0%	32.0%	40.0%	12.0%	16.0%	32.0%	40.0%												
			通過率	63.2%	58.5%	7.8%	65.7%	61.2%	7.4%																
				61.9%			64.4%																		

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問1-1 (中1漢字の読み)、大問4-4-3 (中1文章から目的に応じて、必要な情報を読み取ることができる。)【基礎・基本】

3

【会話文】のBには、中島さんが引用した「ら抜き言葉」の使用に関する筆者の考えが入る。本文から三十六字で抜き出し、初めと終わりの五字を書け。

村田さん… 中島さん、「ら抜き言葉」についてのこの文章をどう思う？

中島さん… それがねえ、私もよく分からなくて。筆者が言うように「ら」抜き言葉って、使うときに迷うことがあるのよ。たしかに、A

村田さん… ないという悪い面もあるのよ。でも、それ以上に筆者は「ら抜き言葉」の使い方について、はっきりとした主張を避けているように思うんだ。図1・2・3のデータなどの情報はあるけれど、使うべきかどうかは、はっきりと述べていないよ。図4のデータで年代別の使い方まで合わせて考えたとときに、やつと筆者は「B」と意見述べているよ。

村田さん… 中島さん、このデータを見て。(右下参照)

「若い人の日本語は分からん」ってよく言う、私のおばあちゃんが言っていることはこういうことなんだよ。筆者が言いたかったことも、きっとこういうことじゃないかな。

1 次の各文の線部の漢字はひらがなに、ひらがなは漢字に直して書け。

1 過去の自分を省みる。

4 本文を読んで、村田さんと中島さんは、次のような会話を交わした。【会話文】

漢字の読み		平均通過率
市	県	差
36.3%	31.7%	4.6

文章理解		平均通過率
市	県	差
27.7%	22.6%	5.1

指導のポイント
 中学校の新出漢字の読みについては、語彙の習得を図り定着させたい。
 文章理解については、多様な情報を多面的・多角的に関連付けて読み、情報の取捨選択を行いながら論理的に考える力の定着を図りたい。

(イ) 大問5-5-2 (文章と図表との関連を考えながら文章を読む。自分の伝えたい事柄について、条件に応じて文章にまとめることができる。)【思考・表現】

二 林さんは、このレポートを書くため、右のレポート内容の他にも次のような情報を調べている。もし、このレポートに新たな内容を加え、少しでも多くの同級生に宮沢賢治作品に触れてみたいと感じさせるとしたら、どのような内容を加えるか。あなたの考えを後の条件に従ってまとめよ。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもよい。

○林さんが集めた情報

- 賢治の作品について、同級生に対するアンケート
- 賢治の作品の中で、アニメ化されている作品
- 小学生での『やまなし』の学習内容

【条件】

- 二段落構成とし、二段落目は「なぜなら」という言葉で始めること。
- 一段落目は、「どのような内容を加えればいいのか」について、右から情報を一つ選び、あなたの考えを明確に書くこと。
- 二段落目は、その理由について、どのような点があるかをふまえて、具体的に書くこと。

① (情報の選択と理由) 平均通過率	
市	県
55.3%	54.6%

② (情報と自分の考え) 平均通過率	
市	県
58.5%	54.6%

③ (条件を踏まえて書く) 平均通過率	
市	県
54.8%	51.3%

③ 無解答率	
市	県
27.1%	28.3%

指導のポイント
 複数の資料を基に作成したレポートに、自ら選択した資料を関連付けながら、自分の意見を文章にまとめることが求められている。日頃から、資料と文章の関連をペアやグループで話し合わせたり、複数の資料から一つを選択して文章と関連付けて書かせたりする学習活動を取り入れて、定着を図りたい。

(6) 中学校第2学年

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に着色している。

設問	出題学年			問題内容別		内容領域別				観点別				県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図	
	大問	中問	小問	基礎・基本	思考・表現	話すこと(聞く)	書くこと	読むこと	伝国	話す・聞く	書く	読む	言語	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率		
1		1	小1 小3	○					○				○	99.3%		0.2%	99.4%		0.2%				小学校学習漢字(音)が読めるか。	
2		2	中	○					○				○	82.5%		2.4%	84.4%		1.9%				中学校学習漢字(訓)が読めるか。	
3		3	小5	○					○				○	72.2%		17.7%	73.0%		16.6%				小学校学習漢字(訓)が書けるか。	
4		4	小5	○					○				○	43.0%		14.5%	43.5%		13.7%				小学校学習漢字(音)が書けるか。	
5	1	1	中2	○					○				○	37.0%		0.6%	39.4%		0.5%				形容詞の活用形を理解しているか。	
6		2	中2	○					○				○	84.1%		0.2%	86.8%		0.1%				接続詞のつながり方や表す意味を理解しているか。	
7		三	中2	○					○				○	62.9%		0.2%	64.6%		0.1%				敬語の種類を理解しているか。	
8		四	1	中1	○					○				○	65.1%		0.4%	67.1%		0.2%				文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えたり、語句と語句との関係を理解したりすることができるか。
9			2		○					○				○	81.0%		0.4%	83.3%		0.2%				
10		五	中2	○					○				○	40.2%		0.6%	41.3%		0.4%				行書の特徴を理解しているか。	
11		一	中1	○					○				○	61.7%		7.7%	66.7%		5.9%				歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができるか。	
12		2	二	中1	○				○				○	69.8%		0.7%	73.4%		0.5%				動作の主体を捉えることができるか。	
13			1	中2	○				○				○	89.8%		2.3%	91.7%		1.6%				古文を読み、文意を捉えることができるか。	
14			2	中2	○				○				○	85.1%		3.1%	87.0%		2.4%					
15	3	一	中2	○		○			○				74.4%		0.8%	77.0%		0.4%				話し合い活動における、司会の役割を理解しているか。		
16		二	中2		○	○			○				42.5%	8.3%		43.8%	7.4%					他者の発言の内容と意図を捉えることができるか。		
17	4	一	中1	○				○				○	83.9%		0.7%	86.0%		0.4%				場面の展開や登場人物などの描写を捉えることができるか。		
18		二	中2	○				○				○	83.6%		0.8%	85.5%		0.5%				話の展開や描写の効果を捉えることができるか。		
19		1	中2		○			○				○	76.8%	1.5%		79.7%	1.0%					登場人物の言動の意味を考え、心情を捉えることができるか。		
20		2	中2		○			○				○	51.2%	15.5%		52.4%	12.8%					会話や話の展開から、登場人物の心情を捉え、説明することができるか。		
21	5	一	中1	○				○				○	71.2%		1.6%	72.8%		1.2%				接続詞の働きや文脈から筆者の意図を捉えることができるか。		
22		二	中1	○				○				○	60.4%		3.1%	61.8%		2.4%				文章の展開を的確に捉えることができるか。		
23		三	中2		○			○				○	51.3%	10.6%		51.4%	8.7%					構想表の内容とグラフの関連を捉え、選択した理由を説明することができるか。		
24		①	中2		○			○				○	68.2%	15.9%		71.6%	13.6%					提示された情報や考えを捉えた上で自分の考えをもち、的確に書けているか。		
25		②	中2		○			○				○	58.7%	16.1%		61.0%	13.8%							
26		③	中2		○			○				○	59.8%	16.6%		59.8%	14.3%							
計		問題数	19	7	2	3	9	12	2	3	9	12												
		出題割合	73.1%	26.9%	7.7%	11.5%	34.6%	46.2%	7.7%	11.5%	34.6%	46.2%												
		通過率	71.0%			58.4%			5.5%			72.9%			60.0%			4.6%						
			67.6%						69.4%															

イ 特に課題のあった設問

(7) 大問1-2-1 (中2 形容詞の活用)、大問1-5 (中2

行書の特徴) 【基礎・基本】

1 次の——線部の形容詞の活用形を次のアからカの中から一つ選び、その記号を書け。

今年の冬は例年よりも寒くなりそうだ。

ア 未然形 イ 連用形 ウ 終止形
 エ 連体形 オ 仮定形 カ 命令形

五 次の漢字について、楷書と比較した場合に用いられていない行書の特徴的な書き方はどれか。次のアからエの中から一つ選び、その記号を書け。

【楷書】 花
 【行書】 花

ア 筆順の変化
 イ 点画の連続
 ウ 点画の省略
 エ 点画の方向や形の変化

形容詞の活用		平均通過率
市	県	差
39.4%	37.0%	2.4

行書の特徴		平均通過率
市	県	差
41.3%	40.2%	1.1

指導のポイント

形容詞の活用について、活用形の意味や活用語尾に注目し、正しい言葉遣いを意識させ、確実に定着を図る。
 筆順が変わったり、点画が連続したりするなどの行書の特徴について、実際に毛筆に取り組む際に、課題となっている字以外についても例題を多く取り上げ、定着を図る。

(4) 大問5-3 (構想表の内容とグラフの関係を捉え、選択した理由を説明することができる。)

【思考・表現】

三 後藤さんは、「本書」の「入カ」は、たくさんのものを得て、それを消費して『豊かさ』を得ようとしてきた。「本当にそれではないのか」という疑問が社会に広がっている」という内容の裏付けとするために、資料としてグラフを添えることにした。次の【7】を導いた理由を、解答らん(……)に読み取れるから)に合う形で、書け。

2

3

3

これから心の豊かさか、物の豊かさか

資料：内閣府「国民生活に関する世論調査」(昭和47年～平成24年)

大層生鮮・大層消費型の経済に対する疑問

資料：みずほ情報総研株式会社(平成24年度)

裕福世代に裕福な社会で暮らされるべきもの

資料：みずほ情報総研株式会社(平成24年度)

①二つの観点		平均通過率
市	県	差
51.4%	51.3%	0.1
無解答率		
8.7%	10.6%	-1.9

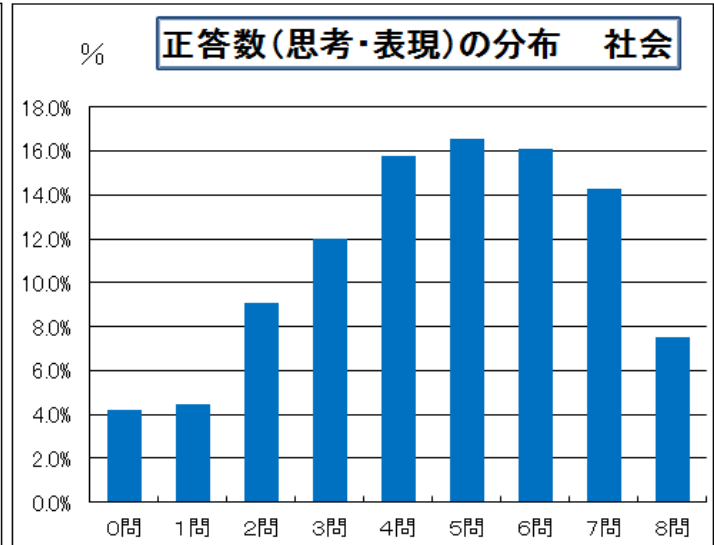
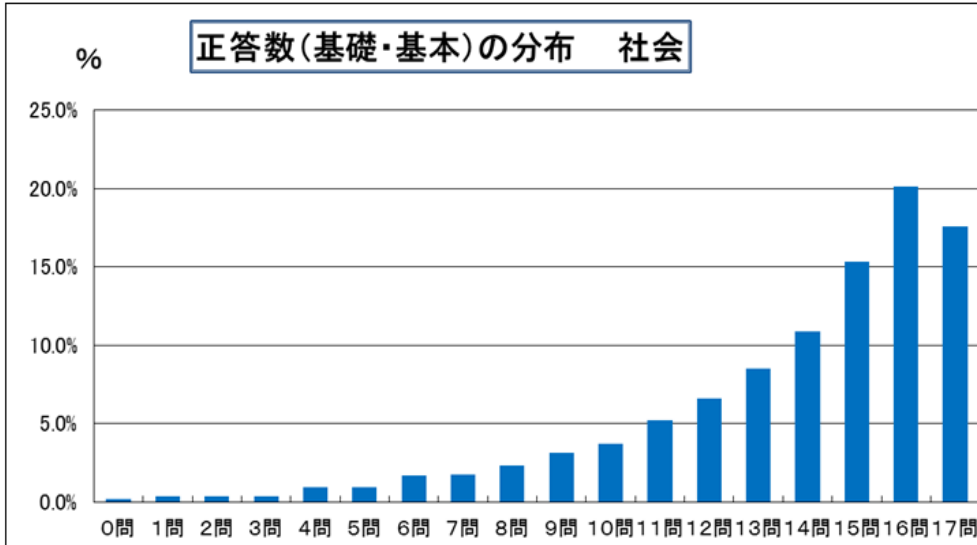
指導のポイント

後藤さんは意見文を書く際、参考となる文章を探し、構想表を作成している。構想表を基に本論で述べる意見の裏付けとするためのグラフを選び、その理由を答える問題である。
 日頃から、連続型テキスト(文章)と非連続型テキスト(図表等)を関連させて、必要な情報を選択するような問題解決型の学習活動を展開して、論理的に自分の考えを文章にまとめる取組を通じて、思考・表現する力を育みたい。

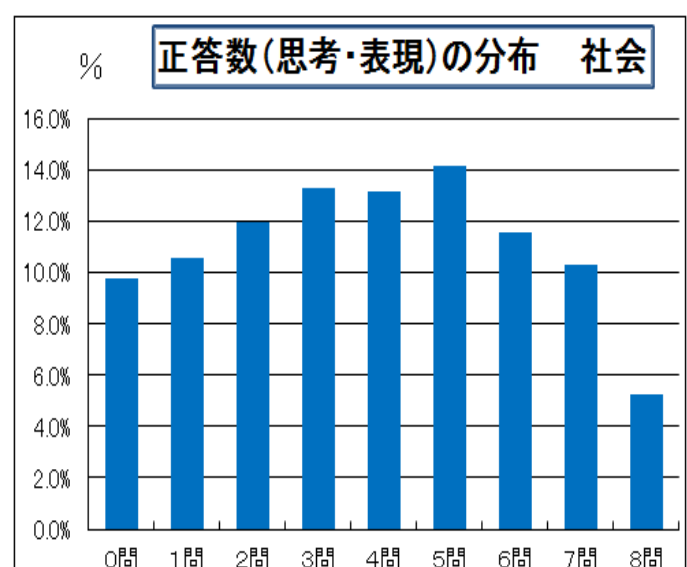
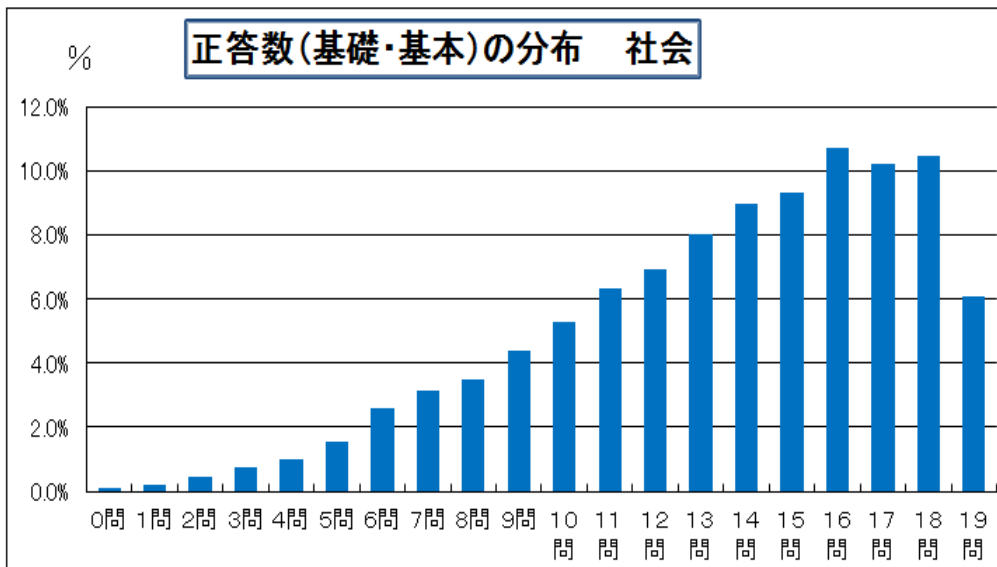
(1) 全体

学 年	基礎・基本			思考・表現			全 体		
	市	県	県との差	市	県	県との差	市	県	県との差
小5	80.4%	79.8%	0.6	57.7%	58.1%	-0.4	73.2%	72.9%	0.3
中1	70.8%	68.8%	2.0	47.7%	46.5%	1.2	63.9%	62.2%	1.7
中2	55.9%	54.9%	1.0	42.7%	42.6%	0.1	52.0%	51.2%	0.8

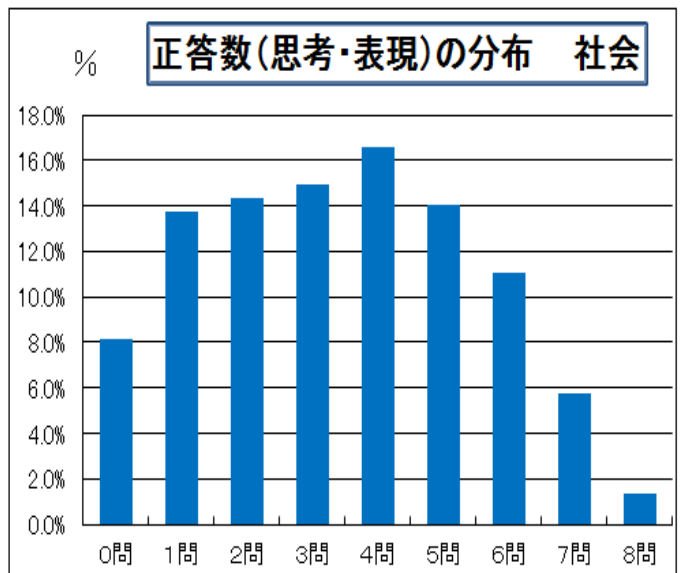
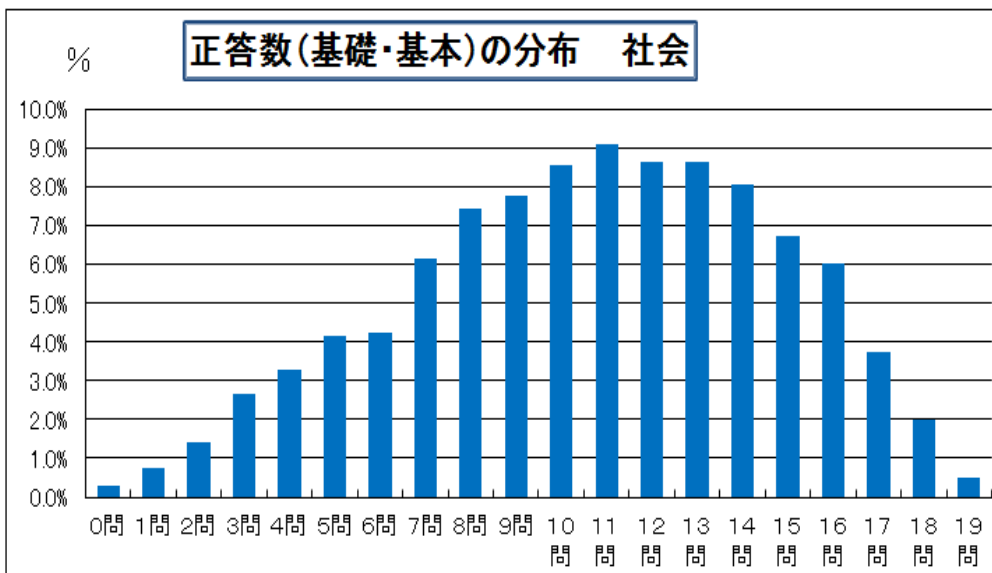
【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



【中学校第2学年】

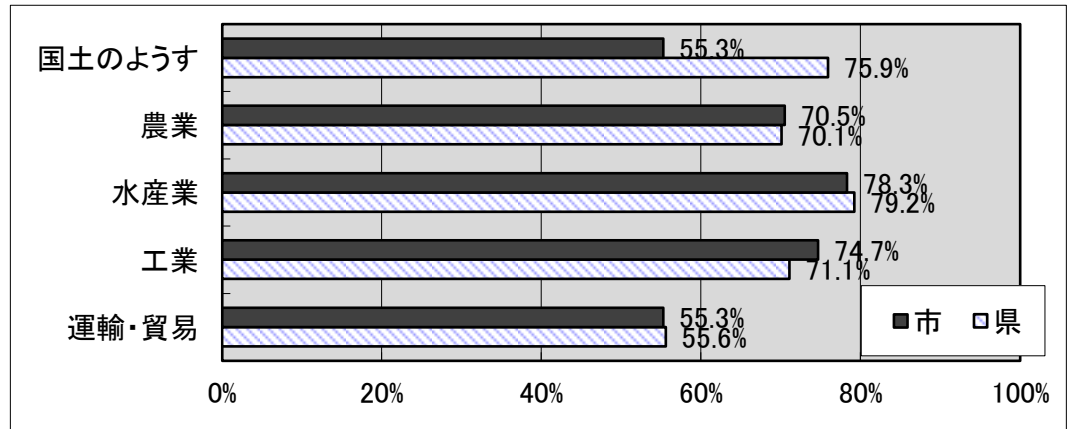


- 全体では、いずれの学年も県を上回っている。
- 「基礎・基本」では、いずれの学年も県を上回っているが、中2は7割に満たない状況であり、課題が見られる。
- 「思考・表現」では、中1と中2は県を上回っているが、小5は、県を下回っており、課題が見られる。
- ◆ 考えをまとめる学習活動を行う際には、選択・判断した根拠や理由を明確にすることを意識した指導を行う。

(2) 内容・領域別平均通過率

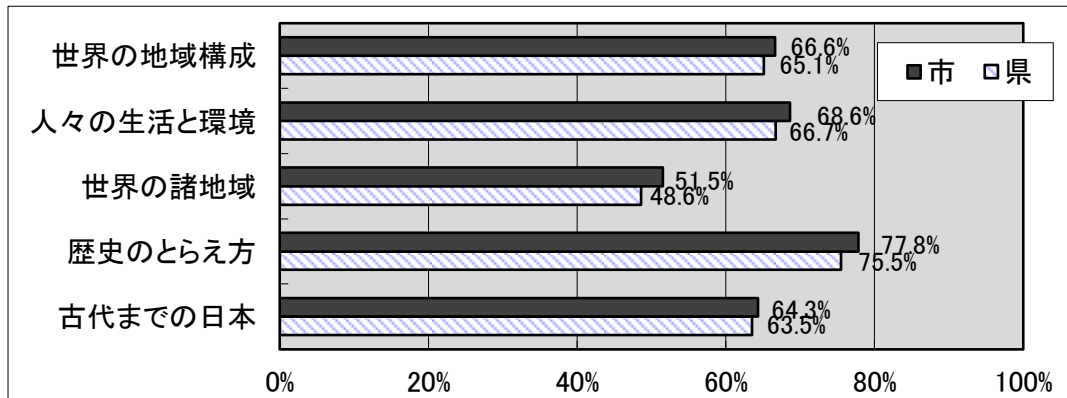
ア 小学校第5学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
国土のようす	76.7%	75.9%	0.8
農業	70.5%	70.1%	0.4
水産業	78.3%	79.2%	-0.9
工業	74.7%	71.1%	3.6
運輸・貿易	55.3%	55.6%	-0.3



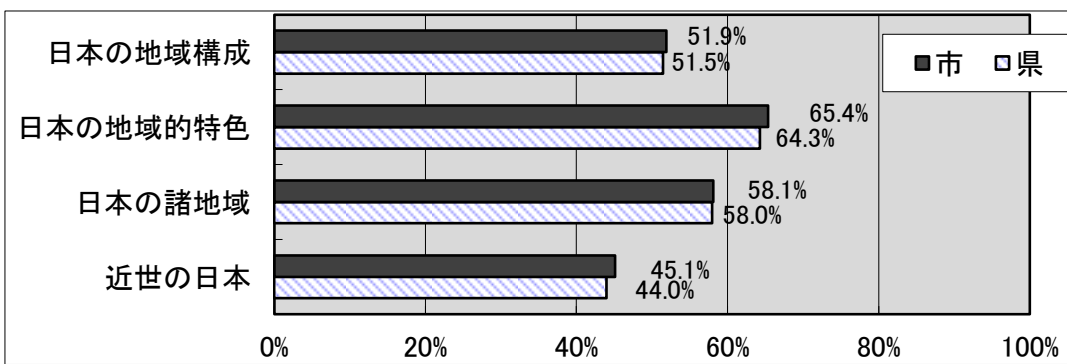
イ 中学校第1学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
世界の地域構成	66.6%	65.1%	1.5
人々の生活と環境	68.6%	66.7%	1.9
世界の諸地域	51.5%	48.6%	2.9
歴史のとらえ方	77.8%	75.5%	2.3
古代までの日本	64.3%	63.5%	0.8



ウ 中学校第2学年

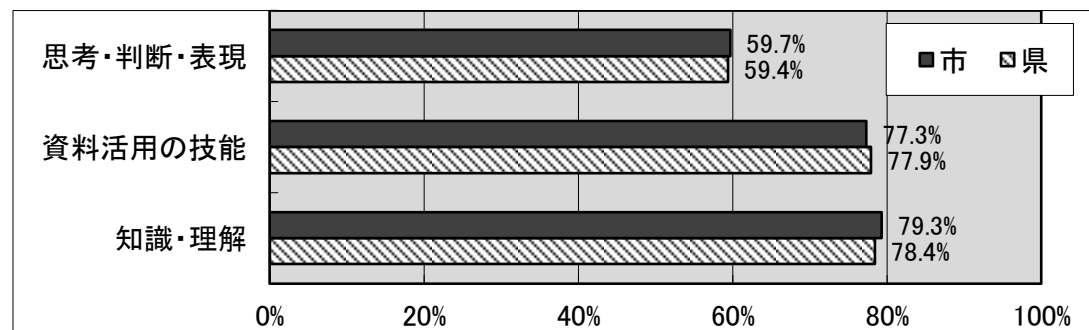
	平均通過率		県との差
	市	県	
日本の地域構成	51.9%	51.5%	0.4
日本の地域的特色	65.4%	64.3%	1.1
日本の諸地域	58.1%	58.0%	0.1
近世の日本	45.1%	44.0%	1.1



(3) 観点別平均通過率

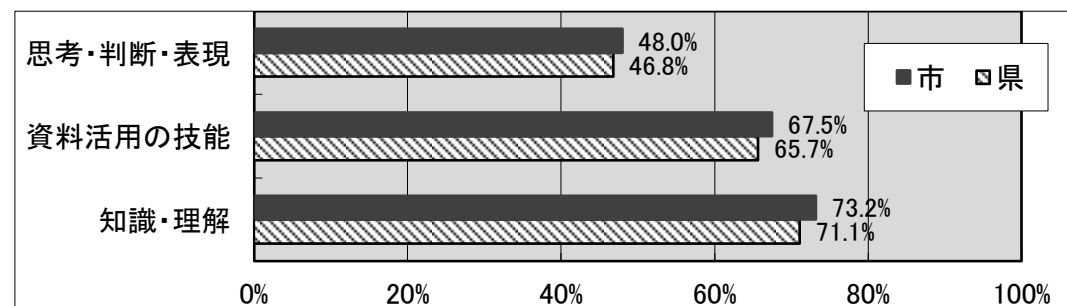
ア 小学校5年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
思考・判断・表現	59.7%	59.4%	0.3
資料活用の技能	77.3%	77.9%	-0.6
知識・理解	79.3%	78.4%	0.9



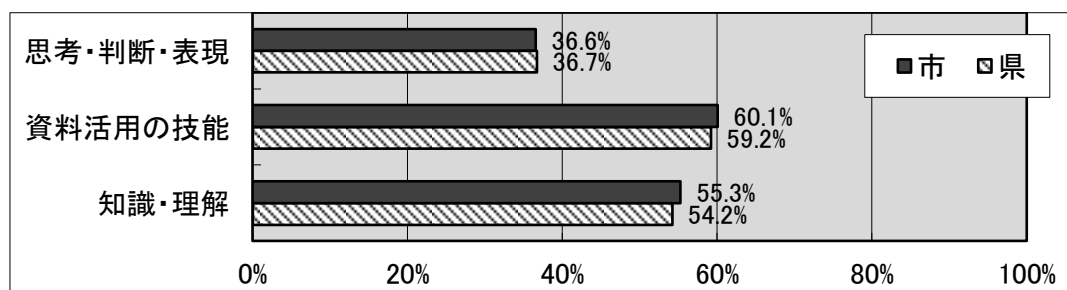
イ 中学校1年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
思考・判断・表現	48.0%	46.8%	1.2
資料活用の技能	67.5%	65.7%	1.8
知識・理解	73.2%	71.1%	2.1



ウ 中学校2年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
思考・判断・表現	36.6%	36.7%	-0.1
資料活用の技能	60.1%	59.2%	0.9
知識・理解	55.3%	54.2%	1.1



- 内容・領域別平均通過率では、小5の「水産業」、「運輸・貿易」において県を下回っている。
- 観点別平均通過率では、小5の「資料活用の技能」と中2の「思考・判断・表現」が県を下回っている。
- ◆ 地図やグラフ等の資料を関連付けた活動を設定し、自分の考えをまとめたりグループで話し合ったりする活動を充実させた指導を行う。

(4) 小学校第5学年

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に着色している。

設問	大問	中間	小問	出題学年	問題内容別		内容領域別					観点別			県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図	
					基礎・基本	思考・表現	国土の様子	農業	水産業	工業	運輸・貿易	思考・判断・表現	観察・資料活用	知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率		
1	1	(1)	①	小5	○	○							○	88.5%		0.2%	87.7%		0.3%					我が国の領土の北端、南端の島の名称を理解しているか。	
2			②	小5	○	○							○	76.6%		0.2%	76.0%		0.3%						
3		(2)		小5	○	○							○	89.1%		0.2%	90.1%		0.3%						我が国の近隣の国々の位置や名称を理解しているか。
4	2	(1)	①	小5	○	○							○	66.8%		4.8%	68.0%		4.5%					我が国の国土の地形の概要を理解しているか。	
5			④	小5	○	○							○	78.8%		1.9%	78.5%		2.0%					我が国の国土の気候の概要を理解しているか。	
6		(2)		小4	○	○							○	88.7%		0.6%	89.7%		0.6%					各都道府県の位置や名称を理解しているか。	
7		(3)		小5		思・表2	○						○		65.6%	3.6%		71.0%		3.2%				国土の河川の特色について、資料を活用して調べた事実と地形を関連させて説明する力が身に付いているか。	
8		(4)		小5		思・表2	○						○		53.5%	7.4%		52.4%		7.4%					人々は自然環境に適応して生活していることを理解しているか。
9	3	(1)	ア	小4	○			○					○	81.9%		1.6%	82.5%		1.6%					グラフの読み取りができるか。	
10			イ	小5	○			○					○	73.0%		3.7%	73.4%		4.0%					資料から集落営農のよさを理解しているか。	
11		(2)		小5	○			○					○	74.5%		6.2%	74.9%		6.6%					品種改良について理解しているか。	
12		(3)	①	小5	○			○					○	80.1%		0.5%	80.5%		0.6%					食料生産に関わる人々の販売の工夫や努力について理解しているか。	
13			②	小5		思・表2		○					○		41.1%	9.5%		41.3%		8.6%					食料生産と外国との関わりや日本の食料自給率と日本の抱える課題について理解しているか。
14	4	(1)	①	小5	○				○				○	81.6%		2.5%	81.7%		2.4%					日本の周りの寒流や暖流の様子について、理解しているか。	
15			②	小5	○				○				○	87.4%		2.6%	86.2%		3.2%					凡例やデータ値に注意しながら、資料を正しく読み取ることができるか。	
16			③	小5	○				○				○	69.5%		1.1%	70.8%		1.3%						日本近海が海底の地形や海流等の影響で好漁場であることを理解しているか。
17		(2)	①	小5	○				○				○	91.0%		1.0%	91.1%		1.2%						遠洋漁業について理解しているか。
18			②	小5		思・表3			○				○		87.4%	3.4%		85.8%		3.6%					我が国の水産業が抱える問題について、資料から読み取ったことを表現できるか。
19				小5		思・表3			○						80.2%	4.0%		79.0%		4.4%					
20				③	小5		思・表1			○				○		57.9%	6.2%		53.5%		6.0%				
21	5	(1)	小5	○					○			○	57.8%		8.2%	61.9%		7.5%						国土には工業のさかんな地域があることが理解しているか。	
22		(2)	小5	○					○			○	84.3%		1.9%	87.4%		1.8%						工業生産に関わる人々の工夫や努力について理解しているか。	
23		(3)	小5	○						○		○	86.3%		3.2%	87.1%		3.4%						工業生産に関わる人々の工夫や努力について理解しているか。	
24		(4)	小5		思・表2					○		○		32.3%	7.7%		30.3%		7.1%					データ値に注目し、資料から傾向を読み取ったことを基に考えることができるか。	
25		(5)	小5		思・表1					○	○			47.7%	11.4%		48.6%		10.2%						自動車の生産に携わる人々の工夫について新しい動力を持った自動車の開発の背景を地球環境の保護の問題と関連付けて考えられることを説明できるか。
計				問題数	17	8	8	5	7	2	3	7	7	10											
				出題割合	68.0%	32.0%	32.0%	20.0%	28.0%	8.0%	12.0%	29.2%	29.2%	41.7%											
				通過率										79.8%	58.1%	3.8%	80.4%	57.7%	4.5%						
														72.9%			73.2%								

イ 特に課題のあった設問

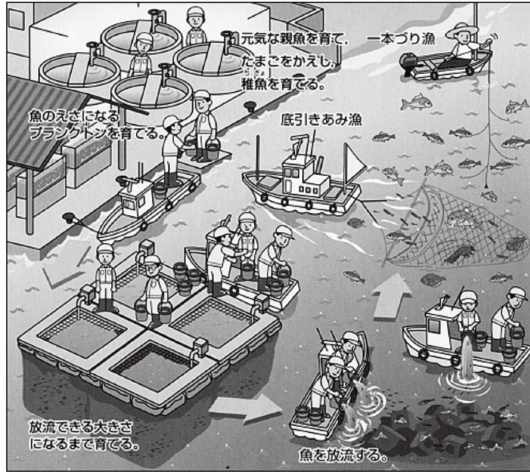
(ア) 大問4 第5学年「日本の水産業」

③ 近年、漁かく量を増やすために様々な取り組みが行われています。その一つが資料5にある、さいばい漁業です。さいばい漁業は、育てた魚を一度放流し、大きくなった魚をとります。

このさいばい漁業に取り組んでいる地域の中で、「鹿児島湾では全長13cmより小さいまだいをとってはいけない」、「青森県では全長35cmより小さいひらめをとってはいけない」などの、きまりが定められています。

なぜ、そのようなきまりが定められているのでしょうか。下の に書きましょう。

(資料5) さいばい漁業のようす



【思考・表現1】

平均通過率		
市	県	差
53.5%	57.9%	-4.4
無解答率		
市	県	差
6.0%	6.2%	-0.2

指導のポイント

平均通過率が県よりも4.4ポイント下回っており、課題である。

複数の資料の関連を、多面的・多角的に捉えられるように、比較・関連付け等を意識した授業づくりを行うとともに、資料（地図、写真、グラフ、表等）にどのような内容が書かれているのか、自分の考えをまとめたり、グループで話し合ったりする活動を充実させる。

(イ) 大問5 第5学年「日本の工業（運輸・貿易）」

最近では、海外に自動車工場を作り、現地の人が増えてきました。そのよさは、現地の工業生産の発展につながる。などがあります。

このようなよさがあるから、④今後も海外生産をどんどん進めていくべきだと思います。

自動車運ぶ専用の「船」

自動車運ぶ専用のトラック「(キャリアカー)」

鹿兒島県には自動車組み立て工場はありませんが、様々な地域にある工場で作られた自動車を、どうやって鹿兒島県に運んでくるのでしょうか。

鹿兒島県に自動車工場はないけれども……

③どこかへ運ぶか、④鹿兒島へ運ぶか、⑤方が変わるよ。

(4) 花子さんは、太郎さんの書いた新聞の中で、④に書かれた太郎さんの考えに対して、資料3に示したグラフをもとに、次のような自分の考えを述べました。



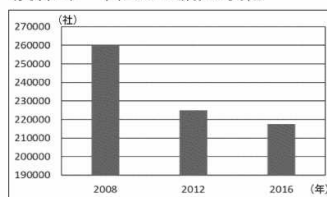
花子

太郎さんが書いているように、自動車会社をはじめとして、日本のいろいろな会社が海外に工場を作って工業生産を行うことは、日本と外国との関係を考えて、とてもよいことだと思います。でも、海外生産をどんどん進めていくべきだという太郎さんの考えには反対です。なぜなら、日本国内で働く日本人にとっては困るからです。

花子さんは、資料3のグラフから、国内の工場が減っていることを読み取り、「日本人にとっては困る」と考えました。なぜ、日本人にとって困ると思ったのか に書きましょう。

花子さんの考え

(資料3) 国内の工場数の変化



[工業統計調査(経済産業省)]

【思考・表現2】

平均通過率		
市	県	差
30.3%	32.3%	-2.0
無解答率		
市	県	差
7.1%	7.7%	-0.6

指導のポイント

平均通過率が、3割程度であり、県よりも2.0ポイント下回っており課題である。

資料を関連付けて説明する問題に課題があるため、地図やグラフ等の資料を関連付けた活動を充実させる。

運輸・貿易、農業や工業に関して学習する際、その職業に従事する人々の努力や工夫について、自分の考えを表現できるように、文章で書いたり、発表したりする活動を充実させる。

(5) 中学校第1学年

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に着色している。

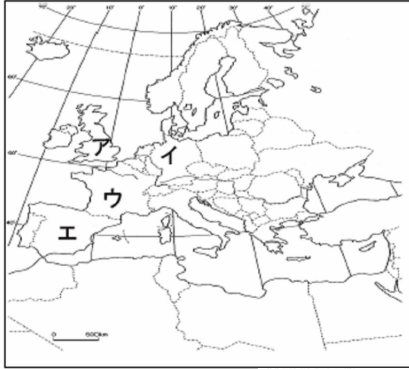
設問	設問			問題内容別		内容領域別					観点別			県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図	
	大問	中間	小問	出題学年	基礎・基本	思考・表現	世界の地域構成	世界各地人の生活と環境	世界の諸地域	歴史のらえ方	古代で日本	思考・判断・表現	観察・資料活用	知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現		無解答率
1			1	中1	○		○						○	69.4%		2.5%	68.6%		2.5%				本初子午線が地図上のどこを通過しているかを理解しているか。	
2			2	中1	○		○						○	81.4%		0.2%	83.1%		0.1%				三大洋の位置と名称、陸地と海洋の面積の割合を理解しているか。	
3	1		3	中1	○		○					○	66.8%		0.5%	68.1%		0.4%					地球上の位置を、緯度と経度で示すことができるか。	
4			4	中1		思・表3	○					○			42.7%	0.8%		46.4%	0.7%				地図の特色を正しく理解しているとともに、利用目的に応じて、的確に地図の読み取りができるか。	
5			1	中1	○		○					○	56.9%		0.8%	60.6%		0.6%					気候帯の特色と農作物との関連を理解しているか。	
6			2	中1	○		○					○	67.0%		0.8%	69.0%		0.7%					熱帯で暮らす人々の生活の様子を理解しているか。	
7	2		3	中1		思・表2	○					○		50.2%	1.5%		50.4%	1.4%					雨温図から他の地域の気候との違いを読み取り、冷帯地方の生活の様子を説明できるか。	
8			4	中1	○		○					○	92.6%		0.5%	94.4%		0.4%					三大宗教の特徴について理解しているか。	
9			1	中1	○			○				○	52.3%		0.5%	54.1%		0.5%					フランスの位置を地図上で正しく理解しているか。	
10			2	中1		思・表2		○				○		27.8%	13.5%		28.7%	12.3%					ヨーロッパに流入する外国人労働者の資料を読み取り、ヨーロッパ内外から労働力として移住する人々が増加していることを説明できるか。	
11			3	中1	○			○				○	65.1%		0.6%	67.6%		0.6%					統合によるEUの利点について、理解しているか。	
12			4	中1	○			○				○	60.1%		0.5%	62.4%		0.5%					アジアの自然環境について理解しているか。	
13			5	中1	○			○				○	58.7%		14.3%	66.0%		11.4%					中央アジアの鉱産資源を理解しているか。	
14			6	中1		思・表2		○				○		27.6%	18.1%		30.4%	16.4%					資料の読み取りができ、中国が「世界の工場」と呼ばれるほど工業化が進んだ理由を説明できるか。	
15			1	中1	○					○	○		49.9%		0.6%	50.3%		0.6%					新人が人類の直接の祖先であることについて正しく説明している文を選択できるか。	
16			2	中1	○					○	○		64.5%		5.2%	64.7%		5.4%					新石器時代に作られた石器を理解しているか。	
17			3	中1		思・表2				○	○			52.7%	11.1%		52.9%	10.8%					人類が年月をかけて、少しずつ進化し、生活を向上させてきたことによって、様々なことを新しくつくりだしたことを理解しているか。	
18			4	中1	○					○	○		72.3%		5.2%	73.5%		4.8%					弥生時代に作られた土器の特色について理解しているか。	
19			5	中1		思・表1				○	○			49.7%	7.4%		48.0%	7.0%					弥生時代における農耕文化の広まりと、稲作がはじまったことによる社会の変化について説明できるか。	
20			1	中1	○					○	○		73.4%		6.6%	76.8%		6.1%					聖徳太子の政治改革について、正しく理解しているか。	
21			2	中1		思・表1				○	○			60.0%	11.0%		61.6%	9.7%					奈良時代の農民の生活について、資料を基に説明できるか。	
22			3	中1	○					○	○		73.5%		1.0%	72.2%		1.0%					桓武天皇が政治を立て直すために遷都した平安京を理解しているか。	
23			4	中1	○					○	○		77.7%		5.6%	80.0%		5.0%					平安時代の文化について、正しく理解しているか。	
24			5	中1		思・表1				○	○			61.0%	12.5%		63.1%	12.3%					藤原氏が行った政治の特色を理解し、適切に説明できるか。	
25			1	中1	○					○	○		66.6%		1.1%	67.6%		1.1%					世紀の表し方を理解しているか。	
26			2	中1	○					○	○		75.8%		8.7%	77.2%		8.2%					時代を区分する表し方を理解しているか。	
27			3	小6	○					○	○		84.1%		0.8%	88.5%		0.9%					小学校で学習した歴史上の人物について理解しているか。	
計				問題数	19	8	4	4	6	3	10	9	4	14										
				出題割合	70.4%	29.6%	14.8%	14.8%	22.2%	11.1%	37.1%	33.3%	14.8%	51.9%										
				通過率								68.8%	46.5%	4.9%	70.8%	47.7%	4.5%							
												62.2%			63.9%									

イ 特に課題のあった設問

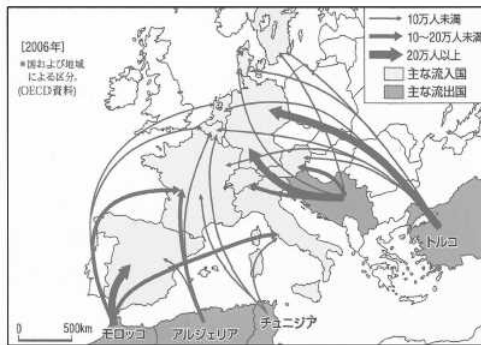
(ア) 大問3 第1学年「ヨーロッパ」

- (1) 2018年サッカーワールドカップの優勝国であるフランスはどこか。地図1中のア～エから一つ選び、記号で答えよ。
- (2) 資料1から読み取れることを「労働力」という語句を使って説明せよ。

(地図1)



(資料1)



(注) 矢印は、外国人労働者の移動を示す

【基礎・基本】

(1) 平均通過率		
市	県	差
54.1%	52.3%	1.8

【思考・表現2】

(2) 平均通過率		
市	県	差
28.7%	27.8%	0.9
無解答率		
市	県	差
12.3%	13.5%	-1.2

指導のポイント

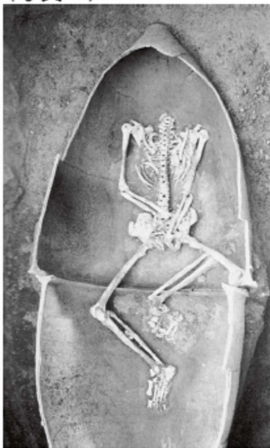
フランスの位置を地図上で正しく理解しているかを問う問題であるが、平均通過率が54.1%と課題である。地図の取扱いに当たっては、教科書に掲載されているものだけではなく、地図帳や掛け地図なども効果的に活用し、習得を図る必要がある。

知識・理解の確実な定着を図るために、資料等から読み取ったことを基に自分の考えをまとめたり、話し合ったりする活動を充実させる必要がある。

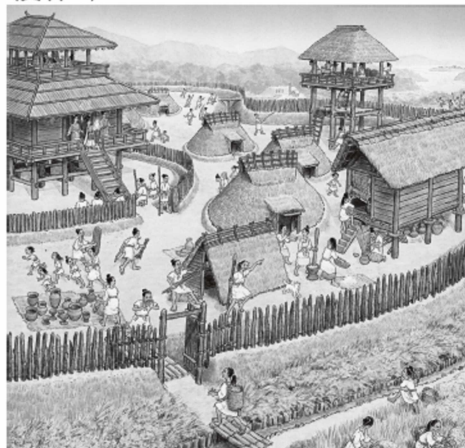
(イ) 大問4 第1学年「古代：弥生時代」

- (5) 写真3は佐賀県で発見された首のない人骨である。なぜ、このような首のない人骨が見つかったのか、その理由を資料5を参考に説明せよ。

(写真3)



(資料5)



【思考・表現1】

平均通過率		
市	県	差
48.0%	49.7%	-1.7
無解答率		
市	県	差
7.0%	7.4%	-0.4

指導のポイント

県の平均通過率を1.7ポイント下回っており課題である。

資料等を基に、自分の考えを書く活動を効果的に取り入れる。その際、根拠や理由を基に考えたことや選択・判断したことを記述させる活動を入れる。

(6) 中学校第2学年

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に着色している。

設問	大問	中間	小問	出題 学年	問題内容別		内容領域別				観点別			県平均通過率			本市通過率			校内通過率			出題の意図			
					基礎 ・ 基本	思考 ・ 表現	日本 の地 域構 成	日本 の地 域的 特色	日本 の諸 地域	近世 の日 本	思考 ・ 判断 ・ 表現	観 察 ・ 資 料 活 用	知 識 ・ 理 解	基礎 ・ 基本	思考 ・ 表現	無解答 率	基礎 ・ 基本	思考 ・ 表現	無解答 率	基礎 ・ 基本	思考 ・ 表現	無解答 率				
1			1	中2	○		○					○			59.3%		3.9%	60.9%		3.5%				地図上の経線を使って、時差について正しく指摘できるか。		
2			2	中2	○		○					○			44.9%		1.3%	44.7%		0.9%				日本と同緯度、同経度にある都市を地図上で正しく指摘できるか。		
3			3	小5 中2	○		○						○		68.1%		8.7%	69.2%		8.5%				択捉島の名称と位置を正しく理解しているか。		
4			4	中2		思・表2	○					○				66.6%	10.0%		66.8%	9.3%				我が国は島国であるため、領土の面積よりも領海・排他的経済水域の面積の方がはるかに広いことを理解しているか。		
5			5	小4 中2		思・表3	○					○				18.1%	4.3%		17.6%	4.1%				地域の様々な特色を基に、都道府県の名称と位置を判断できるか。		
6			1	中2	○		○						○		78.9%		7.3%	83.2%		5.4%				日本の中央部に位置する日本アルプスについて理解しているか。		
7			2	中2	○		○						○		47.0%		12.7%	45.0%		12.4%				地形の特色の一つである三角州について理解しているか。		
8			3	中2		思・表2	○						○			49.1%	6.1%		51.3%	5.4%				地域によって異なる日本の気候について、雨温図や模式図を用いて、季節風との関係から説明できるか。		
9			4	中2	○		○					○			93.4%		2.7%	95.2%		1.9%				自然災害について、自治体の防災への取組の一つである防災マップについて理解しているか。		
10			5	中2		思・表2	○					○				53.2%	5.2%		52.2%	4.5%				日本の発電所の分布について、発電所の立地条件から建設された場所を選び、その理由を説明できるか。		
11			1	中2	○			○					○		56.9%		7.1%	53.6%		6.9%				砂浜海岸の分布やその特徴について理解しているか。		
12			2	小4 中2	○			○					○		58.6%		3.3%	61.7%		2.8%				シラス台地の分布やその特徴について理解しているか。		
13			3	中2	○			○				○			71.1%		6.9%	73.7%		5.3%				資料を基に、歴史的景観都市である京都の景観や町並みを守るための工夫や努力について理解しているか。		
14			4	中2		思・表2		○					○			45.5%	9.5%		43.4%	7.9%				本州四国連絡橋が開通し、交通網が整備された結果、人や物の流れが活発になり、時間距離が短縮したことを説明できるか。		
15			1	中2	○				○				○		58.2%		0.8%	59.6%		0.5%				新航路の開拓について理解しているか。		
16			2	小6 中2	○				○				○		79.8%		5.3%	81.3%		4.5%				我が国の鉄砲の伝来について理解しているか。		
17			3	小6 中2	○				○	○					20.3%		1.0%	19.7%		0.7%				織田信長による全国統一に関する動きについて理解しているか。		
18			4	小6 中2		思・表2			○	○						30.8%	5.9%		30.9%	4.9%				太閤検地とその影響について、資料と関連付けながら説明できるか。		
19			5	中2	○				○				○		49.1%		8.7%	52.2%		7.1%				桃山文化を代表する作品について理解しているか。		
20			1	中2		思・表2			○	○						23.0%	25.8%		24.1%	24.6%				武家諸法度や禁中並公家諸法度により、幕府がどのような目的で全国の大名や天皇・貴族を取りまとめたかを説明できるか。		
21			2	小6 中2	○				○				○		33.2%		3.4%	35.8%		2.7%				江戸時代初期の貿易体制について理解しているか。		
22			3	中2	○				○				○		27.3%		1.5%	28.0%		1.2%				鎖国への歩みについて理解しているか。		
23			4	小6 中2	○				○				○		44.9%		15.4%	46.6%		14.1%				鎖国下の朝鮮との交流について理解しているか。		
24			1	小6 中2	○				○				○		71.7%		2.0%	73.1%		1.6%				江戸時代の三都や尾張の位置を理解しているか。		
25			2	中2	○				○	○					35.6%		15.6%	37.9%		15.6%				生類憐みの令を出した徳川綱吉を理解しているか。		
26			3	中2		思・表2			○				○			53.7%	2.1%		55.0%	1.5%				資料から田沼に比べて松平定信の政治が厳しく、人々から批判されたことを読み取り、松平の政治を選択できるか。		
27			4	小6 中2	○				○				○		44.5%		1.7%	41.6%		1.3%				元禄文化や化政文化の代表作品について理解しているか。		
計				問題数	19	8	5	5	4	13	8	6	13													
				出題割合	70.4%	29.6%	18.5%	18.5%	14.8%	48.2%	29.6%	22.2%	48.2%													
				通過率										54.9%	42.6%	6.6%	55.9%	42.7%	5.9%							

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問1 小学4年、第2学年「日本の諸地域」

(5) 資料3は、地図3中の「ある県」について説明したものである。「ある県」の県名を答えよ。

(資料3)

この県は、7地方区分では東北地方に含まれる。
歴史的には、奈良時代、東北地方の政治や軍事に当たる多賀城が整備された。
太平洋側に面し、三陸海岸はリアス海岸となっておりホタテなどの養殖漁業がさかんである。
北上川の河口があり、大きな平野を形成している。

(地図3)

この地図は、日本の国土を7つの地方区分に示している。その中で、東北地方の位置が示されている。資料3の記述と照らし合わせると、これは岩手県であることがわかる。

《平成28年度の類似問題》

(5) 資料2は、地図3中にある「ある府県」について説明したものである。「ある府県」とはどこか。地図3中のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

(資料2) ある府県の説明

この府県は、7地方区分では近畿地方に含まれる。
2016年5月に、第42回先進国首脳会議(伊勢志摩サミット)が開催された。
周囲を6つの府県と接しており、海に面している。
太平洋に面した志摩半島では、真珠の養殖が行われている。

(地図3)

この地図は、日本の国土を7つの地方区分に示している。その中で、近畿地方の位置が示されている。資料2の記述と照らし合わせると、これは三重県であることがわかる。

【思考・表現3】

平成30年度平均通過率		
市	県	差
17.6%	18.1%	-0.5
平成28年度平均通過率		
市	県	差
65.3%	63.8%	1.5

指導のポイント

平均通過率が17.6%と低く県を0.5ポイント下回っており、課題である。

都道府県の位置に関しては、地図等で確認するだけでなく、様々な社会事象と関連付けて考える授業を通して確実な定着を図る。

記号を選択する問題から、県名を記述する問題に変更したことで平均通過率の低下が見られることから、授業の終末に学習内容を文章や白地図等にまとめる活動の充実を図る。

(イ) 大問5 第2学年「江戸時代」

5 次の略年表や資料を見て、あとの問いに答えなさい。

(略年表)

年代	主なできごと	
1603年	江戸幕府が開かれる	A
	東南アジアとの貿易が始まる	B
1641年	鎖国の体制が固まる	C

(1) 略年表中Aについて、江戸幕府は260年余りも続く戦乱のない平和な時代を作り上げるが、「ほかの大名や武士、朝廷が反乱を起こさないように」するために何をしたか。江戸幕府が定めた法律の一つ挙げて、簡単に説明せよ。

《平成29年度の類似問題》

5 次の略年表や資料を見て、各問いに答えなさい。

(略年表)

年代	主なできごと	
1603年	江戸幕府がひらかれる	A
	東南アジアに日本町がさかえる	B
1615年	①武家諸法度が定められる	
1641年	鎖国の体制が固まる	C

(1) 資料1は略年表中下線部①の一部である。資料1中のXの目的を「大名」「幕府」という語句を使って、簡単に説明せよ。

(資料1) 武家諸法度(1615年)

一 学問と武道にひたすら精を出すようにしなさい。
 一 幕府の許可なしに、婚姻を結んではならない。…X
 (部分要約)

【思考・表現2】

平成30年度平均通過率		
市	県	差
24.1%	23.0%	1.1
平成29年度平均通過率		
市	県	差
36.4%	37.5%	-1.1

指導のポイント

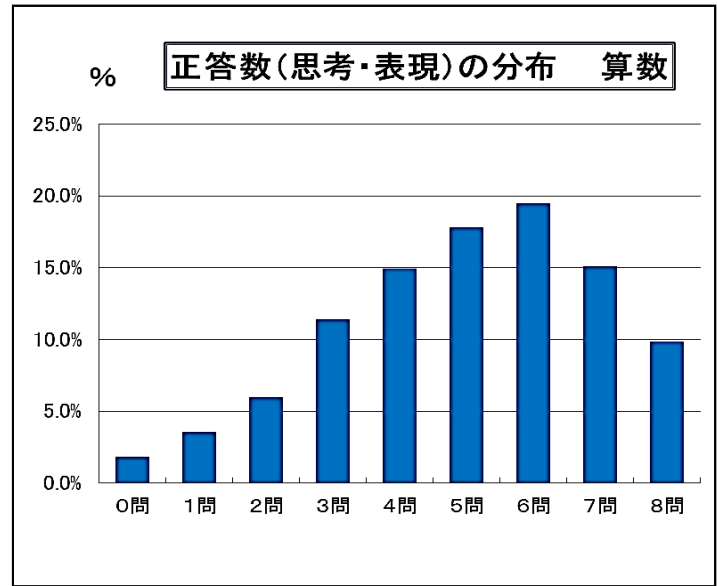
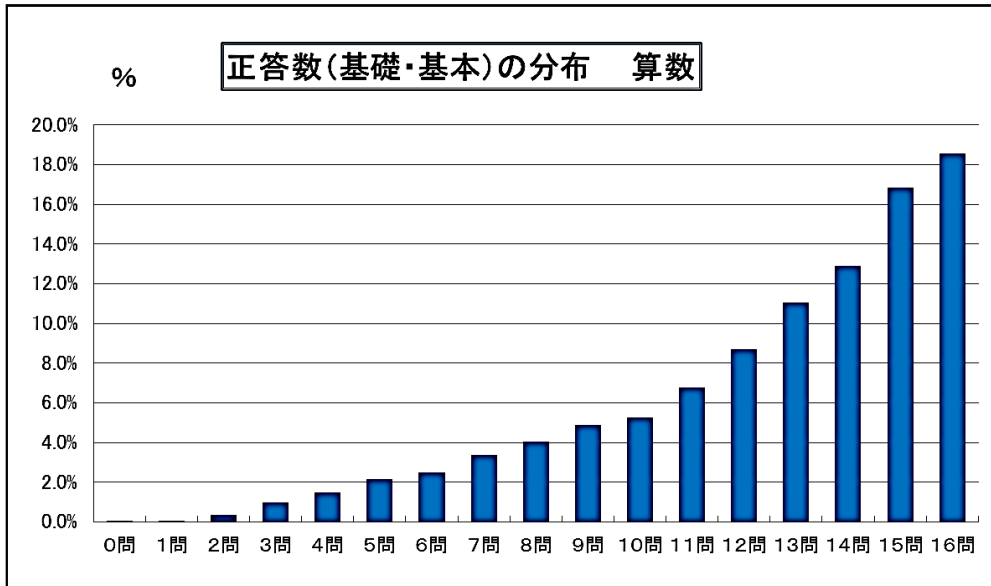
市の平均通過率が24.1%と低く課題である。

授業で選択・判断した根拠や理由を明確にし、考えをまとめる活動の充実を図ることや、定期考査等で鹿児島学力向上Webシステム上の評価問題等を活用し、その評価を基に授業改善を図る必要がある。

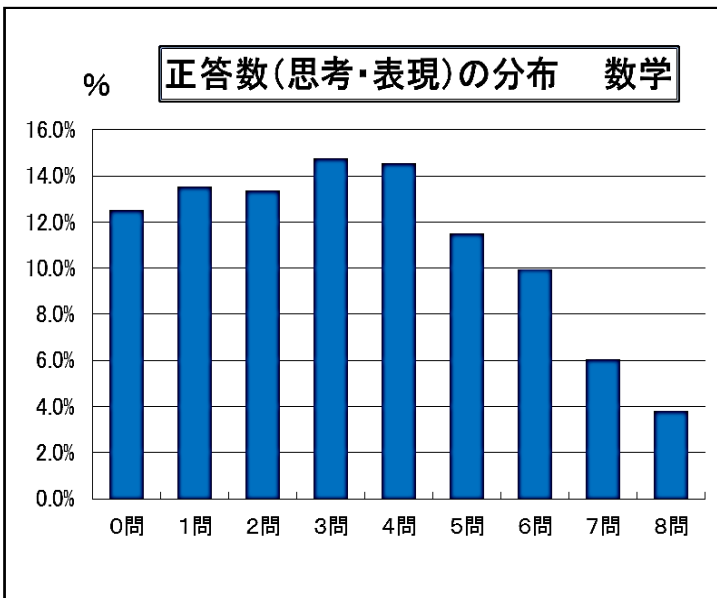
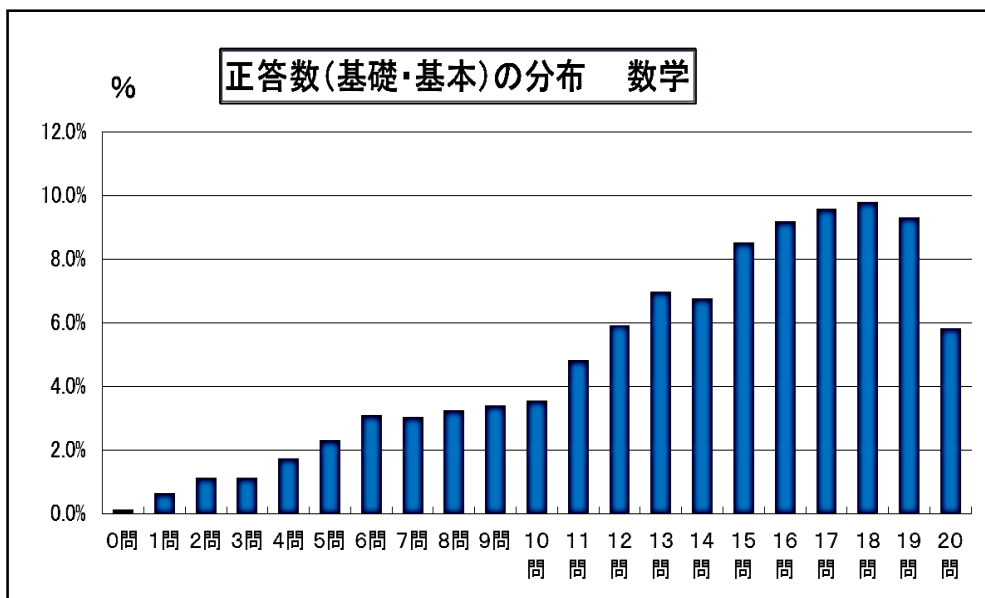
(1) 全体

学 年	基礎・基本			思考・表現			全 体		
	市	県	県との差	市	県	県との差	市	県	県との差
小5	77.6%	78.0%	-0.4	62.5%	62.3%	0.2	72.6%	72.8%	-0.2
中1	68.6%	68.0%	0.6	41.6%	39.0%	2.6	60.9%	59.7%	1.2
中2	68.4%	65.1%	3.3	58.8%	54.1%	4.7	64.6%	60.8%	3.8

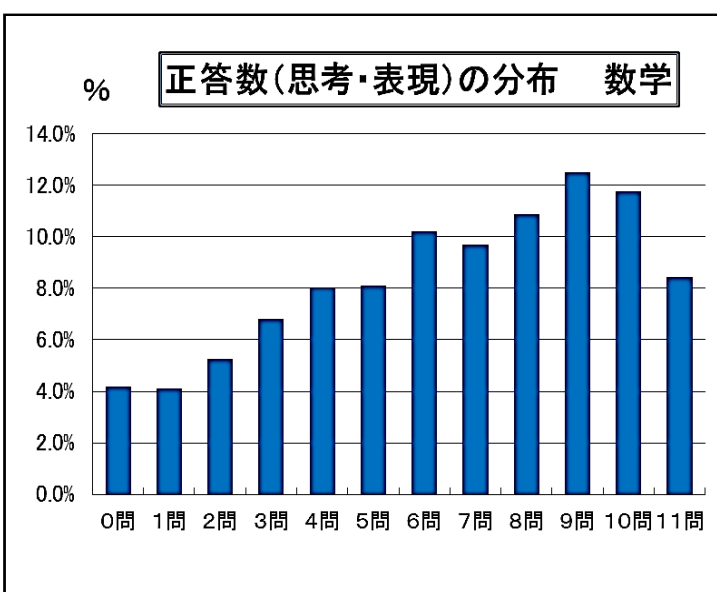
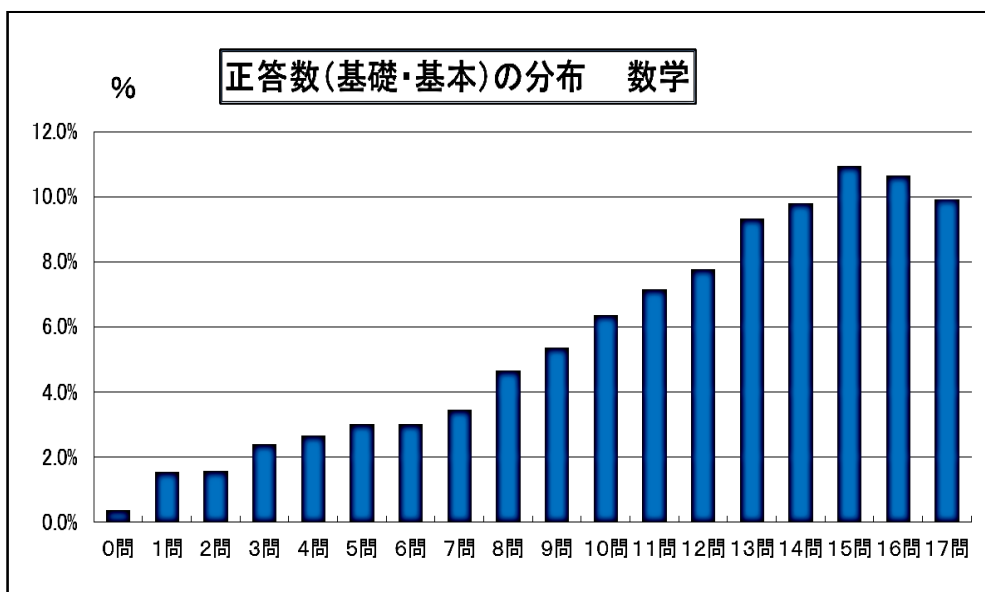
【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



【中学校第2学年】

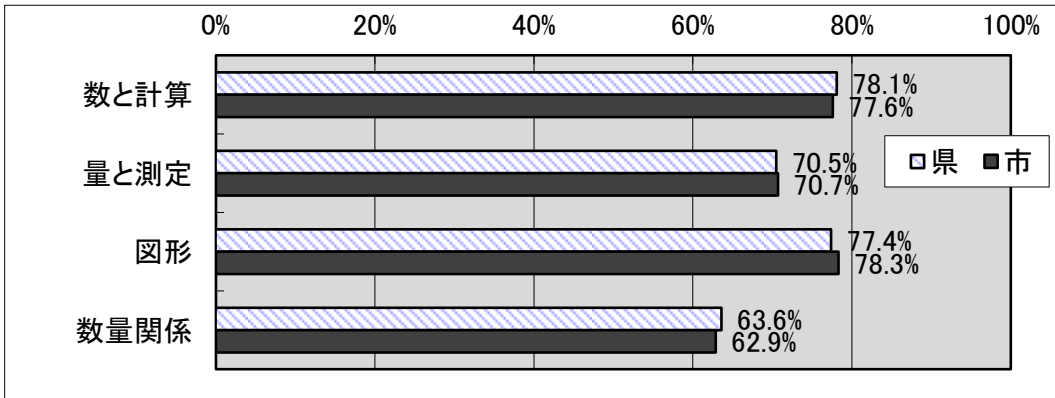


- 全体では、中1、2は県を上回ったが、小5がやや下回った。
- 「基礎・基本」では、小5は県を下回っている。中1、2は県を上回っているが、平均通過率は7割に満たない状況であり、課題が見られる。
- 「思考・表現」では、中1において5割を下回っており、課題が見られる。
- ◆ 通過率の低い問題のやり直しやかごしま学力向上支援Webシステムの単元・領域別評価問題の活用などを行い、基本的な概念や原理・原則を確実に定着させた上で、それらを活用して深く考え理解させる指導を重視する。

(2) 内容・領域別平均通過率

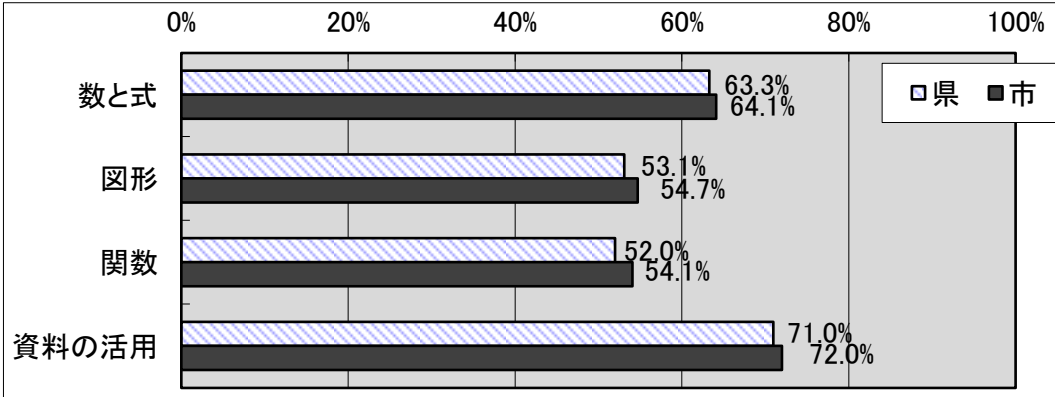
ア 小学校第5学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
数と計算	77.6%	78.1%	-0.5
量と測定	70.7%	70.5%	0.2
図形	78.3%	77.4%	0.9
数量関係	62.9%	63.6%	-0.7



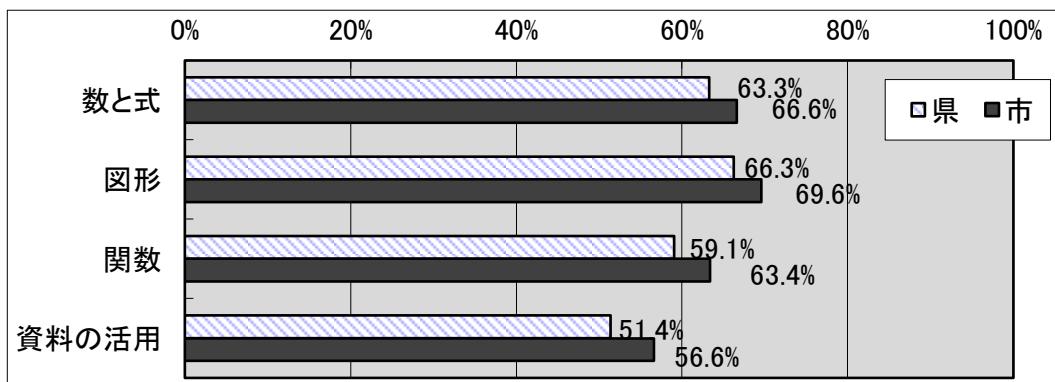
イ 中学校第1学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
数と式	64.1%	63.3%	0.8
図形	54.7%	53.1%	1.6
関数	54.1%	52.0%	2.1
資料の活用	72.0%	71.0%	1.0



ウ 中学校第2学年

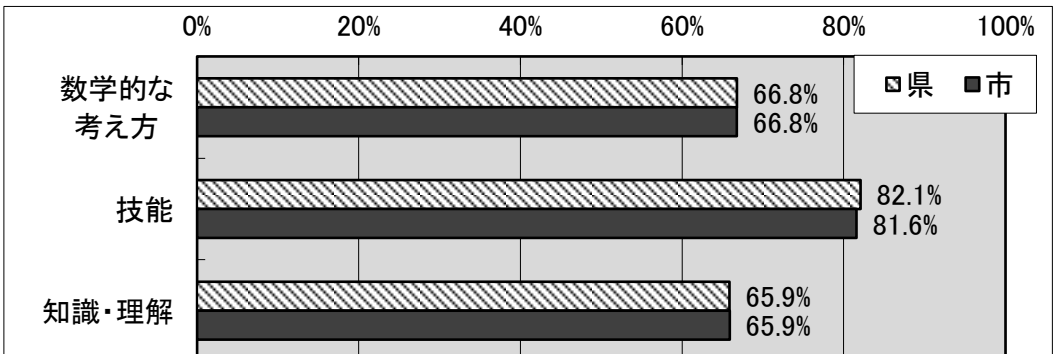
	平均通過率		県との差
	市	県	
数と式	66.6%	63.3%	3.3
図形	69.6%	66.3%	3.3
関数	63.4%	59.1%	4.3
資料の活用	56.6%	51.4%	5.2



(3) 観点別平均通過率

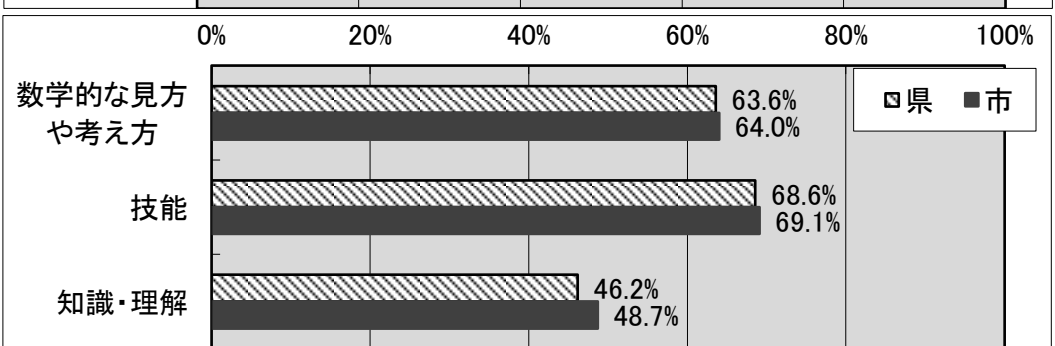
ア 小学校5年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
数学的な考え方	65.9%	65.9%	0.0
技能	81.6%	82.1%	-0.5
知識・理解	66.8%	66.8%	0.0



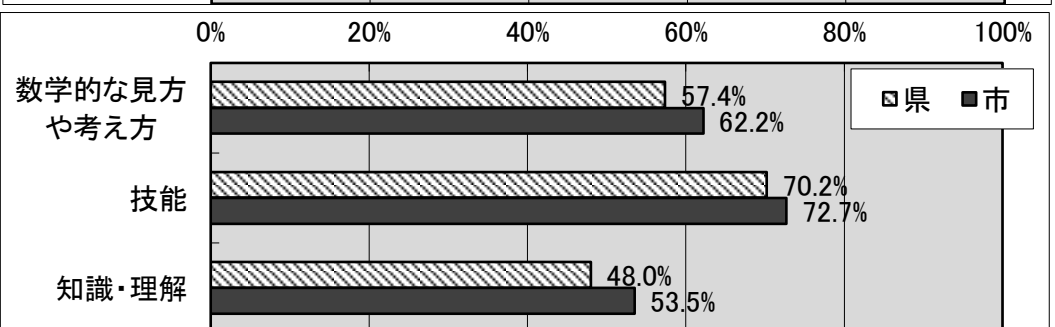
イ 中学校1年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
数学的な見方や考え方	48.7%	46.2%	2.5
技能	69.1%	68.6%	0.5
知識・理解	64.0%	63.6%	0.4



ウ 中学校2年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
数学的な見方や考え方	53.5%	48.0%	5.5
技能	72.7%	70.2%	2.5
知識・理解	62.2%	57.4%	4.8



- 内容・領域別平均通過率では、小5の「数と計算」と「数量関係」が県を下回っている。
- 観点別平均通過率では、小5の「技能」が県を下回っている。
- 中2の「数学的な見方や考え方」は5割を下回っており、課題が見られる。
- ◆ 問題を解決する過程で、数量の関係を捉え、言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて整理し、考えたことの理由について根拠を明確にして数学的に表現したり、説明したりする学習活動の工夫、充実を図る。

(4) 小学校第5学年

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に着色している。

設問	大問	中問	小問	出題学年	問題内容別		内容領域別				観点別			県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図		
					基礎・基本	思考・表現	数と計算	量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	技能	知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率			
1		(1)		小2	○		○					○			98.3%		0.1%	98.2%		0.0%				2位数どうしの繰り上がりのある加法を、正しく計算することができるか。	
2		(2)		小3	○		○					○			92.5%		0.1%	91.9%		0.0%				小数どうしの加法を、位をそろえて正しく計算することができるか。	
3		(3)		小5	○		○					○			76.3%		1.0%	74.5%		1.1%				小数の除法で、商を整数で求め、余りを適切に求めることができるか。	
4	1	(4)		小5	○		○					○			82.6%		1.7%	82.6%		1.5%				異分母の分数で、整数部分から真分数部分への繰り下がりがある減法を正しく計算することができるか。	
5		(5)		小5	○		○					○			77.0%		1.6%	76.5%		1.6%				分数÷整数を正しく計算することができるか。また、商を約分し、正しく答えを求めることができるか。	
6		(6)		小4	○						○		○		79.6%		0.6%	78.3%		0.6%				計算のきまりを使い、正しく計算することができるか。	
7		(1)		小5	○		○						○		74.8%		0.2%	73.1%		0.2%				乗数と積の大小関係、除数と商の大小関係を正しく理解しているか。	
8	2	(2)		小5	○		○				○				59.7%		0.2%	59.7%		0.2%				倍の関係にある2つの数量を表す線分図を選択することができるか。	
9		(1)		小5	○		○					○			72.1%		1.2%	73.1%		1.2%				最大公約数の意味を正しく理解し、求めることができるか。	
10	3	(2)		小5	○		○					○			69.3%		2.0%	69.0%		2.0%				最小公倍数の意味を正しく理解し、求めることができるか。	
11		(1)		小4	○								○		75.1%		0.2%	75.5%		0.3%				いろいろな四角形の性質を正しく理解しているか。	
12	4	(2)		小5	○								○		68.3%		0.3%	68.3%		0.4%				合同な三角形を作図するために必要な条件を理解しているか。	
13	5			小5	○		○						○		76.1%		1.0%	75.7%		1.0%				マス目から対角線の長さ等を求め、それを利用してひし形の面積を求めることができるか。	
14	6			小5	○		○					○			77.5%		2.2%	77.6%		2.3%				求積公式に当てはめ、分かっている辺の長さから体積から、高さを求めることができるか。	
15		(1)		小4	○							○			96.6%		1.2%	96.6%		1.3%				2つの数量の関係を表に整理して、答えを求めることができるか。	
16	7	(2)		小4	○							○	○		72.7%		1.5%	71.8%		1.3%				2つの数量の関係を読み取り、式に表すことができるか。	
17		① ② ③		小5		思・表2							○				84.7%		0.7%		86.1%		0.8%		五角形の内角の和を求めるに当たり、五角形を三角形に分割し、それらの内角の和を式を用いて求めることができるか。
18	8	④		小5		思・表2							○				81.8%		1.5%		83.2%		1.4%		五角形の内角の和を求めるに当たり、不必要な角を見いだすことができるか。
19		① ②		小5		思・表1		○					○				90.1%		0.6%		89.3%		0.9%		一方の量がそろっていることに気づき、もう一方の量から混み具合を判断することができるか。
20	9	③ ④		小5		思・表1		○					○				61.9%		0.8%		63.3%		1.1%		一方の量がそろっていることに気づき、もう一方の量から混み具合を判断することができるか。
21		(2)		小5		思・表3		○					○				47.1%		5.6%		47.6%		5.9%		何を基準として単位量あたりの大きさを求めているのか、説明することができるか。
22		(1)		小3		思・表1							○	○			49.4%		1.9%		47.3%		1.9%		棒グラフの差を見やすくするために、適切な目盛りの大きさを考えることができるか。
23	10	(2)		小4		思・表1							○				49.3%		1.1%		50.4%		1.0%		折れ線グラフを用いることが適切である事象を選択することができるか。
24		(3)		小4		思・表3							○	○			34.0%		5.9%		33.0%		5.7%		2つの折れ線グラフについて、それぞれの変化量を読み取り、変化の様子を説明することができるか。
計				問題数	16	8	9	5	4	6	10	10	4												
				出題割合	66.7%	33.3%	37.5%	20.8%	16.7%	25.0%	41.7%	41.7%	16.6%												
				通過率	78.0%			62.3%			1.4%			77.6%			62.5%			1.4%					
					72.8%									72.6%											

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問2 第5学年「数量関係」

(2) 兄と弟は、長さのちがうものさしを持っています。弟のものさしの長さは、兄のものさしの長さの0.6倍です。ものさしの長さの関係を表している図を次のア〜ウの中から選び、の中にその記号を書きましょう。

ア

ウ

イ

【基礎・基本】

(2) 平均通過率		
市	県	差
59.7%	59.7%	0.0
(2) 無解答率		
市	県	差
0.2%	0.2%	0.0

指導のポイント

「基礎・基本」の問題の中で最も平均通過率が低かった問題である。関係のある2つの数量を表す線分図を正しく選択することに課題が見られる。「問題場面における数量の関係を理解する」、「数量の関係を図や数直線などに表す」、「図や数直線などを基に立式したり計算の意味を確認したりする」といった一連の活動を繰り返し設定することが大切である。

(イ) 大問10 第4学年「折れ線グラフ」

10 けんたさんは、委員会活動で5年生の図書室での本の貸出冊数をまとめることになりました。下の表は、けんたさんがまとめた5年生の4月から10月までの貸出冊数の表です。

グラフ1

10月の貸出冊数

けんた: 10月の貸出冊数をばうグラフ(グラフ1)に表したよ。でもなんだか本の種類ごとの差がよくわからないな。どうすれば見やすくなるのかな。

けんた

れな: たてのじくの1目もり分の大きさを調べてグラフに表せばいいよ。つまり、たてのじくの1目もり分の大きさを20冊よりもすれば、もっと差がわかるようになるよ。

(1) けんたさんに対して、れなさんがアドバイスをしようとしています。下のれなさんの話のの中にあてはまる言葉を書きましょう。

高学年のこれまでの貸出冊数の変化の様子を比べるために、折れ線グラフ(グラフ2)に表して話し合いました。

グラフ2

けんた: 7月から9月の変わり方に注目すると、5年生の方が変わり方が大きいね。5年生の方が、貸出冊数の増え方が大きいんだね。

けんた

れな: けんたさんの言っていることは、まちがっているわよ。

(3) れなさんが、けんたさんの考えは、まちがっていると話している理由を、グラフから読み取る貸出冊数に着目して、言葉や数を使って書きましょう。

【思考・表現1】

(1) 平均通過率		
市	県	差
47.3%	49.4%	-2.1
(1) 無解答率		
市	県	差
1.9%	1.9%	0.0

【思考・表現3】

(3) 平均通過率		
市	県	差
33.0%	34.0%	-1.0
(3) 無解答率		
市	県	差
5.7%	5.9%	-0.2

指導のポイント

棒グラフの差を見やすくするための工夫を考えたり、複数の折れ線グラフについて、それぞれの変化量を読み取り、変化の様子を説明したりする問題に課題がある。

グラフについて、紙面の大きさや目的に応じて、適切な目盛りや大きさやグラフ全体の大きさを決めることができるようにする。その際、同じグラフであっても、縦軸の幅を変えることなどによって、見え方が異なることに気付かせる。また、グラフの数値を読み取り、比較したり、自分の考えを数学的な表現を用いてノートに記述し伝え合ったりする活動を重視し、取り組ませていく必要がある。

(5) 中学校第1学年

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に着色している。

設問	出題学年			問題内容別		内容領域別					観点別			県平均通過率			本市通過率			校内通過率			出題の意図					
	大問	中間	小問	基礎・基本	思考・表現	数と式	図形	関数	資料の活用	数学的な見方や考え方の活用	技能	知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率							
1			(1)	中1	○		○					○			88.2%		0.1%	90.5%		0.1%			正の数と負の数の加減の計算ができるか。					
2			(2)	中1	○		○					○			75.2%		0.3%	73.0%		0.4%			正の数と負の数の累乗の計算ができるか。					
3		1	(3)	中1	○		○					○			83.5%		0.8%	84.1%		0.7%			正の数と負の数の四則の混じった計算ができるか。					
4			(4)	中1	○		○					○			69.8%		4.3%	67.8%		4.5%			1次式と数の除法の計算ができるか。					
5			(5)	中1	○		○					○			61.5%		4.6%	60.6%		4.7%			分配法則を使い、同類項をまとめることができるか。					
6		2		中1	○		○					○			73.0%		10.1%	73.2%		9.9%			絶対値の意味を理解できているか。					
7			(1)	中1	○		○					○			73.7%		3.3%	74.8%		3.2%			正の数と負の数の符号を使って表された数の意味を読み取ることができるか。					
8		3	(2)	中1	○		○					○			74.3%		3.5%	74.4%		3.3%			正の数と負の数の差を求める場合には、絶対値を用いて考えればよいことを理解しているか。					
9		1		中1	○		○					○			70.2%		3.7%	70.8%		3.1%			文字に数を代入し、式の値を求めることができるか。					
10		2		中1	○		○					○			65.4%		5.6%	69.3%		4.9%			文字式の意味を読み取り、言葉で表すことができるか。					
11		3		中1	○		○					○			68.1%		1.5%	69.7%		1.3%			方程式の解の意味を理解しているか。					
12		4		中1	○		○					○			67.3%		4.8%	67.1%		4.0%			具体的な事象から数量関係を捉え、不等式で表すことができるか。					
13		5		小6	○				○				○		73.3%		1.1%	74.6%		1.2%			与えられた表の数値から、数量の関係が比例の関係であることを見いだすことができるか。					
14		6	(1)	小6	○					○			○		88.7%		2.3%	90.1%		2.0%			与えられた資料を整理し、表を完成させることができるか。					
15			(2)	小6	○								○		53.2%		11.9%	53.9%		11.4%			与えられた範囲の、全体に対する割合を求めることができるか。					
16		1		小4	○		○					○			84.1%		0.8%	84.6%		0.7%			立体の展開図を組み立てたときの点の重なりを理解しているか。					
17		3	2	小4	○		○					○			54.3%		2.1%	53.7%		2.2%			立体の展開図を組み立てたときの面と辺の位置関係を理解しているか。					
18		3		小6	○		○					○			42.9%		6.8%	44.9%		6.9%			立体の体積の求め方を理解しているか。					
19		4	1	中1	○		○					○			43.6%		2.2%	46.2%		2.1%			回転移動の表し方を理解しているか。					
20			2	中1	○		○					○			49.1%		1.9%	49.0%		2.1%			基本的な作図が図形の対称性を基に行われていることを理解しているか。					
21		5	1	中1		思・表1	○					○			55.4%		3.8%	57.4%		3.7%			問題の指示された条件に従って、長さを求めることができるか。					
22			2	中1		思・表2	○					○			13.6%		10.6%	16.0%		10.3%			規則性に気づき、文字を用いて表すことができるか。					
23			3	中1		思・表3	○					○			10.9%		28.2%	12.5%		26.7%			規則を基にして、方程式をつくり必要な数量を求めることができるか。色の並べ方の規則からそれぞれの必要な枚数を求めることができるか。					
24		6	1	中1		思・表1		○				○			52.2%		9.6%	56.8%		9.1%			2点A、Bから等しい距離にある点は、線分ABの垂直二等分線上にあることを理解しているか。					
25			2	中1		思・表2		○				○			45.5%		9.2%	48.1%		9.1%			対称移動の性質から、線分の長さが等しくなることを理解し、AQ+QBが最短となることを説明することができるか。					
26		7	1	小6		思・表1			○			○			58.7%		15.9%	60.5%		14.8%			表の情報を基に、1kgあたりの量を求めることができるか。					
27			(1)	小6		思・表3			○			○			44.8%		16.6%	47.9%		15.3%			表から必要な情報を選択し、値を求めることができるか。また、表の情報を基に、比例の考えを利用することができるか。					
28			(2)	小6		思・表3			○			○			31.1%		29.0%	33.5%		26.0%			表から必要な情報を選択し、値を求めることができるか。また、表の情報を基に、比例の考えを利用し、例となる説明を参考にしながら説明を記述することができるか。					
計	問題数			20	8	15	7	4	2	10	13	5																
	出題割合			71.4%	28.6%	53.6%	25.0%	14.3%	7.1%	35.7%	46.4%	17.9%																
													通過率			68.0%	39.0%	7.0%	68.6%	41.6%	6.6%							
																59.7%			60.9%									

イ 特に課題のあった設問

(7) 大問3 小学校6学年「立体の体積」

3 下の図は、ある立体の展開図である。辺ANと辺AB、辺ABと辺BMはそれぞれ垂直に交わる。このとき、次の1～3の各問いに答えなさい。

3 この展開図を組み立ててできる立体の体積は何 cm^3 か。

【基礎・基本】

3 平均通過率		
市	県	差
44.9%	42.9%	2.0
3 無回答率		
市	県	差
6.9%	6.8%	0.1

指導のポイント

小学校第6学年で学習する内容である。展開図から組み立てた立体の体積の求め方の理解に課題が見られる。展開図について、一つの立体図形から、一通りではなく幾つかの展開図をかくことができることや、展開図からできあがる立体図形を想像できるようにすることが大切である。また、立体の体積の求め方を、図形を構成する要素などに着目して、既習の立方体、直方体の体積の求め方を基に考えたり、図形の面積の学習と関連付けたりながら、具体的な立体を用いるなどして丁寧に繰り返し指導を行うことが重要である。

(4) 大問5 第1学年「文字式」

※ 問題文 一部省略

5 さくらさんとあさひさんは、教室を設営するために、フラッグガーランドという飾りをつくることにした。飾りは【図1】のように、1辺の長さが12cmの正三角形の布を使い、布どうしの間に8cmのすきまをあけてつなげていく。また、結ぶことを考えて、ひもの両端の長さは14cmにした。さくらさんとあさひさんは、このひもの両端の長さを含んだ飾り全体の長さについて考えた。このとき、次の1～3の各問いに答えなさい。

【図1】

2 さくらさんは、 x 枚の布を使った飾り全体の長さを求めるために、次のように考えた。ア、イにあてはまる文字式を書け。

【図2】

【図3】

【図4】

よって、 x 枚の布で飾りをつくるときは、20cmの部分が (ア) か所あると考えられます。
したがって、 x 枚の布で飾りをつくると、飾り全体の長さは、(イ) cmになります。

3 あさひさんは、赤、白、青の3色の布を使って、【図5】のように左から赤、白、青、赤、白、青、...と順に並べて、飾りをつくることにした。
このとき、飾り全体の長さが6mのものをつくるには、3色の布をそれぞれ何枚ずつ準備すればよいか、さくらさんの考えをもとに方程式を利用して求めよ。ただし、途中の計算過程も書くこと。

【図5】

【思考・表現2】

2 平均通過率		
市	県	差
16.0%	13.6%	2.4
2 無解答率		
市	県	差
10.3%	10.6%	-0.3

【思考・表現3】

3 平均通過率		
市	県	差
12.5%	10.9%	1.6
3 無解答率		
市	県	差
26.7%	28.2%	-1.5

指導のポイント

規則性に気付き、文字を用いて表すことや規則を基にして、方程式をつくり必要な数量を求める問題などに課題が見られ、無解答率も高い。さらに、他者の考えを理解し、それを活用して自分の考えをつくり上げていくことに関しても課題が見られる。言葉や表、グラフ、式等を用いて自分の考えを記述させたり、説明させたりする活動を繰り返し行うことが大切である。また、文字を用いることの良いを実感させ、その必要性や意味を理解できる活動を充実させていくことも大切である。

(6) 中学校第2学年

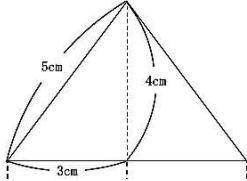
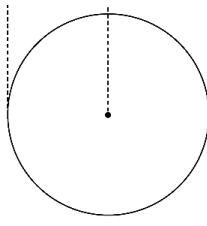
ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に着色している。

設問	出題学年			問題内容別		内容領域別				観点別			県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図	
	大問	中問	小問	基礎・基本	思考・表現	数と式	図形	関数	資料の活用	数学的な見方や考え	技能	知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率		
1	1	1	(1)	中1	○		○				○		75.5%		0.8%	77.7%		0.6%				計算の順序を考えて、四則の混じった計算ができるか。	
2			(2)	中2	○		○				○		79.0%		0.9%	81.5%		0.7%				多項式と多項式の減法ができるか。	
3			(3)	中2	○		○				○		83.9%		0.7%	84.7%		0.8%				負の符号がついた単項式の累乗の計算ができるか。	
4			(4)	中2	○		○				○		74.1%		4.0%	75.3%		3.6%				単項式の乗除の混じった計算ができるか。	
5		2	中2	○		○				○		63.3%		4.5%	65.0%		3.2%				文字式を計算し、文字に数を代入し、式の値を求めることができるか。		
6		3	中2	○		○				○		59.5%		11.9%	61.8%		10.7%				等式の性質を用いて、等式を変形できるか。		
7	2	1	中2	○		○				○		77.2%		7.2%	80.1%		5.7%				連立方程式を解くことができるか。		
8		(1)	中2	○		○			○		63.3%		6.8%	68.7%		5.2%				立式された二元一次方程式の意味を説明できるか。			
9		(2)	中2	○		○			○		54.1%		4.4%	59.7%		3.1%				数量関係を的確に捉え、立式ができるか。			
10	3	1	中1	○			○			○		76.8%		8.3%	76.5%		8.1%				辺上にない点から垂線の作図ができるか。		
11		2	(1)	中2	○			○		○		81.1%		2.4%	83.2%		2.0%				平行線の性質、三角形の外角の性質を用いて角度を求めることができるか。		
12		(2)	中2	○			○			○		77.1%		7.3%	79.8%		6.5%				多角形の外角の和が360°であること等を利用し、正多角形の1つの外角の大きさを求めることができるか。		
13		3	中2	○			○				○	64.6%		1.1%	70.0%		0.9%				三角形の合同条件を基に合同な三角形を見つけ、記号≡を使って、対応する順に表すことができるか。		
14	4	中1	○			○			○		31.6%		16.8%	38.2%		14.7%				投影図から図形を考察し、体積を求めることができるか。			
15	5	1	中1	○			○			○		55.7%		1.8%	60.0%		1.2%				2つの数量の関係について、反比例の関係である事象を選択することができるか。		
16		2	中1				○			○		39.7%		14.0%	46.2%		11.6%				比例の式を求めることができるか。		
17		3	中1	○				○		○		50.5%		3.0%	54.6%		2.2%				反比例のグラフと表の特徴を理解しているか。		
18	6	1	中2		思・表1	○				○		56.8%		13.6%	62.0%		11.4%				与えられた2つの数の規則性を見付けることができるか。		
19		2	中2		思・表3	○				○		39.7%		16.9%	45.5%		14.3%				類推された考えを、文字を利用して説明することができるか。		
20		3	中2		思・表2	○				○		33.1%		28.2%	36.7%		24.6%				一般化された考えを基に、新たな条件で2つの数を求めることができるか。		
21	7	1	中1		思・表1			○		○		74.2%		4.7%	76.7%		3.8%				表から必要な情報を読み取り、与えられた数量を求めることができるか。		
22		2	中1		思・表1			○		○		71.1%		10.5%	74.2%		8.5%				表から数量関係を読み取り、グラフで表すことができるか。		
23		3	中1		思・表3			○		○		63.2%		9.4%	68.6%		7.1%				表したグラフから目的に応じた数量を読み取ったり、計算したりして、判断することができるか。		
24	8	1	ア	中1		思・表1			○		○		38.6%		15.4%	44.8%		11.8%				与えられた資料の代表値を求めることができるか。	
25			イ	中1		思・表3			○		○		49.5%		22.9%	53.2%		18.2%				資料を比較したことを、具体的な数値を用いて、説明することができるか。	
26		2	(1)	中1		思・表3			○	○		63.2%		20.7%	69.1%		16.6%				適切な代表値やヒストグラムを基に、資料の傾向を読み取り、説明することができるか。		
27			(2)ア	中1		思・表1			○		○		78.6%		13.6%	82.8%		10.8%				与えられた資料の代表値を求めることができるか。	
28	(2)イ	中1		思・表2				○	○		26.9%		20.8%	33.3%		17.6%					資料を基に、必要とされる数を求めることができるか。		
計				問題数	17	11	12	5	6	5	9	14	5										
				出題割合	60.7%	39.3%	42.8%	17.9%	21.4%	17.9%	32.1%	50.0%	17.9%										
				通過率	65.1%			54.1%			9.7%			68.4%			58.8%			8.1%			
					60.8%						64.6%												

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問4 第1学年「空間図形」

4 下の図は、ある立体の投影図である。この立体の体積を求めなさい。ただし、円周率は π とする。

【投影図】
 (立面図)  (平面図) 

【基礎・基本】

平均通過率		
市	県	差
38.2%	31.6%	6.6
無解答率		
市	県	差
14.7%	16.8%	-2.1

指導のポイント

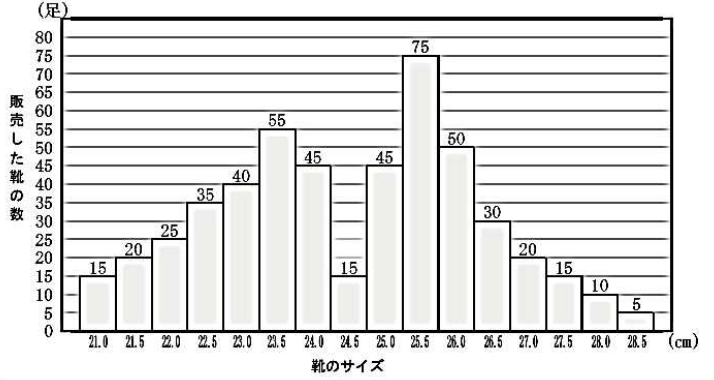
「基礎・基本」に関する出題であるが、平均通過率が4割を切っており、無解答率も高い。投影図から図形を考察し、体積を求めることに課題が見られる。身近な立体について視点を決めて観察し、それを真上や正面から見た図などに表現して、その立体のもつ性質を考察する活動が大切である。

(イ) 大問8 第1学年「資料の活用」

2 この店では、鹿児島県民が国体に向けて、スポーツに対する関心が高まってきていると分析し、ジョギングシューズなどの靴の販売に力を入れることにした。そのため、昨年、この店で販売した靴について調べ、調べたことをもとに来年の靴の仕入れの参考にしようと考えた。次の(1)、(2)の各問いに答えよ。

調べたこと

- 販売した靴の合計は500足
- 販売した靴のサイズの平均は24.5cm
- 販売した靴のサイズごとのグラフ



- (1) 「販売した靴のサイズの平均は24.5cmだった。だから来年は24.5cmの靴を最も多く仕入れるべきだ。」という考えは適切ではない。その理由を上グラフからわかることをもとに説明せよ。
- (2) この店では、来年度の靴の仕入れについて次のように考えた。下のア、イにあてはまる数を答えよ。

グラフから最頻値が cmであることがわかったので、来年は cmの靴をたくさん仕入れよう。
 昨年と同じ割合で来年も売れると考えると、来年は全部で800足の靴を仕入れる予定なので、 cmの靴を 足仕入れることにしよう。

【思考・表現3】

(1) 平均通過率		
市	県	差
69.1%	63.2%	5.9
(1) 無解答率		
市	県	差
16.6%	20.7%	-4.1

【思考・表現2】

(2) イ 平均通過率		
市	県	差
33.3%	26.9%	6.4
(2) イ 無解答率		
市	県	差
17.6%	20.8%	-3.2

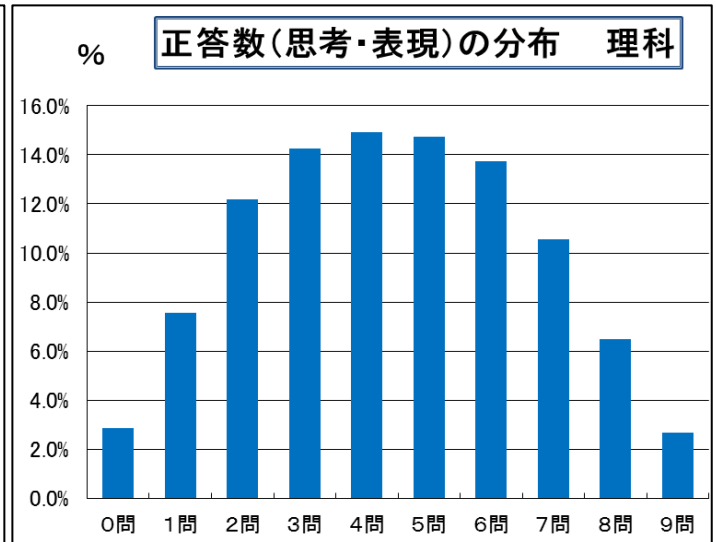
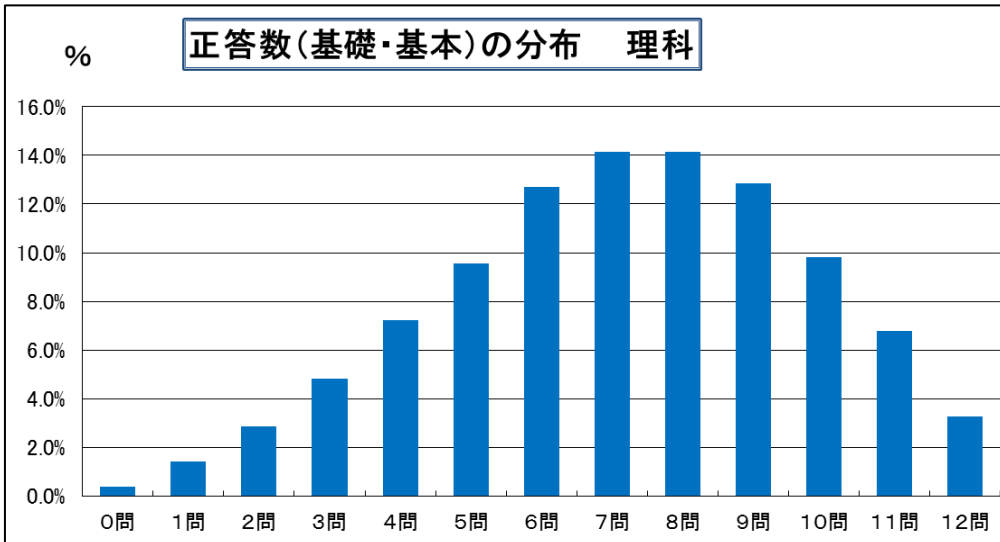
指導のポイント

与えられた資料を基に、必要とされる数を求めることに課題が見られる。また、(1)については、資料の傾向を読み取り、説明する問題であるが、無解答率は1割を上回っている。式や言葉を用いて数学的に表現する問題は、無解答率が高い。問題場面から解決に必要な情報や資料等を選択し、言葉や数、式、表、グラフ等を用いて、考えを数学的に表現する活動を繰り返し行うことが大切である。

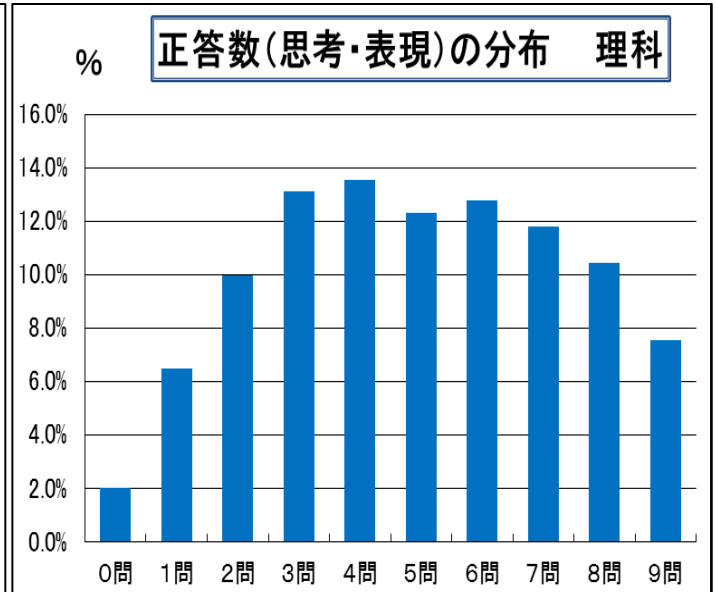
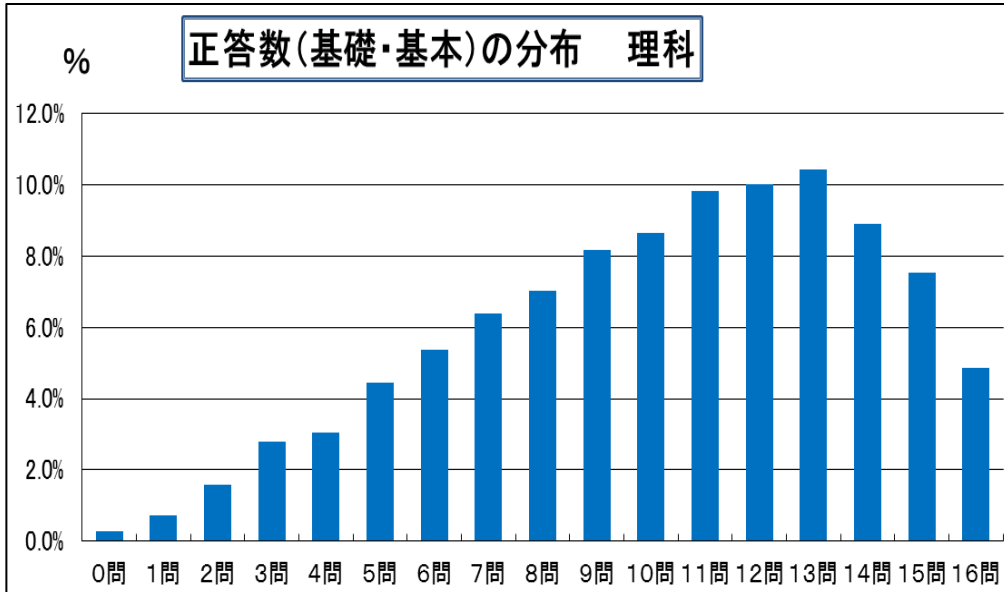
(1) 全体

学 年	基礎・基本			思考・表現			全 体		
	市	県	県との差	市	県	県との差	市	県	県との差
小5	59.6%	59.7%	-0.1	49.0%	47.8%	1.2	55.0%	54.6%	0.4
中1	64.7%	62.2%	2.5	55.5%	53.9%	1.6	61.4%	59.2%	2.2
中2	58.4%	55.9%	2.5	41.3%	39.0%	2.3	52.7%	50.3%	2.4

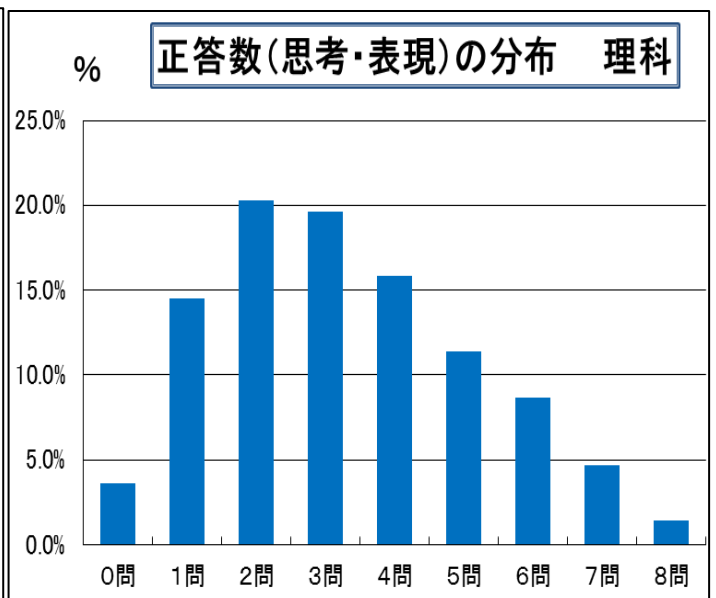
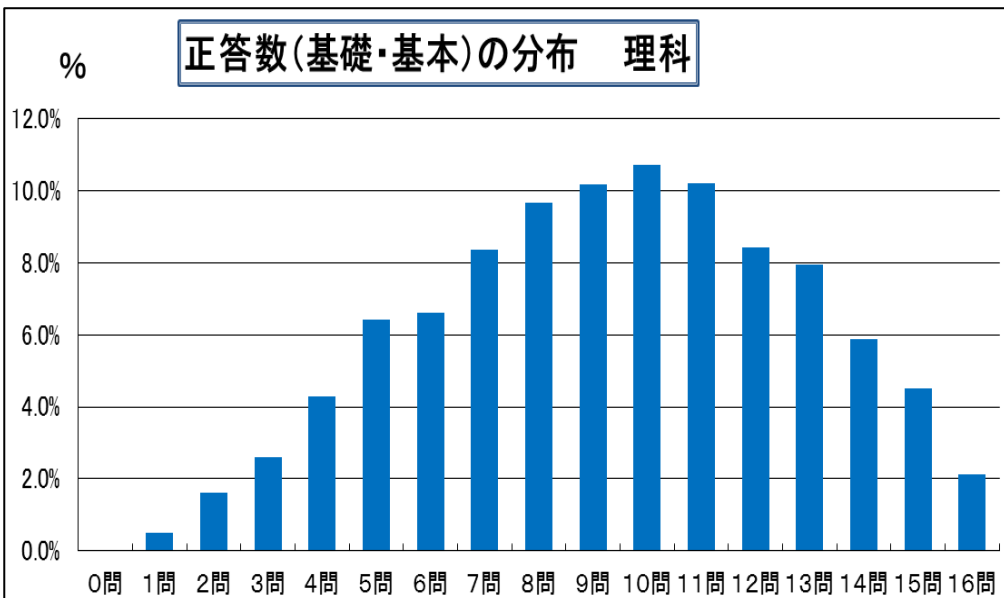
【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



【中学校第2学年】

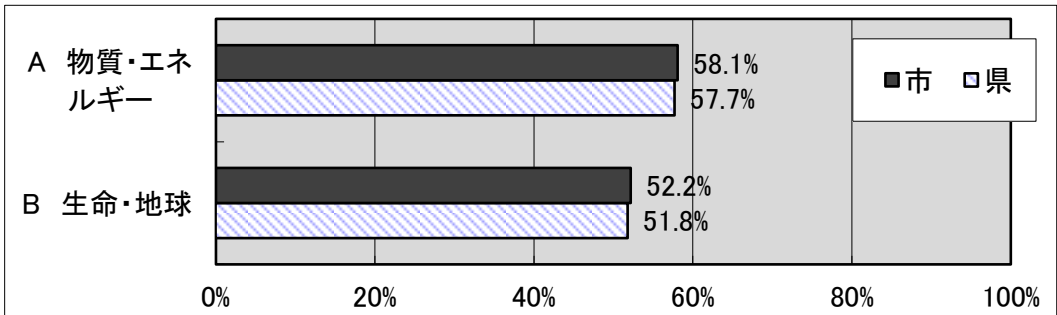


- 全体は、どの学年も県を上回っている。
- 「基礎・基本」は、中1、中2は県を上回っているが、小5は県を下回っており課題が見られる。
- 「思考・表現」は、どの学年も県を上回っている。ただし、小5と中2は、平均正答率が5割に満たない状況である。また、学年が上がるにつれて、記述式の問題の無解答率が高くなっている。
- ◆ 既習の知識や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想したり、自らの予想や仮説に基づいて検証計画を立案したりする活動を重視する。また、「かごしま学力向上支援Webシステム」の単元・領域別評題を活用するなどし、思考・表現する力の育成を図る。

(2) 内容・領域別平均通過率

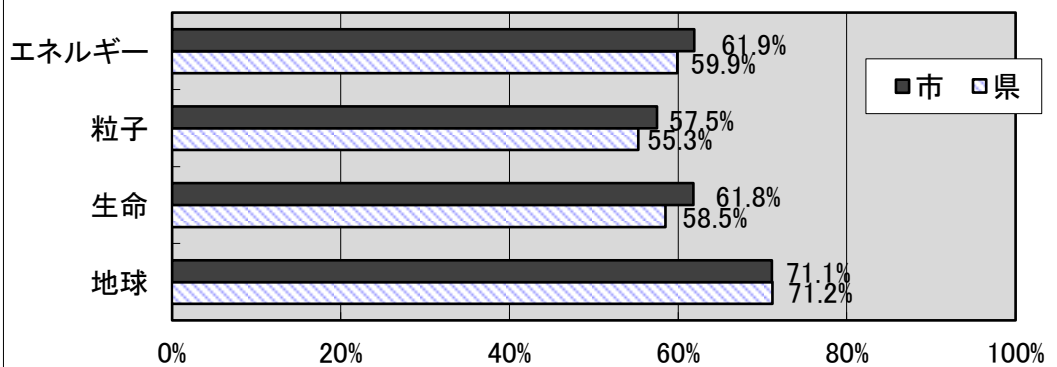
ア 小学校第5学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
A 物質・エネルギー	58.1%	57.7%	0.4
B 生命・地球	52.2%	51.8%	0.4



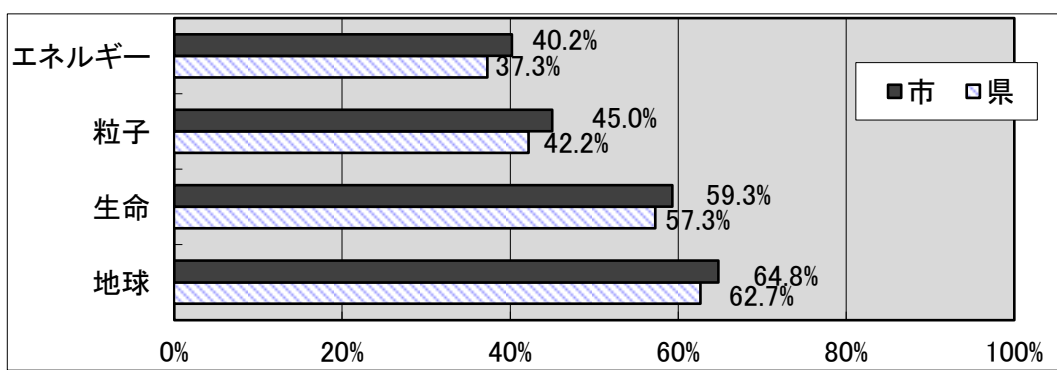
イ 中学校第1学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
エネルギー	61.9%	59.9%	2.0
粒子	57.5%	55.3%	2.2
生命	61.8%	58.5%	3.3
地球	71.1%	71.2%	-0.1



ウ 中学校第2学年

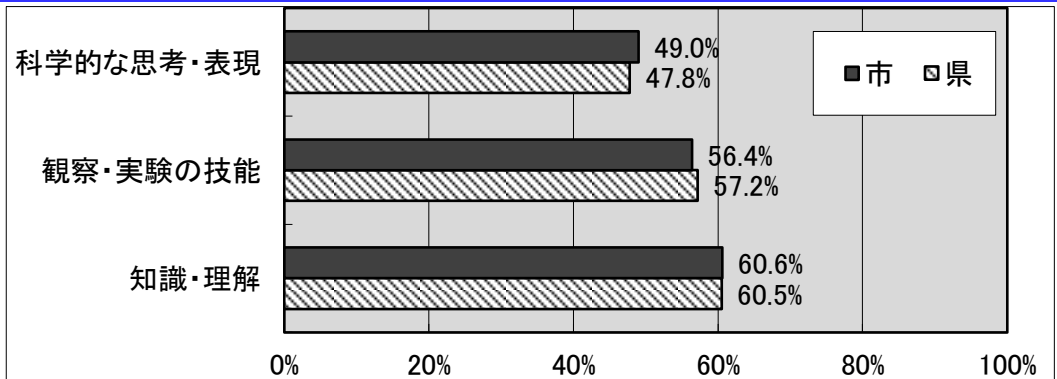
	平均通過率		県との差
	市	県	
エネルギー	40.2%	37.3%	2.9
粒子	45.0%	42.2%	2.8
生命	59.3%	57.3%	2.0
地球	64.8%	62.7%	2.1



(3) 観点別平均通過率

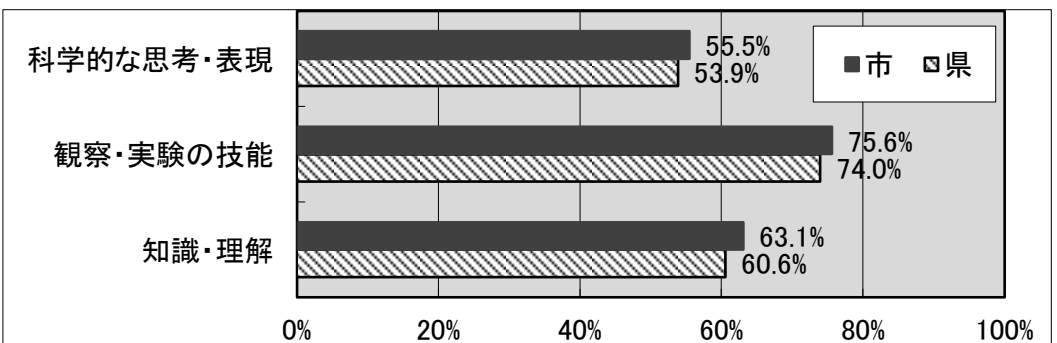
ア 小学校5年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
科学的な思考・表現	49.0%	47.8%	1.2
観察・実験の技能	56.4%	57.2%	-0.8
知識・理解	60.6%	60.5%	0.1



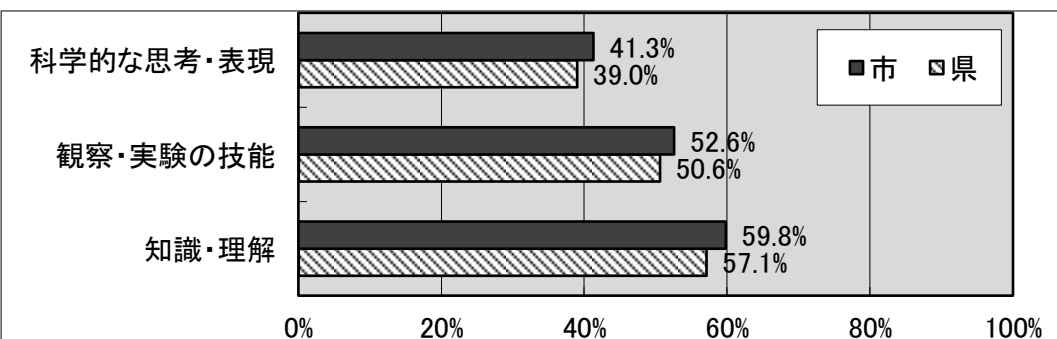
イ 中学校1年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
科学的な思考・表現	55.5%	53.9%	1.6
観察・実験の技能	75.6%	74.0%	1.6
知識・理解	63.1%	60.6%	2.5



ウ 中学校2年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
科学的な思考・表現	41.3%	39.0%	2.3
観察・実験の技能	52.6%	50.6%	2.0
知識・理解	59.8%	57.1%	2.7



- 内容・領域別平均通過率では、中1の「地球」において県を下回っている。
- 観点別平均通過率では、小5の「観察・実験の技能」が県を下回っている。
- 「科学的な思考・表現」は、小5と中2で5割を下回っており、課題が見られる。
- ◆ 顕微鏡やメスシリンダー等の基本的な操作方法については、操作の意味を理解させた上で一人一人に十分操作させ、観察、実験の技能の定着を図る。また、図や表、説明文等を児童生徒に読み取らせ、理解を確認したり、習得した知識・技能を活用した探究活動やものづくりに取り組ませたりし、科学的に思考・表現する力の育成を図る。

(4) 小学校第5学年

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に着色している。

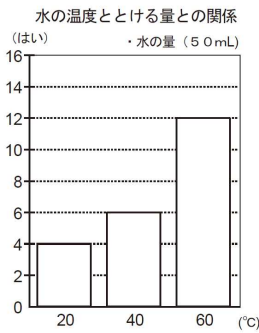
設問	大問	中問	小問	出題学年	問題内容別		内容領域別		観点別			県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図
					基礎・基本	思考・表現	A 物質・エネルギー	B 生命・地球	科学的な思考・表現	観察、実験の技能	知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	
1			1	小3	○			○			○	83.6%		0.3%	84.0%		0.3%				太陽とかげの向きを調べる観察であることを理解しているか。
2	1		2	小3	○			○				37.7%		2.2%	36.0%		2.6%				しゃ光プレートの名称と役割について理解しているか。
3			3	小3	○			○			○	61.9%		0.2%	62.7%		0.2%				かげは日光をさえぎる物があると、太陽の反対側にできることを理解しているか。
4			1	小4	○			○			○	54.1%		0.1%	51.3%		0.1%				湯気は液体の水であることを理解しているか。
5	2		2	小4		思・表1		○					51.6%	0.1%		53.8%	0.0%				沸騰している泡の正体について予想に対する結果の見通しを考察できるか。
6			3	小4	○			○			○	52.5%		0.1%	52.6%		0.1%				結果を予想に照らし合わせて泡の正体を考察できるか。
7	3			小4		思・表2		○			○		61.5%	0.4%		61.2%	0.4%				天気の様子から一日の気温の変化を考察できるか。
8			1	小5		思・表1		○			○		48.6%	0.2%		49.7%	0.2%				水の温度とミョウバンの溶ける量との関係のグラフを基に、ミョウバンの溶けている量について実験結果から考察できるか。
9	4		2	小5	○			○			○	86.6%		2.9%	86.7%		2.8%				固体と液体を分ける方法について名称を理解しているか。
10			3	小5	○			○			○	75.2%		0.4%	76.2%		0.6%				ろ過の適切な操作方法を身に付けているか。
11			4	小5		思・表3		○			○		46.4%	0.4%		48.3%	0.5%				ろ過の前後の水溶液の様子をモデルで説明することができるか。
12	5		1	小3	○			○			○	41.0%		0.2%	39.6%		0.4%				昆虫の種類による変態の仕方の違いについて理解しているか。
13			2	小3	○			○			○	58.7%		3.0%	57.1%		3.0%				昆虫の体のつくりを理解しているか。
14			1	小4	○			○			○	76.8%		1.0%	75.8%		1.1%				乾電池の並列つなぎを理解しているか。
15	6		2	小4	○			○			○	41.5%		0.3%	43.5%		0.3%				並列つなぎのつなぎ方を理解しているか。
16			3	小4		思・表1		○			○		43.1%	0.6%		43.3%	0.3%				検流計で調べた実験結果の比較から、電流の向きや大きさの変化に着目して乾電池のつなぎ方を考察できるか。
17			1	小5		思・表1		○			○		45.2%	1.6%		46.1%	1.4%				実験結果から言える発芽に必要な条件とその理由を見いだすことができるか。
18			2	小5		思・表1		○			○		53.4%	3.1%		55.3%	2.7%				植物の成長条件として日光の必要性を調べる際に、条件を制御した実験計画を立てることができるか。
19	7		3	小5	○			○			○	46.7%		0.7%	49.5%		0.8%				ヘチマのおしべとめしべを理解しているか。
20			4	小5		思・表1		○			○		45.6%	4.3%		47.4%	4.0%				結実に関する実験結果を基に、検証方法の問題点であるつぼみのときからふくろをかぶせて実験を行う必要性を見いだすことができるか。
21			5	小5		思・表1		○			○		34.6%	1.0%		35.7%	1.1%				ヘチマの発芽、成長、結実に関する実験結果から、言えることと言えないことを見いだすことができるか。
計				問題数	12	9	10	11	9	3	9										
				出題割合	57.1%	42.9%	47.6%	52.4%	42.9%	14.3%	42.9%										
				通過率							59.7%	47.8%	1.1%	59.6%	49.0%	1.1%					
										54.6%			55.0%								

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問4 第5学年「物の溶け方」

4 太郎さんと正子さんは、50mLの水にとけるミョウバンの量が水の温度によってどのように変わるか、調べました。次の各問いに答えましょう。

- (1) 太郎さんは、60℃の水にとけるミョウバンの量を調べていた途中、何はい入れたかわずれてしまいました。2人の会話を読んで、考えられるミョウバンの量を次のア～エから1つ選び、□に書きましょう。



太郎さん： たしか60℃では全部とけたよ。しかし、しばらくすると、温度が下がって、とけ残りが出てきたよ。そのときの温度は40℃だったよ。

正子さん： それなら、結果のグラフからだいたい予想がつくわ。きっと () ぐらいなんじゃないかしら。

ア 3はい イ 5はい ウ 7はい エ 13はい

【思考・表現1】

平均通過率		
市	県	差
49.7%	48.6%	1.1

指導のポイント

グラフから必要な情報を取り出し、思考する問題は、例年課題である。

用意されたグラフを読み取らせる指導だけでなく、実験で得たデータをグラフ化する活動を積極的に取り入れたい。その際、縦軸・横軸や一目盛りの設定を考えさせることで、グラフを読み取る力を育成することが必要である。

(イ) 大問5 第3学年「昆虫の体のつくり」

5 ある日、太郎さんは、校庭の木の葉に幼虫がいるのを見つけた。そこで、幼虫と食べていた木の葉を持ち帰って観察をすることにしました。10日後、幼虫はさなぎになり、さらに12日後に、アゲハの成虫がでてきました。次の各問いに答えましょう。

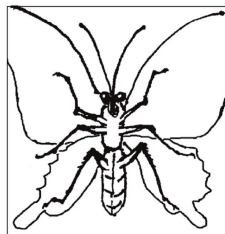
- (1) 太郎さんがつかまえた幼虫のように、さなぎになるこん虫を次のア～エからすべて選び、その記号を□に書きましょう。

ア モンシロチョウ イ オオカマキリ ウ シオカラトンボ エ カブトムシ

- (2) 太郎さんは、成虫になったアゲハをスケッチして正子さんに説明しようとしてしました。

太郎さん： ぼくの幼虫がやっと成虫になったよ。飼育ケースのかべに止まったところをかいてみたんだよ。

正子さん： 太郎さん。アゲハとスケッチをよくくらべてみて。太郎さんのスケッチでは、アゲハはこん虫のなかまではなくなっているよ。しっかりと観察してスケッチすることが大事なんだよ。



どうして、正子さんは太郎さんのスケッチを「こん虫のなかまではなくなっている」と言ったのでしょうか。その理由を□に書きましょう。

(1) 【基礎・基本】

平均通過率		
市	県	差
39.6%	41.0%	-1.4

(2) 【基礎・基本】

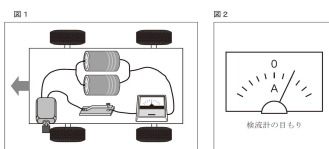
平均通過率		
市	県	差
57.1%	58.7%	-1.6

指導のポイント

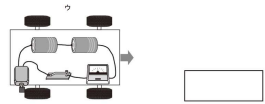
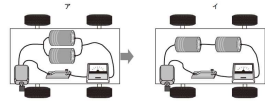
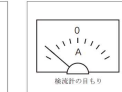
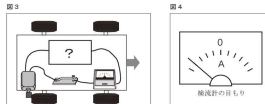
3年生の学習内容に課題が見られるため、かごしま学力向上支援Webシステムの評価問題や過去の調査問題を活用し、定着度を確認する必要がある。授業では、設問中の図を提示して間違いについて話し合い、視点を明確にさせた上で昆虫を観察させるなどの活用の仕方も考えられる。

(ウ) 大問6 第4学年「電流の働き」

6 正子さんは、図1のように、かん電池、モーター、導線、スイッチ、検流計をつないで、電気自動車を作りました。スイッチを入れたところ、矢印の方向に電気自動車が動きだし、図2のように検流計の針がふれました。次の各問いに答えましょう。



- (3) 次の日、正子さんは、図3のようにかん電池のつなぎ方だけを変えて、電流を流すと、電気自動車は前ではなく、後ろ向きに走り始めました。そして、検流計の目もりは図4のようになりました。このとき、図3の□の部分のかん電池のつなぎ方はどのようになっていたと考えられますか。最も適切なものを、次のア～ウから1つ選んで□に書きましょう。



【思考・表現1】

平均通過率		
市	県	差
43.3%	43.1%	0.2

指導のポイント

平成23、27、29年度の追跡調査問題だが、引き続き課題である。児童の関心が直列つなぎに向きがちであること、図と実際の配線が一致しにくいことなどを踏まえ、並列つなぎについて繰り返し指導する必要がある。その際、検流計や電子オルゴール等も用いて電流の向きと大きさを意識させる必要がある。

(5) 中学校第1学年

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に着色している。

設問	大問	中問	小問	出題学年	問題内容別		内容領域別					観点別			県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図
					基礎・基本	思考・表現	エネルギー	粒子	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率		
1			1	中1	○								○	60.0%		0.1%	65.1%		0.0%				花の基本的なつくりを理解しているか。	
2	1		2	中1	○								○	38.2%		0.2%	40.1%		0.2%				裸子植物であるマツの花の基本的なつくりを理解しているか。	
3			3	中1	○								○	75.3%		0.5%	76.8%		0.4%				被子植物の花のつくりを理解しているか。	
4			1	中1	○								○	70.7%		1.6%	72.6%		1.4%				メスシリンダーの値を読み取り、物質の体積を求めることができるか。	
5	2		2	中1		思・表1							○		60.8%	3.0%		64.2%	2.4%				物質の種類によって密度は決まっていることを理解しているか。	
6			3	中1	○								○	44.4%		0.4%	48.2%		0.4%				金属に共通する性質を理解しているか。	
7			1	中1	○								○	57.8%		0.5%	59.3%		0.4%				物質を水に溶かしたときに質量が保存されることを理解しているか。	
8	3		2	中1		思・表1							○		38.7%	4.7%		41.3%	4.2%				溶解度曲線をもとに、析出してくる結晶の量を求めることができるか。	
9			3	中1		思・表3							○		53.0%	1.0%		52.2%	1.0%				物質が水に溶けた後、水溶液の様子をモデルで表現できるか。	
10			1	中1	○								○	57.1%		5.3%	60.9%		4.6%				水上置換法で集めることのできる気体の性質について理解しているか。	
11	4		2	中1	○								○	45.5%		1.2%	48.6%		1.0%				二酸化炭素を発生させる方法について理解しているか。	
12			3	中1		思・表2							○		69.5%	5.6%		70.4%	4.7%				シャボン玉が落下する理由について、空気との密度の関係を示して考察できるか。	
13			1	小6	○								○	77.1%		5.3%	79.5%		4.8%				化石について理解しているか。	
14	5		2	小6	○								○	67.0%		1.3%	66.1%		1.2%				地層の成り立ちについて理解しているか。	
15			3	小5		思・表2							○		69.6%	4.3%		67.6%	3.9%				流水の働きについて考察できるか。	
16			1	中1	○								○	56.8%		2.8%	57.9%		2.8%				音を出している物体は振動していることと、大気中で音を伝えている物質は空気であることを理解しているか。	
17	6		2	中1	○								○	60.7%		0.8%	63.4%		0.8%				振幅が大きくなる理由とその条件を考えることができるか。	
18			3	中1		思・表1							○		52.2%	1.4%		55.2%	1.1%				音の高さについて、条件を制御して、実験方法を考えることができるか。	
19			1	中1	○								○	60.2%		0.6%	63.9%		0.5%				凸レンズを通過した光によってスクリーンにできる像が、上下左右逆向きの像になることを理解しているか。	
20	7		2	中1	○								○	77.4%		2.8%	78.8%		2.6%				実像の作図の方法について理解しているか。	
21			3	中1		思・表2							○		52.0%	10.2%		51.8%	9.6%				レンズを半分かくすと像の明るさが暗くなる理由を説明できるか。	
22			1	中1	○								○	73.0%		1.8%	75.6%		1.5%				蒸散が行われている気孔の場所を理解しているか。	
23	8		2	中1	○								○	74.5%		3.9%	77.9%		3.4%				実験の条件と照らし合わせて、蒸散が行われる場所を考察することができるか。	
24			3	中1		思・表1							○		46.7%	1.4%		50.5%	1.2%				実験結果から、葉の裏側からの蒸散量の計算式を考察することができるか。	
25			4	中1		思・表1							○		42.1%	1.7%		46.5%	1.5%				アジサイとイネの実験結果を比較し、蒸散量、気孔の数を考察できるか。	

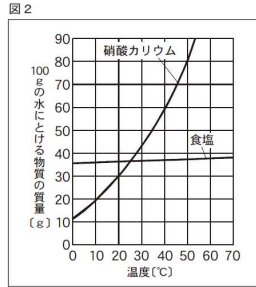
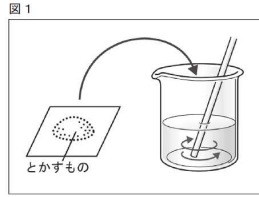
計	問題数	16	9	6	9	7	3	9	2	14
	出題割合	64.0%	36.0%	24.0%	36.0%	28.0%	12.0%	36.0%	8.0%	56.0%

通過率	62.2%	53.9%	2.5%	64.7%	55.5%	2.2%
	59.2%		61.4%			

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問3 第1学年「物質の溶解」

3 図1のようにして、硝酸カリウムと食塩を100gの水にとかず実験を行いました。図2は、硝酸カリウムと食塩の溶解度を表すグラフです。次の各問いに答えなさい。

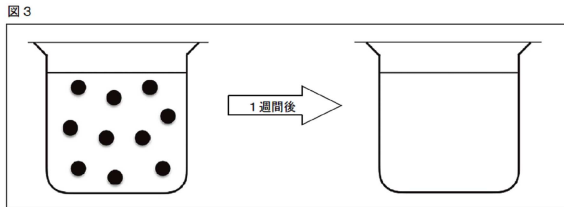


(1) 50°Cの水100gに食塩50gを入れ、図1のようによくかき混ぜたところ、一部がとけずに残った。ビーカーの質量を除いたとき、全体の質量はどうか。最も適切なものを次のア～ウから1つ選んで記号で答えよ。

- ア 150gより小さくなる。 イ 150gになる。 ウ 150gより大きくなる。

(2) 40°Cの水100gに硝酸カリウム50gを入れ、図1のようによくかき混ぜたところ、全部とけた。この水溶液を20°Cまで冷やすと、硝酸カリウムの結晶は何g出てくるか。

(3) (2)の下線部の水溶液の様子をモデルで表すと図3のようになる。下線部の水溶液を40°Cで保温し、ふたをして密閉した状態で一週間置いた。そのときの様子をモデルで表すとどのようになるか。解答用紙の図中に●で示せ。ただし、●は硝酸カリウムの粒子を表すものとする。



【基礎・基本】

(1) 平均通過率

市	県	差
59.3%	57.8%	1.5

【思考・表現1】

(2) 平均通過率

市	県	差
41.3%	38.7%	2.6

【思考・表現3】

(3) 平均通過率

市	県	差
52.2%	53.0%	-0.8

指導のポイント

(1)は、物が溶けたときの質量保存について課題が見られる。(2)、(3)は、平成29年度とほぼ同一問題であるが、グラフから必要な情報を取り出すことや水溶液の様子をモデルで表現することに引き続き課題が見られる。

授業では、グラフを読み取り、実験で確かめる活動や観察・実験の結果を基にモデルで表現させ、妥当性を話し合う活動等を設定し、理解を深める必要がある。

(イ) 大問5 小6「土地のつくり」、小5「流水の働き」

5 図1は、近所のがけを観察し、そのようすを模式的に表したものです。次の各問いに答えなさい。

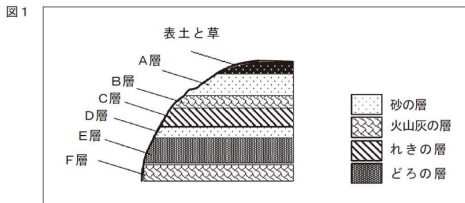


写真1



(2) A層～F層ができた期間に火山活動があったことがわかる。この期間に火山活動は何回あったと考えられるか。

(3) C層を観察すると、写真1のように、地層の中のれきは、角がとれてまるみを帯びていた。その理由を簡潔に書け。

【基礎・基本】

(2) 平均通過率

市	県	差
66.1%	67.0%	-0.9

【思考・表現2】

(3) 平均通過率

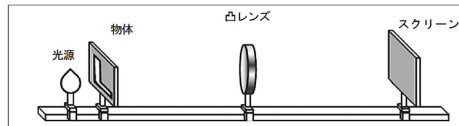
市	県	差
67.6%	69.6%	-2.0

指導のポイント

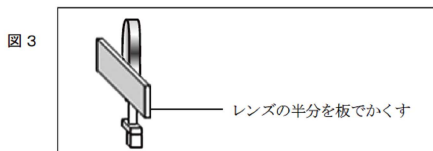
小学校の学習内容であり、(2)は平成26年度の類似問題である。過去の調査問題等を活用し、定着度を確認する必要がある。

(イ) 大問7 第1学年「光の屈折」

7 図1のような装置で、スクリーンを動かして像がうつるように調整しました。これについて、次の各問いに答えなさい。



(3) 図3のように、レンズの半分を板でかくし、同じように実験を行うと、像の大きさはそのまま像の明るさは暗くなった。その理由を簡潔に説明せよ。



【思考・表現2】

(3) 平均通過率

市	県	差
51.8%	52.0%	-0.2

指導のポイント

平成29年度とほぼ同一問題である。光は光源から無数に発せられ、(3)の場合はレンズに入る量が減少することを図示して説明し合うなどし、理解を図る必要がある。

(6) 中学校第2学年

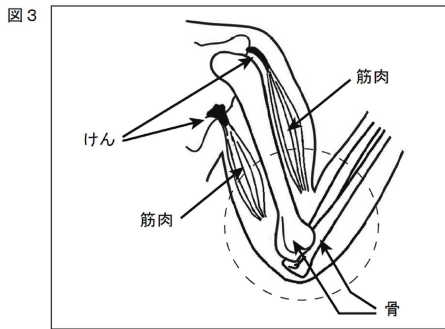
ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に着色している。

設問	出題学年			問題内容別		内容領域別				観点別			県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図	
	大問	中間	小問	基礎・基本	思考・表現	エネルギー	粒子	生命	地球	科学的な思考・表現	観察、実験の技能	知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率		
1			1	中2	○			○				○	96.8%		0.8%	97.7%		0.5%				セキツイ動物の特徴を理解しているか。	
2	1		2	中2	○			○				○	51.6%		0.6%	56.7%		0.5%				セキツイ動物を、出現した年代や特徴から分類することができるか。	
3			3	中2	○			○				○	77.6%		7.9%	79.1%		7.2%				進化の証拠である相同器官について理解しているか。	
4			1	中1	○			○				○	38.0%		16.6%	41.0%		15.4%				目のつくりを、凸レンズによる像と関連付けて理解しているか。	
5	2		2	中2	○			○				○	48.9%		2.7%	52.2%		2.4%				刺激の信号が伝わる経路を理解しているか。	
6			3	中2	思・表2			○				○	30.6%	5.3%		29.0%	5.1%					ひじの関節のつくりを、うでの骨と筋肉の働きを考えながら理解しているか。	
7			1	中1	○		○					○	82.5%		0.7%	84.4%		0.6%				同じ大きさの力が働いても、接する面積によって圧力は変わることを理解しているか。	
8	3		2	中1	○		○					○	20.8%		9.9%	24.0%		9.0%				圧力の求め方を理解しているか。	
9			3	中1	○		○					○	25.0%		19.3%	27.7%		17.0%				実験の結果をグラフに表す「グラフのかき方」を理解しているか。	
10			4	中1	思・表1		○					○	20.8%	15.6%		24.6%	14.3%					ばねに働く力と、ばねののびの関係を理解しているか。	
11			1	中2	○		○					○	59.1%		6.3%	59.2%		5.3%				安全に実験を行う方法を理解しているか。	
12	4		2	中2	○		○					○	19.4%		12.5%	23.5%		10.7%				酸化銅から酸素を取り除く化学変化を、物質ごとに理解しているか。	
13			3	中2	○		○					○	63.9%		2.3%	66.5%		2.3%				酸化銅の還元化学反応式を理解しているか。	
14			4	中2	思・表3		○					○	23.6%	8.4%		26.8%	7.8%					酸化銅の還元を理解し、その反応をモデルで表すことができるか。	
15			1	中1	○			○				○	74.4%		10.4%	76.4%		8.9%				凝灰岩のでき方を理解し、地層から当時の様子を推測できるか。	
16	5		2	中1	○			○				○	30.0%		1.4%	32.7%		0.8%				示準化石と地層の堆積した地質年代を理解しているか。	
17			3	中1	思・表1			○	○			○	31.2%	8.0%		34.9%	7.2%					周辺の地層のつながりから、地層の傾きについて考え、調査場所の地層の様子を推測できるか。	
18			1	中2	○			○				○	90.6%		3.4%	90.6%		3.2%				熱帯低気圧のうち、最大風速が17m/s以上のものが台風であることを理解しているか。	
19	6		2	中2	思・表1			○	○			○	82.6%	0.9%		83.2%	0.6%					台風は太平洋高気圧のへりを沿うように移動することを基に、衛星写真を並べ替えることができるか。	
20			3	中2	○			○				○	67.8%		6.2%	71.0%		5.7%				乾湿計の示度を基に、湿度表を使って湿度を求めることができるか。	
21			1	中2	○		○					○	48.3%		3.4%	52.1%		3.0%				鉄は単体で分子ではなく、たくさんの鉄原子が集まって物質を構成していることを理解しているか。	
22	7		2	中2	思・表1		○					○	66.4%	1.8%		69.6%	1.4%					2つのグラフを比較することにより、食塩水と化学カイロの発熱との関係を考察できるか。	
23			3	中2	思・表1		○					○	35.1%	18.3%		39.9%	16.5%					化学カイロにおける食塩水の役割を考察することができるか。	
24			4	中2	思・表1		○					○	22.2%	19.7%		22.2%	17.5%					化学カイロの発熱について、食塩水の条件を考える新たな疑問をもつことができるか。	
計				問題数	16	8	4	8	6	6	8	3											
				出題割合	66.7%	33.3%	16.7%	33.3%	25.0%	25.0%	33.3%	12.5%	54.2%										
				通過率							55.9%	39.0%	7.6%	58.4%	41.3%	6.8%							
											50.3%			52.7%									

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問2 第2学年「関節のつくり」

(3) 正子さんはボールをキャッチするときうでを曲げた。図3はうでを曲げたときの筋肉と骨の模式図である。筋肉の両端と骨はけんでつながっているが、図3の()で囲まれた部分にはけんがかかれていない。()で囲まれた部分の筋肉と骨は、けんでどのようにつながっているか。解答用紙の図に、けんをかいて示せ。



【思考・表現2】

平均通過率		
市	県	差
29.0%	30.6%	-1.6

指導のポイント

授業では、関節のつくりを筋肉の働きと関係付けて捉えさせるために、一人一人にモデルを操作させた上で仕組みを図示して説明させるなどの活動を設定する必要がある。

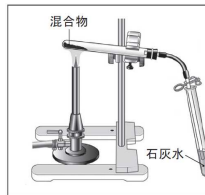
(イ) 大問4 第2学年「酸化還元反応」

4 太郎さんは、授業で学習したことを確かめるために、酸化物から酸素を取り除く実験1、2をそれぞれ1～3の手順で行いました。次の各問いに答えなさい。

【実験1】

- 酸化銅と炭素の混合物を、図1のように加熱した。
- 試験管内に残った物質を取り出し、金属製の葉さじでこすると金属光沢が生じた。
- 発生した気体を石灰水に通すと、石灰水が白くにごった。

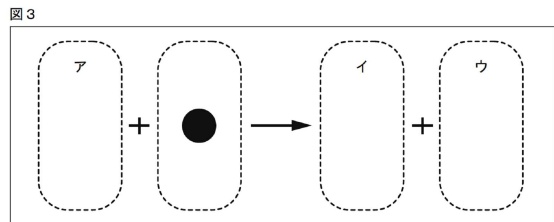
【図1】



(3) 実験1で起こった化学変化を化学反応式で表すとどうなるか。次のア～エから最も適切なものを1つ選び、記号で答えよ。

- ア $CuO + C \rightarrow Cu + CO_2$
- イ $CuO_2 + C \rightarrow Cu + CO_2$
- ウ $2CuO + C \rightarrow 2Cu + CO_2$
- エ $2CuO + C \rightarrow Cu_2 + CO_2$

(4) 実験1で起こった



化学変化をモデルで表すと、どのようになるか。図3のア、イ、ウにあてはまるモデルを解答用紙に書け。

ただし、●は炭素原子を表しており、銅原子を○、酸素原子を◎で表すものとする。

【基礎・基本】

(3) 平均通過率		
市	県	差
66.5%	63.9%	2.6

【思考・表現3】

(4) 平均通過率		
市	県	差
26.8%	23.6%	3.2

指導のポイント

平成29年度調査の追跡調査問題であり、(3)は改善が見られるが、(4)の酸化銅の還元をモデルで表現することについては引き続き課題である。主な誤答例としては、酸化銅や二酸化炭素を表現する際に、それぞれの原子を表す記号同士が接していないことが挙げられる。授業では、記号同士が接している場合とそうでない場合の意味を考えさせながら、原子と分子や酸化と還元について理解を深めさせる必要がある。

(ウ) 大問7 第2学年「発熱反応」

7 太郎さんは、化学カイロについて興味をもち、科学的に探究してレポートにまとめました。次の各問いに答えなさい。

【レポート】 ※ 一部省略

○ 考察

結果のグラフから、一定時間での上昇温度がAはBより(①)ので、食塩水が化学カイロの発熱に関係しているといえる。

ある一定の温度まで上昇する時間が、AはBより(②)ので、食塩水は化学カイロの発熱に関係しているといえる。

AとBを比べると、食塩水は(③)する役割をしているといえる。

○ 新たな疑問

()

(3) 考察の③にあてはまる文章を「化学変化」という語句を使って書け。

(4) 太郎さんは、食塩水と化学カイロの発熱の関係について新たな疑問をもった。あなたなら食塩水について、どのような新たな疑問をもつか。考えられる疑問を1つ書け。

【思考・表現1】

(3) 平均通過率		
市	県	差
39.9%	35.1%	4.8

(4) 平均通過率		
市	県	差
22.2%	22.2%	0

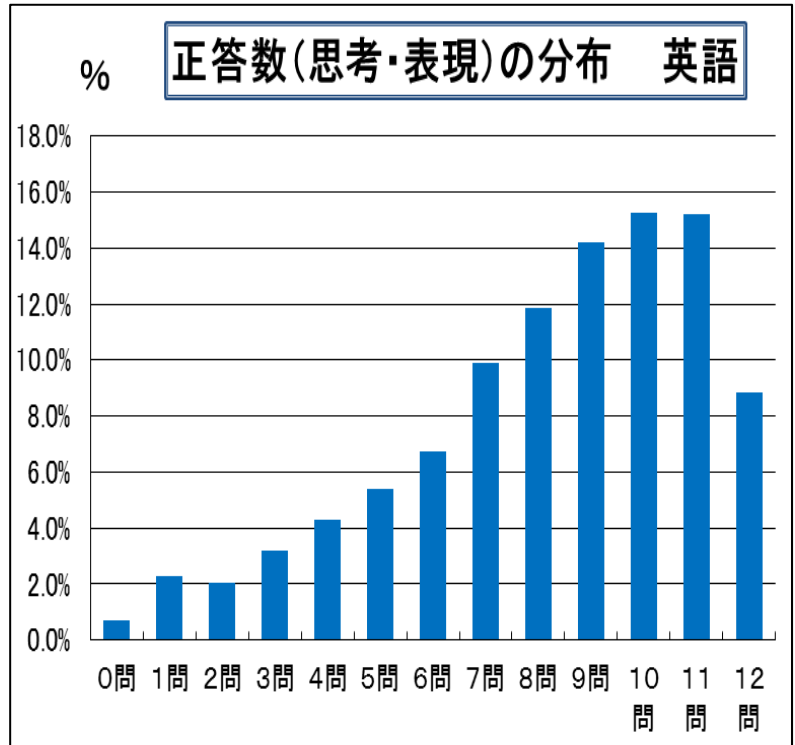
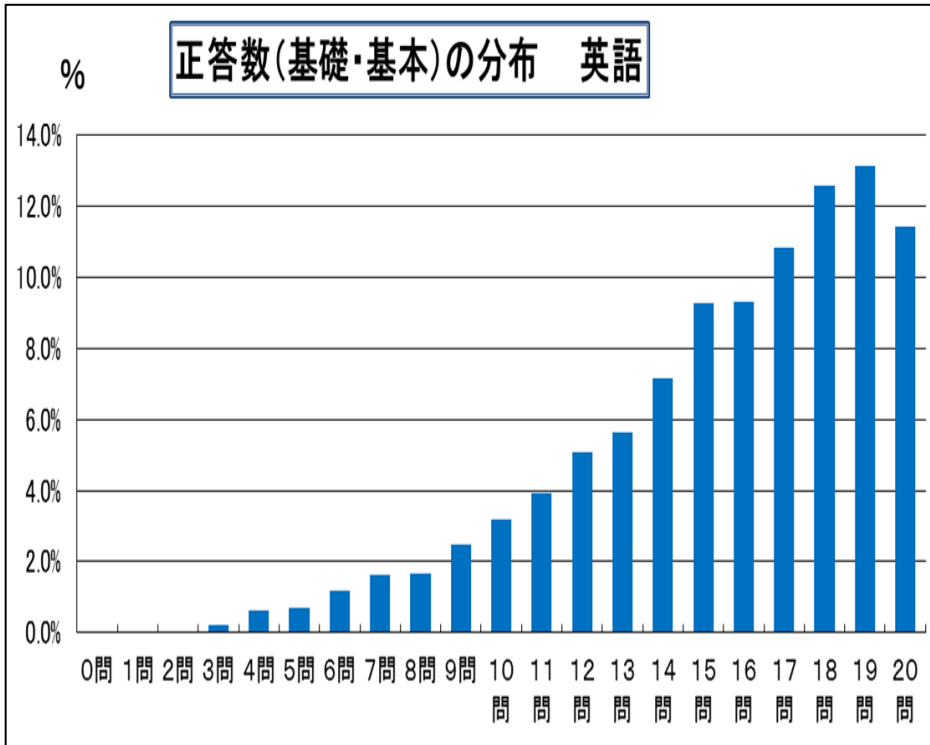
指導のポイント

市の無解答率が、(3)16.5%、(4)17.5%であり、高い。探究の過程をレポートにまとめ、考察や新たな疑問を自分なりに記述し、発表し合う活動を重視する必要がある。

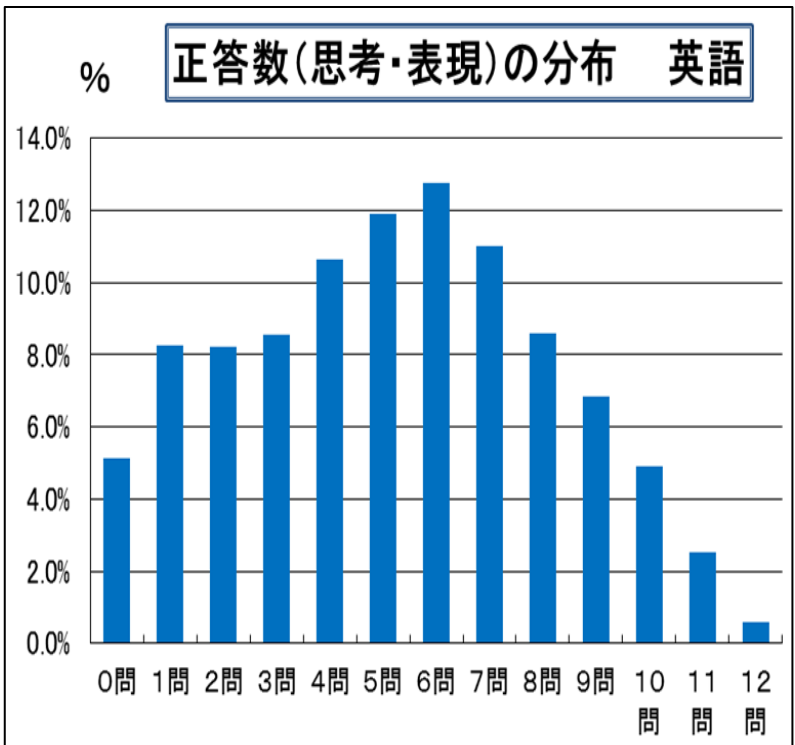
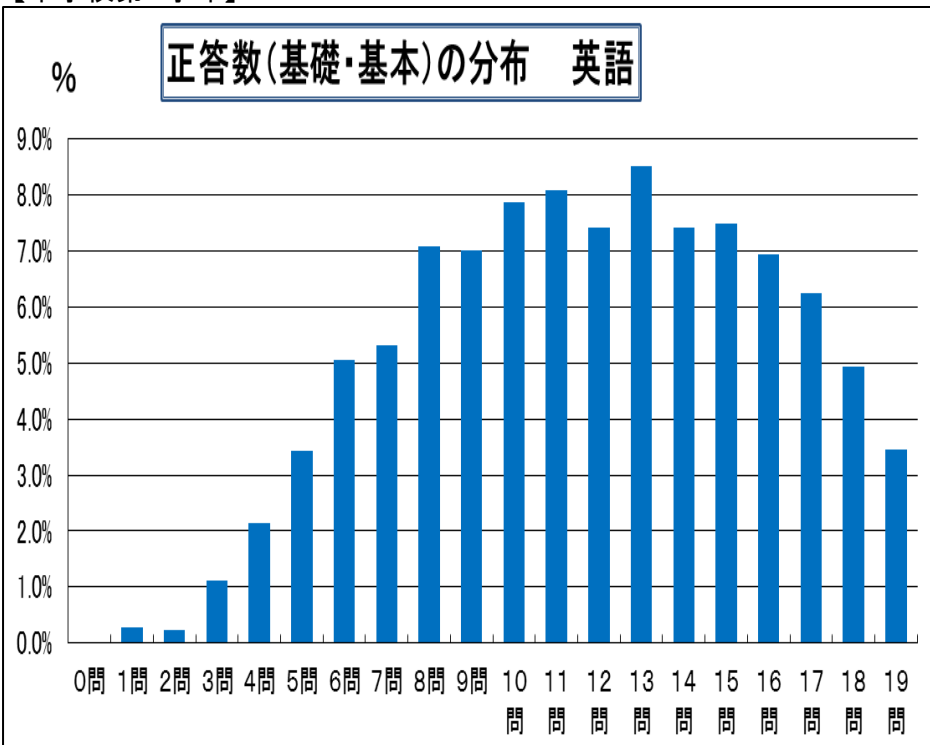
(1) 全体

学 年	基礎・基本			思考・表現			全 体		
	市	県	県との差	市	県	県との差	市	県	県との差
中1	77.3%	76.5%	0.8	68.2%	67.9%	0.3	73.9%	73.3%	0.6
中2	61.7%	58.3%	3.4	43.4%	41.4%	2.0	54.6%	51.7%	2.9

【中学校第1学年】



【中学校第2学年】

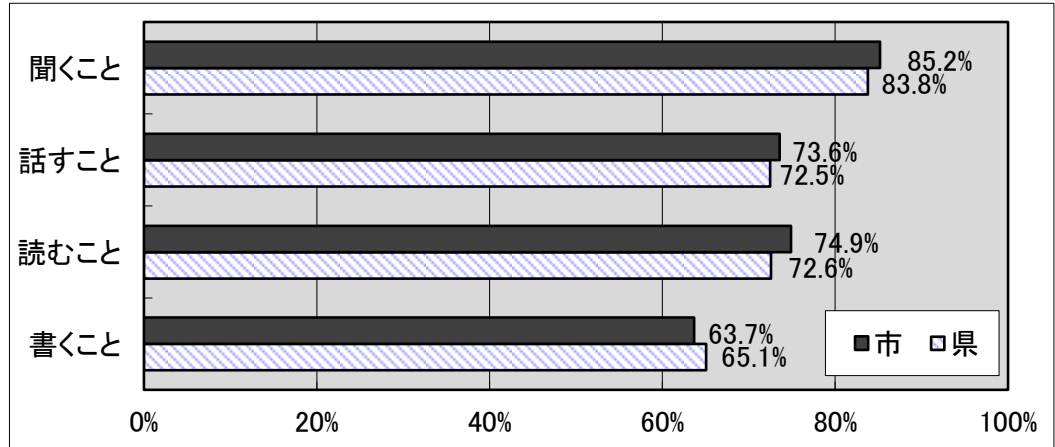


- 全体では、中1、中2とも、県を上回っている。
- 「基礎・基本」では、いずれの学年も県を上回っているが、中2は、正答数が半数未満の生徒が多く、課題が見られる。
- 「思考・表現」では、いずれの学年も県を上回っているが、中2は、平均正答率が5割に満たない状況であり、課題が見られる。
- ◆ 学習した語や表現を活用するために、実際のコミュニケーションの場面を想定した、話したり書いたりする活動を繰り返し取り入れ、英文の読解においては、読解の鍵となる問いを設定して内容理解を深め、読み取った内容を表現させるなどの活動を重視する。

(2) 内容・領域別平均通過率

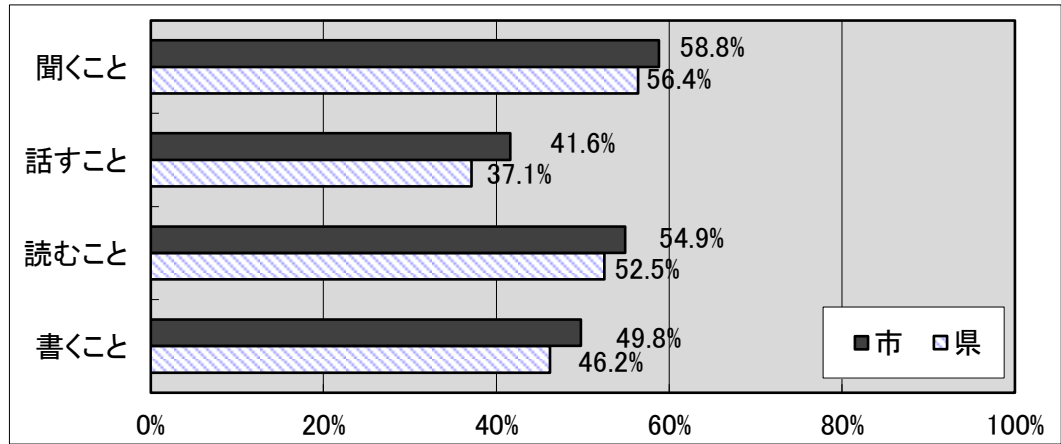
ア 中学校第1学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
聞くこと	85.2%	83.8%	1.4
話すこと	73.6%	72.5%	1.1
読むこと	74.9%	72.6%	2.3
書くこと	63.7%	65.1%	-1.4



イ 中学校第2学年

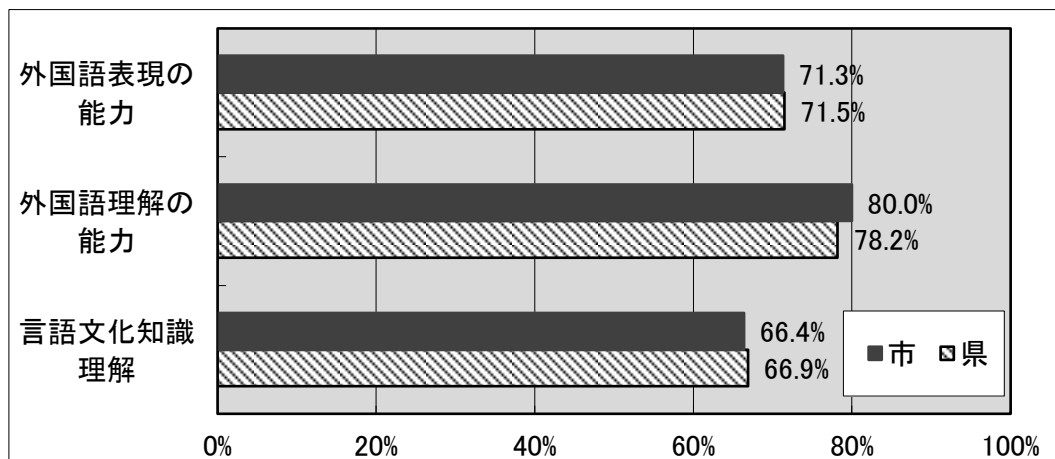
	平均通過率		県との差
	市	県	
聞くこと	58.8%	56.4%	2.4
話すこと	41.6%	37.1%	4.5
読むこと	54.9%	52.5%	2.4
書くこと	49.8%	46.2%	3.6



(3) 観点別平均通過率

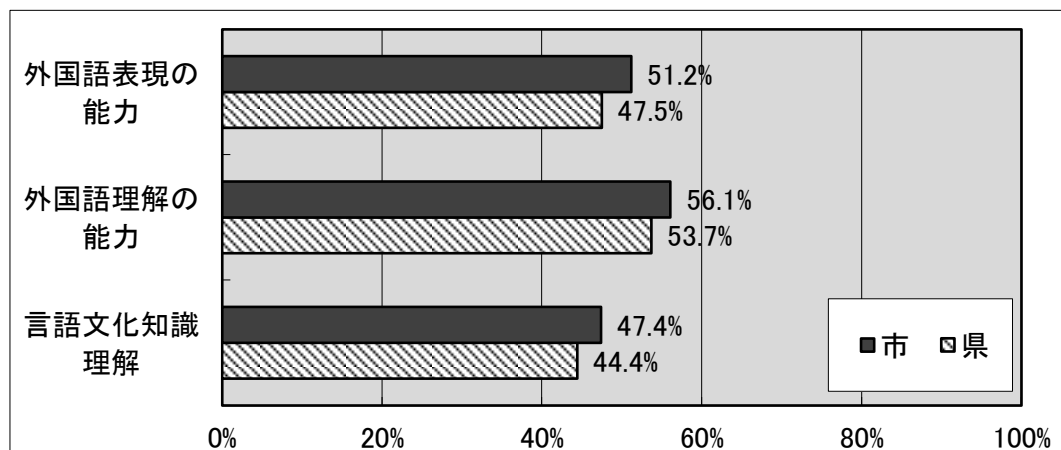
イ 中学校第1学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
外国語表現の能力	71.3%	71.5%	-0.2
外国語理解の能力	80.0%	78.2%	1.8
言語文化知識理解	66.4%	66.9%	-0.5



ウ 中学校第2学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
外国語表現の能力	51.2%	47.5%	3.7
外国語理解の能力	56.1%	53.7%	2.4
言語文化知識理解	47.4%	44.4%	3.0



- 内容・領域別平均通過率では、中1においては、「書くこと」において県を下回っている。また、中2においては、全ての内容・領域において県を上回っているが、特に、「話すこと」と「書くこと」が5割を下回っており、課題が見られる。
- 観点別平均通過率では、中1においては、「外国語表現の能力」及び「言語文化知識理解」が県を下回っている。また、中2においては、全ての観点において県を上回っているが、「言語文化知識理解」が5割を下回っており、課題が見られる。
- ◆ 他の生徒が発表した内容を書き起こす、読んだり聞いたりしたことに対する自分の意見や考えをまとめ、書き表したり伝え合ったりするなど、思考・判断をしながら表現する「話す」、「書く」言語活動を充実させるなど、5領域を統合した活動を取り入れる。

(4) 中学校第1学年

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に着色している。

設問	出題学年			問題内容別				内容領域別				観点別			県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図
	大問	中問	小問	基礎・基本	思考・表現	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	表現	理解	言語や文化についての知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率			
1		(1)	中1	○		○					○		93.5%		0.1%	93.9%		0.1%				英語を聞いて手を挙げる指示を聞き取ることができるか。		
2	1	(2)	中1	○		○					○		95.4%		0.1%	95.7%		0.0%				英語を聞いて箱の中身の説明を聞き取ることができるか。		
3		(3)	中1	○		○					○		71.9%		0.1%	71.3%		0.0%				英語を聞いて放課後の予定(すること・曜日)を聞き取ることができるか。		
4		(1)	中1	○		○	○				○	○	92.3%		0.1%	93.1%		0.0%				お祝いの言葉に対して適切に答えることができるか。		
5		(2)	中1	○		○	○				○	○	89.9%		0.1%	91.6%		0.1%				be動詞の疑問文に答えることができるか。		
6		(3)	中1	○		○	○				○	○	73.9%		0.1%	76.2%		0.0%				疑問詞whereを使った場所を問う質問に対して適切に答えることができるか。		
7		(4)	中1	○		○	○				○	○	89.2%		0.2%	91.8%		0.1%				相手の話から指示代名詞itの示すものを理解して質問に適切に答えることができるか。		
8	3		中1	○		○	○				○	○	81.1%		0.1%	80.7%		0.0%				コミュニケーション場面から考えられる質問を選択することができるか。		
9		(1)	中1		思・表1	○	○				○	○		87.2%	0.1%		88.8%	0.2%				対話文を聞き取り、質問に適切に答えることができるか。		
10		(2)	中1		思・表1	○	○				○	○		63.9%	0.1%		68.7%	0.1%				対話文を聞き取り、質問に適切に答えることができるか。		
11		(1)	中1	○				○				○	85.7%		0.1%	88.2%		0.0%				英文を読んで文脈を正確に理解し適切な語を選択することができるか。		
12	5	(2)	中1	○				○				○	92.1%		0.1%	93.3%		0.0%				短い説明文を読んで大切な部分を正確に読み取り適切な絵を選択することができるか。		
13		(3)	中1	○				○				○	85.6%		0.2%	87.9%		0.1%				対話文を読んで表を見ながら this day の表す内容を適切に答えることができるか。		
14		(1)	中1	○				○				○	62.7%		0.1%	65.8%		0.1%				英文の概要を把握して適切なタイトルを答えることができるか。		
15	6	(2)	中1	○				○				○	61.3%		0.3%	63.7%		0.2%				対話文から曜日と教科を関連させて正確な時間割表を答えることができるか。		
16		(3)	中1	○				○				○	49.9%		0.4%	51.7%		0.3%				英文を読んで副詞(there)の表す内容を適切に答えることができるか。		
17		(1)	中1	○				○				○	81.0%		0.2%	82.2%		0.2%				対話文を読んで代名詞(one)の表す内容を適切に答えることができるか。		
18	7	(2)	中1		思・表2			○				○		80.6%	0.2%		82.3%	0.2%				対話文の内容を正確に把握し、対話の流れに合う文を適切に補うことができるか。		
19		(1)	中1		思・表2			○				○		67.7%	0.4%		69.9%	0.4%				まとまりのある英文を読んで、その内容に対する英語の質問に適切に答えることができるか。		
20	8	(2)	中1		思・表2			○				○		59.8%	0.7%		63.7%	0.6%				まとまりのある英文を読んで、その内容に対する英語の質問に適切に答えることができるか。		
21		(1)	中1	○				○	○			○	89.6%		0.4%	88.5%		0.6%				be動詞の疑問文の正しい語順を答えることができるか。		
22		(2)	中1	○				○	○			○	51.3%		0.7%	44.8%		0.9%				SVCの英文の正しい語順を答えることができるか。		
23		(3)	中1	○				○	○			○	63.4%		0.5%	69.7%		0.6%				doesを使った疑問文の正しい語順を答えることができるか。		
24		(4)	中1	○				○	○			○	71.8%		0.6%	71.0%		0.7%				How many~?の疑問文の正しい語順を答えることができるか。		
25	10	(1)	中1	○			○	○	○			○	49.2%		5.9%	44.7%		5.0%				対話文の中で場面状況を理解し、適切な語を入れることができるか。		
26		(2)	中1		思・表3		○	○	○			○		25.0%	11.4%		27.0%	9.3%				対話中の空所に当てはまる応答を文脈から判断し、適切な英語を用いて表現できるか。		
27		①語彙	1点目 2点目		思・表3			○	○			○		91.4%	4.2%		90.9%	4.7%				【①語彙の観点】 語彙を文脈に合わせて適切に選ぶことができるか。また、使い方も正しく、十分に考えを伝えることができるか。 【②文法の観点】 多様な文のパターンを用いることができるか。また、使い方も正しく、効果的に考えを伝えることができるか。 【③構成の観点】 文と文とのつながりがよく、文章全体の流れが自然で一貫しており、考えを明確に伝えることができるか。		
28					思・表3			○	○			○		54.3%	4.2%		53.5%	4.7%						
29		②文法	1点目 2点目		思・表3			○	○			○		89.6%	4.2%		89.2%	4.7%						
30					思・表3			○	○			○		45.9%	4.2%		44.0%	4.7%						
31		③構成	1点目 2点目		思・表3			○	○			○		87.0%	4.2%		84.3%	4.7%						
32					思・表3			○	○			○		61.5%	4.2%		56.6%	4.7%						
計		問題数	20	12	10	9	10	12	19	20	16													
		出題割合	60.6%	36.4%	23.3%	20.9%	23.3%	27.8%	33.3%	35.1%	28.1%													
		通過率	76.5%			67.9%			1.5%			77.3%			68.2%			1.5%						
			73.3%									73.9%												

イ 特に課題のあった設問

(7) 大問10 第1学年「対話文の文脈に合う語の表現」 【基礎・基本】

10 次は、オーストラリアから鹿児島に来た ALT のトム (Tom) と中学生のアイリ (Airi) との対話です。(1)、(2) の各問いに答えなさい。単語のつづりや大文字、小文字の使い方等に注意して正しく書きなさい。

(1) 二人が家族について話しています。対話が成り立つように、() に適する語を1語書け。

Tom : Look, Airi. This is my family.

Airi : Oh, that's a nice picture. Who is this?

Tom : It's my sister, Becky. She is an English teacher, too.
She () in Okinawa now.

Airi : Oh, really?

(1) 平均通過率		
市	県	差
44.7%	49.2%	-4.5

指導のポイント

平均通過率が県を下回り、5割に届いていない。空欄の直前にある英文だけでなく、対話文全体の場面状況を把握し、適切な語を答えることが求められている。スモールトークやQ&A活動等において、実際のコミュニケーションの場面に即した言語活動を展開し、既習の内容を繰り返し活用する機会を設定することが必要である。

(4) 大問11 第1学年「自己紹介文の作成」 【思考・表現3】

11 英語の授業で、新しいALTの先生にビデオメッセージを作ることになりました。自分のことを知ってもらうために「自己紹介メモ」の項目にしたがって、ビデオの中で話す英文を書きなさい。なお、次の指示にしたがうこと。

- 英語は8語以上で書く。ただし、英文は2文以上になってもかまわない。
- ピリオドやコンマなどの符号、大文字や小文字の使い方に注意する。
- 数字を英語で書く必要はない。
- 同じ内容の英文をくり返さない。
- 「自己紹介メモ」の項目の内容を全て入れること。

※ 短縮形 (I'm や don't など) は1語と数え、符号 (、や?) は語数に含めない。

(例) No. I'm not. 【3語】

自己紹介メモ

- ・ 自分の名前
- ・ 自分の好きなもの
- ・ 好きなものの簡単な説明か好きな理由

(1) 文法にて1点獲得した平均通過率

市	県	差
44.0%	45.9%	-1.9

指導のポイント

「自己紹介メモ」に沿って書かれた英文において、考えをほぼ伝えることができているが、文法上の誤りなどが見られるため、減点をされている状況が見られる。授業の内容に即してまとまった量の英文で自分自身について書き表す機会を増やし、ALTを活用して添削をするなど指導の工夫を行うことが求められる。

(5) 中学校第2学年

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に着色している。

設問	大問	中問	小問	出題学年	問題内容別		内容領域別				観点別		県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図						
					基礎・基本	思考・表現	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	表現	理解	言語や文化についての知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現		無解答率					
1		(1)		中1	○		○					○		98.7%		0.1%	99.0%		0.0%				クラスルームイングリッシュを理解し、必要な情報を聞き取ることができるか。					
2		(2)		中2	○		○					○		65.9%		0.1%	64.0%		0.0%				日本語で事前に与えられている状況とイラスト及び放送される対話から、情報を適切に聞き取ることができるか。					
3				中2	○		○					○		44.7%		0.3%	48.3%		0.1%				まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解しているか。					
4		(1)		中1	○		○	○				○	○	62.5%		0.3%	66.2%		0.0%				依頼に対して適切に答えることができるか。					
5		(2)		中1	○		○	○				○	○	48.6%		0.5%	53.6%		0.2%				疑問詞whereを用いた質問に適切に答えることができるか。					
6				中2		思・表1	○	○				○	○		17.7%	35.3%		21.9%	31.0%				聞いて把握した内容について、自分の考えを書いて伝えることができるか。					
7		①	(1)	中1	○				○			○		91.3%		0.2%	92.8%		0.1%				簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正しく読み取ることができるか。					
8		②	(1)	中2	○				○			○		67.7%		0.3%	67.3%		0.2%				簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正しく読み取ることができるか。					
9		①	(2)	中2	○				○			○		41.0%		0.5%	42.7%		0.3%				文と文の関連に注意して、依頼を求めた文を選択することができるか。					
10		②	(2)	中2	○				○			○		65.7%		0.4%	72.3%		0.2%				文と文の関連に注意して、疑問詞howを用いた質問の文を選択することができるか。					
11		①	(1)	中2	○				○			○		50.4%		0.7%	54.8%		0.5%				比較的長い文を読んで、その内容に関する英語の質問に英語で答えることができるか。					
12		②	(1)	中2	○				○			○		73.8%		0.6%	78.3%		0.4%				比較的長い文を読んで、その内容に関する英語の質問に英語で答えることができるか。					
13			(2)	中2	○				○			○		49.6%		0.7%	52.4%		0.5%				日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるか。					
14			(2)	中2	○				○			○		60.2%		0.8%	63.1%		0.6%									
15				中2		思・表2			○			○			55.5%	1.0%		57.9%	0.7%				まとまりのある文章を読んで、説明の大切な部分を理解しているか。					
16		(1)		中1・2		思・表2			○			○	○		41.0%	1.6%		41.9%	1.0%				文脈に沿って空欄に正しい英文を選択することができるか。					
17		(2)		中2		思・表2			○			○	○		4.4%	29.2%		3.9%	26.0%				前後の文から登場人物の気持ちを読み取り、下線部の理由を日本語で説明することができるか。					
18		(3)		中2		思・表2			○			○	○		33.8%	2.0%		33.8%	1.5%				空欄の前後関係から正しい動詞を選択することができるか。					
19		(4)		中2		思・表2			○			○	○		48.6%	3.0%		52.4%	2.5%				読み取った英文の内容について、他の表現で言い換えたときに正しいものを選択できるか。					
20		(1)		中1	○				○	○		○		60.0%		1.1%	65.4%		0.9%				禁止の命令文の英文の正しい語順を答えることができるか。					
21		(2)		中1	○				○	○		○		49.7%		0.8%	49.4%		0.5%				What+名詞を用いた疑問文の正しい語順を答えることができるか。					
22		(3)		中2	○				○	○		○		65.7%		0.9%	74.3%		0.6%				2つの目的語をとる動詞の用法を理解し、正しい語順に並べかえることができるか。					
23		(4)		中2	○				○	○		○		55.9%		1.0%	61.4%		0.8%				不定詞の副詞的用法を理解し、正しい語順に並べかえることができるか。					
24		(1)		中1・2	○			○	○	○		○		32.8%		16.9%	40.6%		13.5%				対話中の空所に当てはまる応答を文脈から判断し、適切な英語を用いて表現できるか。					
25		(2)		中1・2	○			○	○	○		○		23.6%		28.2%	25.5%		26.3%									
26		①語彙	1点目	中1・2		思・表3			○	○		○			72.8%	14.0%		76.3%	12.5%				【①語彙の観点】 語彙を文脈に合わせて適切に選ぶことができているか。また、使い方も正しく、十分に考えを伝えることができているか。 【②文法の観点】 多様な文のパターンを用いることができているか。また、使い方も正しく、効果的に考えを伝えることができているか。 【③構成の観点】 文と文のつながりがよく、文章全体の流れが自然で一貫しており、考えを明確に伝えることができているか。					
27		②文法	2点目	中1・2		思・表3			○	○		○			28.6%	14.0%		29.9%	12.4%									
28		③構成	1点目	中1・2		思・表3			○	○		○			67.6%	14.0%		71.9%	12.5%									
29		④その他	2点目	中1・2		思・表3			○	○		○			22.0%	14.0%		21.8%	12.5%									
30		⑤その他	1点目	中1・2		思・表3			○	○		○			66.6%	14.0%		69.8%	12.6%									
31		⑥その他	2点目	中1・2		思・表3			○	○		○			37.8%	14.0%		39.5%	12.6%									
計				問題数	19	12	6	5	13	13	15	19	16															
				出題割合	52.8%	33.3%	13.0%	10.9%	28.3%	28.3%	24.6%	31.1%	26.2%															
				通過率							58.3%			41.4%			6.8%			61.7%			43.4%			5.9%		
														51.7%									54.6%					

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問4 第2学年「聞き取った英文に沿った内容の英作文」

【思考・表現1】

4 英語の授業中にALTの先生からある提案があり、用紙が配られました。先生の話聞いて、あなたの考えを1文以上の英語で簡潔に書きなさい。解答時間は1分です。

ALT : My sister is a junior high school student in Canada. During her vacation, she will come to Japan and visit our school. What do you want to do with her?

(1) 平均通過率			(2) 無解答率		
市	県	差	市	県	差
21.9%	17.7%	4.2	31.0%	35.3%	-4.3

指導のポイント

県・市ともに平均通過率が低く、無解答率がかなり高い。ALTが話す内容を聞き取り、限られた時間で自らの考えを表現することが求められている。

授業の最初に取り入れる small talk を充実させ、自分の考えを伝える練習を積み重ねることが大切であるとともに、授業でのALTとのチーム・ティーチングを充実させ、様々な学習活動を通してALTと生徒とがやりとりを行う機会を設けることが必要である。

また、発表などの内容を聞き取って書き起こす、自らの考えを書き表すなどの、まとまった量を「書く」活動を通して、思考力・表現力を高める取組が必要となる。

(イ) 大問8 第2学年「内容理解」

【思考・表現2】

8 次の英文を読み、あとの(1)～(4)の各問いに答えなさい。

(2) 下線部②の理由を35字程度の日本語で説明せよ。

※ 英文 一部省略

That night, Keiko's family was talking with her brother, Masaki. Masaki is 4 years old and he goes to nursery school*. He loves his mother very much. She works at another nursery school. His mother said to Masaki, "I'm sorry, but I can't go to your sports day next Sunday. I have my school's sports day. Do your best* on your sports day." His father said, "Keiko and I will go to your sports day." After he listened to his mother and father, ② Masaki started to cry*.

Keiko thought, "Masaki is sad because our mother can't go to see his sports day." Then Masaki said, "Go to Mom's sports day, please!" "Why?", Keiko asked. "Mom will be sad if you don't go to her sports day," he said.

指導のポイント

平均通過率が県より低く、無解答率がかなり高い。下線の直前を抜き出して訳すのではなく、次の段落からMasakiの心情を読み取り、解答する設問となっている。

授業での内容理解において、本文を訳すだけでなく、段落ごとの概要や登場人物の心情を捉えさせる発問の工夫が求められる。

(1) 平均通過率			(2) 無解答率		
市	県	差	市	県	差
3.9%	4.4%	-0.5	26.0%	29.2%	-3.2

IV 児童生徒質問紙調査の結果

※ 平成29年度と平成30年度の結果が比較できる設問のみ、それぞれの結果を示している。

1 家で、学校の宿題をしていますか。(H30：家では、自分で学習(宿題や自分で計画した学習)していますか。)

	小5			中1			中2		
	鹿児島市		県	鹿児島市		県	鹿児島市		県
	H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
① している。	52.6%	84.9%	84.0%	45.7%	76.6%	78.6%	45.0%	70.9%	73.9%
② どちらかといえばしている。	31.9%	10.0%	10.9%	32.2%	16.0%	14.5%	31.0%	17.5%	16.1%
③ あまりしていない。	13.1%	4.3%	4.4%	18.9%	6.5%	5.9%	19.8%	9.7%	8.2%
④ していない。	2.3%	0.6%	0.6%	2.8%	0.9%	1.0%	4.0%	1.8%	1.7%
①と②の和	84.5%	95.0%	94.9%	77.8%	92.6%	93.1%	76.0%	88.4%	90.0%

2 宿題は学校でどのように確認されることが最も多いですか。

	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① 先生が○を付けたり、一言書いたりする。	63.6%	63.9%	77.9%	79.2%	79.1%	80.1%
② 授業等で先生が答えや解き方を説明する。	25.6%	26.7%	17.2%	15.5%	16.5%	15.3%
③ 授業等で友達と答え合わせをしたり、解き方を説明しあったりしている。	8.6%	7.8%	2.6%	3.4%	2.3%	2.5%
④ 確認されることはない。	2.1%	1.5%	2.1%	1.8%	2.1%	2.0%

3 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① している。	28.1%	28.1%	16.8%	17.5%	13.3%	13.4%
② どちらかといえばしている。	37.6%	37.7%	40.7%	40.5%	37.1%	37.1%
③ あまりしていない。	25.6%	25.3%	34.2%	33.2%	39.3%	38.9%
④ していない。	8.6%	8.9%	8.3%	8.8%	10.3%	10.6%
①と②の和	65.7%	65.8%	57.4%	58.0%	50.4%	50.5%

4 あなたが自分で計画を立てて勉強している内容は、どんなものが多いですか。

(H30：あなたが自分で考えてやる宿題(自学ノートなど)の内容は、どんなものが多いですか。)

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
① ドリルなどの問題をする。	26.6%	26.8%	26.2%	24.2%	22.1%	20.5%	23.6%	23.9%	21.7%
② 教科書や問題集の練習問題をする。	27.4%	25.0%	23.7%	38.7%	41.1%	39.0%	40.3%	43.3%	42.0%
③ 教科書や参考書の文章や図、グラフなどを書き写す。	11.1%	11.0%	10.8%	11.5%	9.7%	11.2%	12.0%	8.8%	9.7%
④ 自分でテーマを決めて調べ学習をする。	12.5%	12.0%	12.9%	5.2%	4.9%	5.9%	3.3%	3.7%	4.3%
⑤ 次の時間の予習をする。	10.5%	10.5%	11.2%	5.7%	7.1%	7.3%	3.8%	4.0%	4.3%
⑥ 計画を立てて学習していない。	11.8%	14.5%	15.1%	14.6%	14.9%	16.1%	16.8%	16.3%	17.8%

5 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む。)

	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① 3時間以上。	10.0%	7.8%	9.2%	7.4%	10.3%	7.5%
② 2時間以上3時間より少ない。	18.8%	18.6%	24.1%	23.8%	29.1%	24.2%
③ 1時間以上2時間より少ない。	42.2%	45.9%	41.4%	43.7%	37.0%	41.9%
④ 30分以上1時間より少ない。	21.0%	20.5%	17.8%	18.2%	16.0%	17.7%
⑤ 30分より少ない。	5.6%	5.2%	5.4%	5.1%	5.2%	5.9%
⑥ 全くしない。	2.3%	2.0%	2.0%	1.7%	2.5%	2.8%
④、⑤、⑥の和(1時間より少ない)	28.8%	27.7%	25.2%	25.0%	23.6%	26.4%

6 あなたは、家で学習しているときに、分からない問題がでてきたら、どうしますか。

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
① 後で、学校の先生に聞く。	3.3%	3.1%	4.9%	3.2%	3.7%	4.4%	4.3%	4.3%	5.0%
② 後で、友達に聞く。	5.9%	7.2%	8.0%	13.0%	15.9%	18.7%	16.8%	18.6%	21.8%
③ 後で、塾の先生や家庭教師の先生に聞く。	5.0%	4.4%	3.0%	12.3%	10.3%	7.6%	16.9%	17.1%	11.7%
④ 家族や親戚に聞く。	57.2%	55.5%	52.9%	35.8%	36.3%	33.9%	24.5%	22.4%	22.1%
⑤ 自分で調べる。	23.8%	23.8%	24.7%	28.2%	27.5%	28.7%	29.1%	30.4%	31.1%
⑥ そのままにしておくことが多い。	4.7%	5.9%	6.4%	7.3%	6.2%	6.7%	8.3%	7.1%	8.3%

7 あなたは、授業中にどのような内容についてノートをとっていますか。

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
① 板書してあることを写している。	35.3%	38.5%	38.4%	43.2%	48.6%	48.9%	50.9%	52.1%	53.6%
② 板書してあることを写すだけでなく、自分や友達の考えも書き込んでいる。	31.1%	29.3%	30.1%	12.6%	12.7%	13.4%	8.7%	9.2%	9.8%
③ 板書してあることを写すだけでなく、先生の言葉も書き込んでいる。	14.1%	13.4%	12.2%	30.5%	26.9%	25.4%	30.0%	28.9%	26.4%
④ 先生が指示したところだけ書いている。	6.2%	6.5%	7.9%	2.5%	2.6%	3.1%	2.4%	1.7%	2.0%
⑤ 板書を参考に、自分なりにまとめ直しながら書いている。	12.7%	11.3%	10.4%	10.3%	8.6%	8.7%	7.1%	7.1%	7.0%
⑥ ノートは、ほとんどとらない。	0.7%	0.8%	0.9%	0.8%	0.5%	0.5%	0.9%	1.0%	1.1%

8 日頃の授業では、どんな活動をする人が多いですか。教科ごとに多い順に二つずつ選んでください。

		小5			中1			中2		
		市		県	市		県	市		県
		H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
国語	① 先生の説明を聞く。	45.9%	47.4%	45.1%	65.1%	73.8%	72.0%	72.2%	77.4%	76.0%
	② 学習の手順や方法を考える。	20.2%	21.8%	22.5%	11.4%	13.4%	14.6%	12.0%	14.3%	15.1%
	③ 課題について、調べ学習をする。	10.9%	11.9%	12.8%	9.7%	9.2%	10.6%	8.4%	9.5%	10.9%
	④ 自分でじっくり考える。	17.5%	14.9%	15.2%	19.7%	16.8%	17.2%	19.6%	18.1%	18.4%
	⑤ 自分の考えを文章にまとめる。	39.6%	43.1%	42.9%	38.7%	33.5%	32.2%	31.8%	34.9%	30.7%
	⑥ ペアやグループで、考えを出し合ったり教え合ったりする。	29.4%	27.5%	28.2%	28.0%	30.4%	29.4%	34.9%	28.4%	28.8%
	⑦ 自分の考えや資料をもとに、話し合う。	9.7%	9.4%	9.4%	6.7%	5.4%	5.8%	5.2%	4.6%	5.0%
	⑧ お互いに発表したり、説明したりする。	26.4%	23.6%	23.4%	20.1%	16.7%	17.7%	15.4%	12.5%	14.4%

		小5			中1			中2		
		市		県	市		県	市		県
		H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
社会	① 先生の説明を聞く。	44.4%	40.9%	39.8%	79.4%	81.1%	77.1%	80.8%	85.2%	81.6%
	② 学習の手順や方法を考える。	10.6%	10.7%	10.9%	11.8%	11.6%	11.3%	11.1%	13.0%	12.2%
	③ 課題について、調べ学習をする。	39.4%	47.1%	43.2%	30.8%	26.8%	29.4%	28.0%	31.8%	32.0%
	④ 自分でじっくり考える。	16.2%	16.2%	16.3%	21.7%	20.7%	21.2%	22.6%	21.1%	20.8%
	⑤ 自分の考えを文章にまとめる。	11.5%	12.8%	13.0%	10.4%	7.6%	7.8%	8.1%	8.4%	8.1%
	⑥ ペアやグループで、考えを出し合ったり教え合ったりする。	18.0%	18.3%	20.2%	16.4%	23.1%	22.9%	25.9%	19.8%	22.6%
	⑦ 自分の考えや資料をもとに、話し合う。	44.3%	41.0%	42.9%	18.9%	15.4%	17.2%	12.1%	10.3%	11.8%
	⑧ お互いに発表したり、説明したりする。	15.2%	12.4%	13.1%	9.8%	12.8%	12.2%	10.7%	10.2%	10.3%

		小5			中1			中2		
		市		県	市		県	市		県
		H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
算数 数学	① 先生の説明を聞く。	43.3%	44.2%	41.8%	63.9%	66.4%	62.3%	66.4%	69.9%	67.4%
	② 学習の手順や方法を考える。	22.7%	23.8%	23.7%	25.4%	24.9%	23.9%	24.3%	25.6%	25.2%
	③ 課題について、調べ学習をする。	6.9%	8.0%	9.2%	6.1%	5.9%	7.0%	6.0%	6.3%	6.9%
	④ 自分でじっくり考える。	46.8%	47.7%	47.4%	47.1%	46.7%	47.4%	48.1%	46.0%	48.1%
	⑤ 自分の考えを文章にまとめる。	11.9%	11.5%	10.9%	5.1%	3.6%	3.8%	2.9%	3.0%	3.4%
	⑥ ペアやグループで、考えを出し合ったり教え合ったりする。	28.1%	25.1%	27.9%	28.8%	30.8%	33.6%	34.0%	31.7%	31.0%
	⑦ 自分の考えや資料をもとに、話し合う。	5.3%	6.3%	6.6%	5.4%	4.1%	4.9%	4.3%	3.3%	3.7%
	⑧ お互いに発表したり、説明したりする。	34.7%	32.7%	32.1%	17.5%	16.9%	16.4%	13.6%	13.8%	13.8%

		小5			中1			中2		
		市		県	市		県	市		県
		H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
理科	① 先生の説明を聞く。	54.1%	50.8%	50.2%	69.7%	72.3%	69.5%	78.9%	79.5%	78.2%
	② 学習の手順や方法を考える。	23.1%	22.7%	23.0%	23.2%	21.9%	22.0%	22.0%	22.6%	22.2%
	③ 課題について、調べ学習をする。	24.6%	24.6%	26.8%	20.3%	19.0%	20.3%	16.7%	17.5%	18.5%
	④ 自分でじっくり考える。	17.1%	15.1%	15.7%	15.5%	12.7%	13.8%	15.5%	15.7%	16.9%
	⑤ 自分の考えを文章にまとめる。	11.7%	11.6%	11.0%	6.6%	7.9%	7.2%	5.3%	5.5%	5.4%
	⑥ ペアやグループで、考えを出し合ったり教え合ったりする。	39.9%	41.8%	39.8%	44.2%	45.6%	46.2%	45.0%	43.7%	43.0%
	⑦ 自分の考えや資料をもとに、話し合う。	9.7%	8.9%	9.0%	7.7%	7.9%	7.8%	6.5%	6.3%	6.0%
	⑧ お互いに発表したり、説明したりする。	19.4%	23.9%	24.0%	12.1%	12.1%	12.4%	9.5%	9.0%	9.6%

		小5			中1			中2		
		市		県	市		県	市		県
		H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
英語	① 先生の説明を聞く。				68.0%	70.8%	71.2%	72.0%	72.5%	69.7%
	② 学習の手順や方法を考える。				9.3%	10.0%	10.1%	9.7%	10.2%	10.3%
	③ 課題について、調べ学習をする。				7.4%	5.5%	6.1%	6.3%	6.6%	7.0%
	④ 自分でじっくり考える。				16.3%	16.6%	17.8%	16.6%	13.9%	16.6%
	⑤ 自分の考えを文章にまとめる。				4.4%	3.8%	4.1%	5.7%	4.9%	6.1%
	⑥ ペアやグループで、考えを出し合ったり教え合ったりする。				48.4%	49.8%	46.3%	52.0%	50.1%	51.4%
	⑦ 自分の考えや資料をもとに、話し合う。				3.9%	3.7%	3.7%	3.0%	3.0%	2.8%
	⑧ お互いに発表したり、説明したりする。				40.8%	39.2%	40.2%	33.9%	38.6%	35.5%

9 あなたは、次のような授業を受けて、どのように感じますか。

(1) 先生の説明の時間が多い授業 (H30 : 先生がくわしく説明してくれる授業)

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
① とてもやりがいを感じる。	41.3%	17.2%	18.4%	35.8%	8.8%	9.1%	35.4%	7.9%	7.9%
② やりがいを感じる。	48.9%	55.5%	55.2%	52.0%	48.0%	48.3%	52.0%	43.5%	43.3%
③ あまりやりがいを感じない。	8.3%	23.0%	22.2%	9.6%	36.3%	35.8%	10.6%	39.3%	39.3%
④ やりがいを感じない。	1.5%	4.2%	4.1%	2.0%	6.8%	6.7%	1.8%	9.2%	9.2%
①と②の和	90.2%	72.7%	73.6%	87.8%	56.8%	57.4%	87.4%	51.4%	51.2%

(2) 自分たちで考えたり話し合ったりする授業

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
① とてもやりがいを感じる。	39.8%	41.5%	41.5%	39.4%	42.0%	43.5%	37.5%	37.5%	38.3%
② やりがいを感じる。	47.3%	46.4%	46.9%	46.9%	47.5%	46.9%	49.1%	49.8%	50.3%
③ あまりやりがいを感じない。	11.1%	10.2%	9.7%	10.6%	8.8%	8.0%	11.3%	10.4%	9.5%
④ やりがいを感じない。	1.7%	1.8%	1.7%	2.4%	1.6%	1.6%	2.0%	2.2%	1.8%
①と②の和	87.1%	87.9%	88.4%	86.3%	89.5%	90.4%	86.6%	87.3%	88.6%

(3) 自分たちが発表したり、友達の発表を聞いたりすることが多い授業

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
① とてもやりがいを感じる。	35.5%	36.3%	36.2%	24.2%	26.5%	29.4%	21.4%	22.9%	24.2%
② やりがいを感じる。	48.3%	48.3%	48.4%	52.1%	55.0%	54.5%	54.7%	55.9%	56.4%
③ あまりやりがいを感じない。	14.0%	13.0%	13.1%	19.6%	15.7%	13.8%	20.0%	18.2%	16.4%
④ やりがいを感じない。	2.1%	2.2%	2.2%	4.0%	2.7%	2.3%	3.9%	2.9%	2.6%
①と②の和	83.8%	84.7%	84.6%	76.3%	81.5%	83.9%	76.1%	78.9%	80.6%

(4) 難しい課題に挑戦する授業

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
① とてもやりがいを感じる。	50.6%	51.6%	50.8%	41.9%	43.7%	44.3%	36.0%	39.9%	38.6%
② やりがいを感じる。	30.7%	31.4%	32.5%	36.4%	39.1%	38.9%	41.6%	42.1%	43.3%
③ あまりやりがいを感じない。	14.1%	12.9%	12.9%	15.8%	13.3%	13.0%	17.6%	14.2%	14.3%
④ やりがいを感じない。	4.6%	4.0%	3.7%	5.5%	3.7%	3.4%	4.8%	3.8%	3.4%
①と②の和	81.3%	83.0%	83.4%	78.3%	82.8%	83.2%	77.5%	82.0%	81.9%

(5) 自分たちで調べて、課題を解決する授業

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
① とてもやりがいを感じる。	58.0%	56.7%	55.4%	50.7%	51.8%	52.3%	43.2%	46.2%	47.2%
② やりがいを感じる。	31.8%	32.2%	33.7%	36.6%	38.4%	38.6%	43.5%	41.8%	42.2%
③ あまりやりがいを感じない。	8.2%	8.9%	8.8%	9.2%	7.8%	7.4%	11.0%	9.9%	8.7%
④ やりがいを感じない。	2.0%	2.1%	2.1%	2.8%	1.7%	1.7%	2.2%	2.0%	1.8%
①と②の和	89.8%	88.9%	89.1%	87.3%	90.2%	90.9%	86.7%	88.1%	89.4%

- 10 あなたは、授業で、分からないことがあったら、どうしますか。
最も当てはまるものを、一つ選んで○を書いてください。

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
① 先生に聞く。	24.1%	22.1%	28.4%	18.3%	15.4%	17.5%	16.0%	15.1%	17.4%
② 友達に聞く。	39.3%	34.4%	33.4%	45.3%	38.9%	42.7%	49.5%	40.5%	43.8%
③ 後で、塾の先生や家庭教師の先生に聞く。	3.1%	4.3%	2.9%	8.6%	10.0%	7.1%	12.6%	15.4%	10.6%
④ 後で、家族や親戚に聞く。	20.2%	25.4%	21.6%	11.4%	17.7%	14.7%	6.5%	9.2%	8.7%
⑤ 自分で調べる。	9.9%	10.4%	10.4%	10.9%	12.9%	12.9%	10.7%	14.3%	13.9%
⑥ そのままにしておく。	3.2%	3.1%	3.1%	4.9%	4.3%	4.4%	4.6%	4.9%	5.2%
①と②の和	63.4%	56.5%	61.8%	63.7%	54.3%	60.2%	65.5%	55.6%	61.2%

(1) ①と②を選んだ人に聞きます。その理由は何ですか。

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
① 分からないままにしたいくないから。	44.7%	27.6%	30.8%	35.7%	19.6%	23.1%	32.1%	18.4%	20.8%
② 聞いたら分かるかなと思うから。	21.7%	13.7%	15.7%	26.6%	16.8%	19.5%	32.7%	20.5%	23.7%
③ 先生や友達は聞きやすいから。	19.9%	15.7%	15.3%	24.9%	18.1%	18.3%	23.2%	17.3%	18.2%

(2) ③と④を選んだ人に聞きます。その理由は何ですか。

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
① 説明が分かりやすいから。	21.4%	13.4%	10.7%	22.7%	14.1%	10.8%	24.5%	14.2%	10.7%
② いつも聞いているから。	12.7%	6.3%	5.3%	8.8%	5.2%	4.4%	9.7%	4.2%	5.0%
③ 聞きやすいから。	18.1%	10.3%	8.9%	15.0%	9.0%	7.6%	15.3%	7.4%	6.1%

(3) ⑤を選んだ人に聞きます。その理由は何ですか。

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
① 自分で調べたいから。	23.5%	9.6%	9.4%	25.2%	12.2%	12.1%	29.4%	13.2%	13.2%
② 自分で調べるように先生に言われているから。	0.9%	0.5%	0.4%	0.7%	0.4%	0.3%	0.3%	0.1%	1.4%
③ だれにも聞くことができないから。	4.8%	1.1%	1.3%	3.2%	1.2%	1.3%	3.0%	2.1%	1.9%

(4) ⑥を選んだ人に聞きます。その理由は何ですか。

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
① いつもそうしているから。	2.3%	0.8%	0.8%	3.3%	1.5%	1.3%	4.9%	1.6%	1.8%
② 聞いたり調べたりするのがめんどうだから。	2.4%	0.9%	0.8%	4.3%	1.7%	1.6%	4.0%	1.7%	2.1%
③ 分からないことをうまく伝えられないから。	6.1%	1.3%	1.1%	4.5%	1.0%	1.1%	4.0%	1.8%	2.3%
④ 聞きにくいから。	2.6%	0.5%	0.7%	3.1%	0.7%	0.9%	2.8%	1.1%	1.5%

11 学習する中で楽しいと感じたり、やりがいを感じたりすることがありますか。

	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① ある	95.8%	95.8%	92.3%	92.3%	88.2%	89.3%
② ない	3.7%	3.8%	6.6%	6.9%	10.2%	9.7%

①を選んだ人に聞きます。どの教科等で楽しさや、やりがいを感じますか。当てはまる教科等に○を書いてください。（いくつでも構いません。）

	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
国語	33.5%	33.8%	37.9%	39.0%	29.8%	31.8%
社会	40.3%	39.6%	44.0%	43.1%	38.5%	38.0%
算数、数学	60.1%	60.8%	51.4%	53.8%	50.8%	51.8%
理科	57.2%	57.9%	49.5%	49.5%	42.9%	43.3%
音楽	43.8%	45.3%	35.2%	39.7%	29.1%	33.5%
図画工作、美術	66.1%	67.6%	41.1%	43.4%	35.9%	39.1%
家庭、技術・家庭	68.2%	68.3%	61.7%	64.9%	59.2%	61.6%
体育、保健体育	75.1%	76.0%	41.5%	43.9%	40.5%	40.7%
外国語活動、外国語	50.1%	49.9%	49.9%	52.3%	40.4%	40.1%
道徳	36.3%	35.5%	20.9%	21.8%	14.7%	17.1%
総合的な学習の時間	49.3%	48.2%	33.8%	35.2%	28.4%	30.9%
特別活動	66.4%	66.2%	45.8%	48.3%	43.9%	45.8%

12 あなたの学級では、授業のめあて（学習目標）を立てていますか（教科ごとに選択）。

国語	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。	66.2%	66.6%	62.8%	64.7%	69.5%	68.4%
② どちらかといえばしている。	18.7%	19.3%	19.7%	19.8%	17.6%	17.7%
③ あまりしていない。	8.4%	8.1%	11.8%	10.7%	8.6%	9.3%
④ していない。	2.3%	2.6%	3.8%	3.0%	2.6%	2.9%
①と②の和	84.9%	85.9%	82.5%	84.5%	87.1%	86.0%

社会	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。	62.9%	62.3%	64.5%	65.6%	71.1%	68.5%
② どちらかといえばしている。	19.8%	20.7%	17.6%	16.8%	13.9%	15.9%
③ あまりしていない。	10.0%	10.4%	12.0%	11.3%	9.5%	9.8%
④ していない。	3.0%	3.3%	4.1%	4.5%	4.0%	4.2%
①と②の和	82.6%	83.0%	82.1%	82.4%	85.0%	84.4%

算数・数学	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。	66.7%	67.7%	58.9%	64.7%	62.6%	64.9%
② どちらかといえばしている。	17.9%	18.2%	20.5%	19.2%	19.8%	19.8%
③ あまりしていない。	8.5%	8.1%	13.7%	10.6%	11.9%	10.3%
④ していない。	2.5%	2.6%	5.2%	3.6%	4.1%	3.3%
①と②の和	84.7%	85.9%	79.3%	83.9%	82.4%	84.7%

理科	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。	55.9%	57.0%	59.3%	61.9%	62.8%	62.4%
② どちらかといえばしている。	23.5%	23.6%	21.7%	21.3%	20.2%	21.2%
③ あまりしていない。	11.9%	11.7%	13.2%	11.9%	11.4%	11.2%
④ していない。	4.5%	4.3%	4.0%	3.1%	3.9%	3.5%
①と②の和	79.3%	80.6%	81.0%	83.2%	83.1%	83.6%

外国語	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。			50.0%	55.2%	51.2%	54.8%
② どちらかといえばしている。			26.4%	25.0%	28.9%	26.5%
③ あまりしていない。			16.7%	13.8%	14.0%	13.0%
④ していない。			5.2%	4.3%	4.3%	4.0%
①と②の和			76.4%	80.1%	80.1%	81.3%

13 授業の始めに、学習の流れを確認していますか（教科ごとに選択）。

国語	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。	40.7%	42.9%	36.6%	38.2%	38.8%	40.7%
② どちらかといえばしている。	35.2%	33.9%	35.1%	34.5%	34.2%	34.1%
③ あまりしていない。	18.5%	18.2%	22.8%	22.0%	21.5%	20.2%
④ していない。	5.0%	4.5%	5.1%	4.9%	5.2%	4.7%
①と②の和	76.0%	76.8%	71.7%	72.7%	73.1%	74.8%

社会	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。	32.9%	34.5%	34.4%	33.3%	33.9%	31.3%
② どちらかといえばしている。	38.1%	36.7%	34.8%	34.6%	34.4%	34.9%
③ あまりしていない。	22.3%	22.3%	24.4%	25.4%	24.6%	26.4%
④ していない。	6.1%	6.0%	6.1%	6.4%	6.9%	7.2%
①と②の和	70.9%	71.3%	69.2%	67.9%	68.2%	66.2%

算数・数学	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。	39.4%	42.5%	31.9%	33.1%	32.9%	33.1%
② どちらかといえばしている。	36.3%	34.0%	36.7%	36.5%	37.5%	37.1%
③ あまりしていない。	18.7%	18.3%	24.8%	24.2%	23.0%	23.7%
④ していない。	5.0%	4.8%	6.3%	5.7%	6.4%	5.8%
①と②の和	75.7%	76.5%	68.6%	69.6%	70.4%	70.2%

理科	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。	39.6%	41.2%	33.4%	34.6%	33.2%	32.2%
② どちらかといえばしている。	34.3%	33.8%	37.2%	36.3%	36.3%	37.5%
③ あまりしていない。	18.9%	18.4%	22.7%	22.9%	24.3%	24.4%
④ していない。	6.6%	6.1%	6.4%	5.9%	6.0%	5.5%
①と②の和	73.9%	75.0%	70.6%	70.9%	69.4%	69.7%

外国語	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。			35.5%	35.3%	32.9%	32.9%
② どちらかといえばしている。			36.2%	36.5%	38.6%	38.7%
③ あまりしていない。			22.4%	22.3%	22.1%	22.3%
④ していない。			5.6%	5.6%	6.1%	5.8%
①と②の和			71.7%	71.8%	71.5%	71.6%

14 授業中に、自分の考えを書く活動を行っていますか（教科ごとに選択）。

国語	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。	52.6%	53.5%	52.3%	51.7%	50.1%	49.5%
② どちらかといえばしている。	31.4%	30.9%	30.7%	31.1%	32.7%	32.7%
③ あまりしていない。	12.7%	12.3%	13.8%	14.1%	14.2%	14.6%
④ していない。	2.6%	2.9%	3.0%	2.8%	2.9%	2.9%
①と②の和	84.1%	84.3%	83.0%	82.8%	82.7%	82.2%

社会	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。	34.7%	34.9%	23.0%	25.3%	22.3%	25.8%
② どちらかといえばしている。	34.7%	34.9%	28.2%	28.5%	28.9%	28.4%
③ あまりしていない。	25.1%	24.7%	37.1%	35.4%	36.0%	33.1%
④ していない。	4.8%	5.1%	11.4%	10.4%	12.6%	12.4%
①と②の和	69.5%	69.8%	51.2%	53.8%	51.2%	54.2%

算数・数学	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。	48.6%	52.0%	38.0%	40.1%	36.6%	38.9%
② どちらかといえばしている。	31.6%	30.3%	30.8%	31.6%	32.6%	32.3%
③ あまりしていない。	15.6%	14.0%	23.4%	22.4%	23.9%	22.3%
④ していない。	3.7%	3.3%	7.4%	5.6%	6.7%	6.2%
①と②の和	80.2%	82.3%	68.8%	71.7%	69.2%	71.2%

理科	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。	43.8%	44.3%	33.1%	33.7%	28.0%	29.3%
② どちらかといえばしている。	31.3%	32.0%	34.2%	34.4%	36.0%	35.6%
③ あまりしていない。	19.1%	18.4%	25.4%	25.7%	27.8%	27.9%
④ していない。	5.2%	4.8%	7.0%	5.8%	7.9%	6.9%
①と②の和	75.1%	76.3%	67.3%	68.1%	64.0%	64.9%

外国語	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。			23.3%	23.8%	25.3%	28.4%
② どちらかといえばしている。			32.8%	32.9%	36.5%	36.2%
③ あまりしていない。			32.6%	33.4%	29.1%	27.6%
④ していない。			11.0%	9.6%	8.8%	7.5%
①と②の和			56.1%	56.7%	61.8%	64.6%

15 授業の終わりに学習内容を振り返る活動（ノートにまとめたり、考えたことを整理したりするなど）を行っていますか（教科ごとに選択）。

国語	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。	36.1%	38.1%	29.6%	31.2%	27.0%	28.9%
② どちらかといえばしている。	32.0%	30.7%	31.1%	30.8%	29.7%	30.9%
③ あまりしていない。	24.4%	23.6%	29.3%	28.5%	31.8%	30.1%
④ していない。	7.1%	7.2%	9.7%	9.2%	11.3%	9.9%
①と②の和	68.1%	68.9%	60.7%	62.0%	56.7%	59.8%

社会	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。	47.2%	46.8%	40.7%	39.1%	37.8%	34.7%
② どちらかといえばしている。	27.5%	27.2%	27.0%	27.4%	26.7%	28.3%
③ あまりしていない。	18.5%	19.4%	22.9%	24.3%	24.5%	25.9%
④ していない。	6.4%	6.2%	9.0%	8.9%	10.8%	10.9%
①と②の和	74.7%	74.0%	67.8%	66.5%	64.5%	63.0%

算数・数学	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。	56.0%	56.4%	32.1%	36.5%	29.4%	32.0%
② どちらかといえばしている。	24.6%	24.5%	32.7%	31.3%	32.1%	32.9%
③ あまりしていない。	14.0%	14.0%	25.6%	23.8%	27.6%	25.6%
④ していない。	5.1%	4.8%	9.3%	8.0%	10.7%	9.2%
①と②の和	80.5%	80.9%	64.8%	67.8%	61.5%	64.9%

理科	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。	43.9%	45.2%	39.4%	39.7%	34.4%	34.2%
② どちらかといえばしている。	28.9%	28.5%	30.2%	29.9%	30.2%	31.9%
③ あまりしていない。	19.3%	18.8%	21.6%	22.2%	25.7%	24.8%
④ していない。	7.5%	7.2%	8.5%	7.9%	9.4%	8.8%
①と②の和	72.8%	73.7%	69.6%	69.6%	64.6%	66.1%

外国語	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① よくしている。			28.1%	30.2%	23.4%	25.3%
② どちらかといえばしている。			32.6%	32.6%	32.0%	33.1%
③ あまりしていない。			27.8%	27.2%	31.9%	30.3%
④ していない。			11.0%	9.6%	12.5%	11.0%
①と②の和			60.7%	62.8%	55.3%	58.4%

16 授業中に、自分で考えたり、自分から進んで活動に取り組んだりしていますか。

	小5			中1			中2		
	市	県	市	県	市	県	市	県	
	H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
① よくしている。	28.3%	24.1%	26.2%	22.3%	21.3%	22.1%	19.7%	18.5%	18.9%
② どちらかといえばしている。	49.3%	52.1%	51.8%	49.7%	50.8%	51.6%	51.5%	51.8%	52.5%
③ あまりしていない。	20.4%	21.9%	20.3%	25.0%	25.5%	23.9%	25.6%	26.6%	25.6%
④ していない。	1.8%	1.7%	1.6%	2.7%	2.2%	2.1%	3.1%	3.0%	2.8%
①と②の和	77.6%	76.2%	78.0%	72.0%	72.1%	73.7%	71.2%	70.3%	71.4%

17 授業中に、先生から教えてもらったことや友達と話し合ったことなどを通じて、自分の考えを広げたり深めたりすることができていますか。

	小5			中1			中2		
	市	県	市	県	市	県	市	県	
	H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
① よくしている。	27.1%	23.7%	25.7%	26.0%	22.5%	23.8%	23.1%	22.2%	21.4%
② どちらかといえばしている。	46.2%	48.8%	48.3%	46.2%	50.5%	49.3%	48.5%	50.3%	50.4%
③ あまりしていない。	23.9%	24.6%	23.0%	23.8%	23.9%	23.8%	25.2%	24.0%	24.8%
④ していない。	2.6%	2.7%	2.9%	3.8%	2.9%	2.9%	3.1%	3.5%	3.2%
①と②の和	73.3%	72.5%	74.0%	72.2%	73.0%	73.1%	71.6%	72.4%	71.8%

18 授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かすことができますか。

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H29	H30	H30	H29	H30	H30	H29	H30	H30
① よくできている。	35.6%	33.5%	33.8%	24.7%	21.8%	21.8%	19.2%	18.3%	17.2%
② どちらかといえばできている。	46.6%	48.2%	48.0%	48.6%	51.2%	50.8%	50.8%	49.2%	50.1%
③ あまりできていない。	15.7%	16.4%	16.2%	22.8%	23.9%	24.4%	25.8%	28.5%	28.7%
④ まったくできていない。	2.0%	1.7%	1.8%	3.6%	2.8%	2.8%	4.1%	3.9%	3.8%
①と②の和	82.2%	81.7%	81.8%	73.3%	73.0%	72.6%	70.0%	67.5%	67.3%

19 テストなどが返されたらどのようにしますか（複数回答可）。

	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① 先生が解き方を説明してくれるので聞く。	58.5%	58.1%	59.6%	58.3%	62.6%	59.0%
② 間違った問題を訂正する。	79.1%	76.3%	85.2%	84.6%	86.5%	83.9%
③ 分からない問題を分かるようになるまで先生や友達等に教えてもらう。	35.4%	37.0%	37.2%	37.3%	35.0%	32.8%
④ そのままにしておく。	3.5%	3.1%	4.4%	4.0%	3.9%	4.4%

20 あなたが勉強をする理由は何ですか。最も当てはまるものを一つ選んでください。

	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① 勉強をすることが楽しいから。	11.1%	10.5%	4.7%	4.9%	3.5%	3.7%
② 将来の夢や目標を実現するために必要だから。	56.3%	59.8%	46.7%	50.0%	44.1%	47.6%
③ 先生や家の人に勉強をするように言われるから。	7.8%	7.1%	10.0%	9.3%	9.1%	8.7%
④ 希望する中学校等に進学したいから。	9.0%	6.9%	23.8%	20.6%	31.2%	27.3%
⑤ 特に考えていない。	15.6%	15.6%	14.6%	15.1%	11.9%	12.4%

21 自分には、よいところがあると思いますか。

	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① あると思う。	31.4%	29.7%	26.4%	26.0%	24.6%	23.8%
② どちらかといえばあると思う。	38.8%	39.3%	42.0%	41.1%	41.7%	41.6%
③ あまりないと思う。	23.4%	24.3%	24.7%	25.9%	26.8%	27.8%
④ まったくないと思う。	6.3%	6.5%	6.7%	6.8%	6.8%	6.6%
①と②の和	70.2%	69.0%	68.4%	67.1%	66.3%	65.4%

22 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① 認めてくれる。	39.5%	40.8%	36.7%	37.2%	31.2%	31.0%
② どちらかといえば認めてくれる。	44.2%	44.0%	48.8%	48.4%	51.9%	51.9%
③ あまりないと思う。	12.4%	11.7%	10.9%	10.8%	13.1%	13.1%
④ まったくないと思う。	3.7%	3.4%	3.3%	3.4%	3.6%	3.5%
①と②の和	83.7%	84.8%	85.5%	85.6%	83.1%	82.9%

23 将来の夢や目標をもっていますか。

	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① もっている。	73.5%	74.0%	52.7%	53.1%	45.6%	45.9%
② どちらかといえばもっている。	15.5%	15.1%	23.2%	22.7%	26.7%	26.2%
③ あまりもっていない。	7.6%	7.6%	17.3%	17.2%	20.2%	20.4%
④ まったくもっていない。	3.2%	3.2%	6.7%	6.8%	7.4%	7.3%
①と②の和	89.0%	89.1%	75.9%	75.8%	72.3%	72.0%

24 あなたはスマートフォンをもっていますか。

	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① 自分専用のものをもっている。	22.0%	21.2%	39.1%	38.6%	49.8%	48.1%
② 家族で共用のものをもっている。	26.1%	26.8%	19.3%	21.7%	16.9%	19.1%
③ もっていない。	51.6%	51.8%	41.4%	39.6%	33.2%	32.6%

25 インターネット（スマートフォン、ゲーム、SNSなど）を1日当たりどれくらいの時間していますか。

	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	H30	H30	H30	H30	H30	H30
① していない。	10.2%	11.2%	8.7%	9.2%	6.3%	7.1%
② 30分より少ない。	18.3%	17.8%	15.8%	15.5%	13.2%	13.1%
③ 30分以上1時間より少ない。	23.3%	24.4%	23.0%	23.3%	21.2%	22.2%
④ 1時間以上2時間より少ない。	24.1%	23.9%	26.2%	26.2%	27.4%	27.6%
⑤ 2時間以上3時間より少ない。	11.7%	11.3%	13.8%	14.2%	17.0%	16.3%
⑥ 3時間以上4時間より少ない。	5.9%	5.5%	6.3%	6.1%	7.6%	7.2%
⑦ 4時間以上5時間より少ない。	2.9%	2.7%	2.7%	2.4%	3.3%	2.9%
⑧ 5時間より多い。	3.4%	3.1%	3.4%	2.9%	3.8%	3.3%
④～⑧の和(1時間以上)	48.0%	46.4%	52.4%	51.9%	59.1%	57.3%

V 今後の対策－主体的・対話的で深い学びを実現するために－

1 今後の対策

ア 全国学力・学習状況調査や鹿児島学習定着度調査の問題を全職員が解いて、**児童生徒に求められている学力を把握**する。

当該学年の担当職員だけでなく全職員が実際に問題を解いてみて、どのような力を児童生徒に付けていくべきか共有することが大切です。そのために、**平成31年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料**等を積極的に活用しましょう。

※ コンピュータ上で次のURLをクリックすると国立教育政策研究所のWebページにジャンプします。 ➡ <http://www.nier.go.jp/18chousa/18chousa.htm>

イ 各学校では、**数値目標や共通実践事項を設定**し、学力向上対策と指導方法の工夫改善が、諸検査結果等につながるようにする。

定着の低い内容について、**各教科年間指導計画へ朱書き**等を行い、指導に生かしましょう。本調査結果を生かした年間指導計画例が、『平成30年度鹿児島学習定着度調結果報告書』（平成31年3月発行、鹿児島県教育委員会）に示されています。自校の平均通過率や市平均との差、取組内容を明記することで重点化した指導につながるとともに、翌年度以降にも自校の課題や改善策が引き継がれていきます。

ウ **児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善**を推進する。

- ① 単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した**目標の明確化**
- ② 児童生徒に**主体的な問題解決を促す学習課題（学習問題）の設定**
- ③ 児童生徒の**思考・判断を促す「発問」の工夫**
- ④ 児童生徒が**自分の考えを相互に説明する活動の充実**
- ⑤ **思考過程が分かる構造的な「板書」**（整合するめあてとまとめの確実な提示）
- ⑥ 他者の**「話を聞く態度」の育成**（学校と家庭での習慣付け）

エ 学習内容が定着するまで繰り返し指導して習得状況の**見届けを徹底**する。

- ① **「かごしま学力向上支援Webシステムの単元・領域別評価問題」**の活用
- ② 児童生徒が**調べたり文章を書いたりする「宿題」（家庭学習）**の取組

新学習指導要領において示された「主体的・対話的で深い学び」とはどのような学びであるか、全職員で確認することが、まず第一歩です。そのために、次ページの資料等を活用した校内研修を行いましょう。そして、**上記の点について自校なりの具体策を検討**しましょう。その際、研究協力校等の取組を参考にいただくために、実践例を掲載しました。

また、取組に当たっては、**保護者の理解や協力を得る**ことも重要です。「学習指導要領はどのように変わったのか。」「今後、大学入試等はどのように変わっていくのか。」「これからの時代に求められる学力を育成するために、学校と家庭ではどのようなことを大切にしていけばいいのか」などについて、説明や意見交換を行う場を設けたいものです。

2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めるに当たって

小学校（中学校）学習指導要領 第1章第3の1の(1)から

※ 下線は筆者による

(1) 第1の3の(1)から(3)までに示すことが偏りなく実現されるよう、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童（生徒）の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと。

特に、各教科等において身に付けた知識及び技能を活用したり、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等を發揮させたりして、学習の対象となる物事を捉え思考することにより、各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方（以下「見方・考え方」という。）が鍛えられていくことに留意し、児童が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実を図ること。

※ 「第1の3の(1)から(3)までに示すこと」とは

- (1) 知識及び技能が習得されるようにすること。
- (2) 思考力、判断力、表現力等を育成すること。
- (3) 学びに向かう力、人間性等を涵養すること。

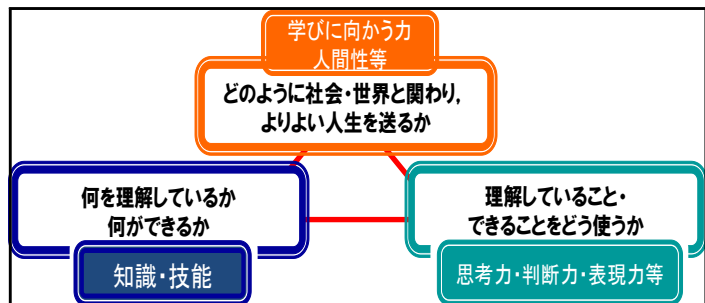


図 資質・能力の三つの柱

【取組に当たっての留意点】

ア これまで地道に取り組まれ蓄積されてきた実践を否定し、全く異なる指導方法を導入しなければならないと捉える必要はないこと。

イ 授業の方法や技術の改善のみを意図するものではなく、児童生徒に**目指す資質・能力を育てるために**「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」の視点で、授業改善を進めるものであること。

ウ 各教科等において**通常行われている学習活動（言語活動、観察・実験、問題解決的な学習など）の質を向上**させることを主眼とするものであること。

エ **単元や題材など内容や時間のまとまりの中で**、学習を見通し振り返る場面をどこに設定するか、グループなどで対話する場面をどこに設定するか、児童生徒が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるかを考え、実現を図っていくものであること。

オ 深い学びの鍵として**「見方・考え方」を働かせる**ことが重要になること。各教科等の「見方・考え方」は、「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」というその教科等ならではの物事を捉える視点や考え方である。

カ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に課題がある場合には、その**確実な習得を図る**ことを重視すること。

3 各教科における主体的・対話的で深い学び

平成29年発行の学習指導要領解説の各教科編を参照し、各教科における主体的・対話的で深い学びとはどのようなものを把握して、授業に臨みましょう。



【中学校数学の例】

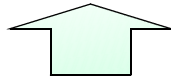
数学科の目標(育成を目指す資質・能力)

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

※ 「数学的な見方・考え方」とは

事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、統合的・発展的に考えること。



主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、数学的活動を通して、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。

その際、数学的な見方・考え方を働かせながら、日常の事象や社会の事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決し、学習の過程を振り返り、概念を形成するなどの学習の充実を図ること。

- (1) 主体的な学び
生徒自らが、問題の解決に向けて見通しをもち、粘り強く取り組み、問題解決の過程を振り返り、よりよく解決したり、新たな問いを見いだしたりするなどの「主体的な学び」
- (2) 対話的な学び
事象を数学的な表現を用いて論理的に説明したり、よりよい考えや事柄の本質について話し合い、よりよい考えに高めたり事柄の本質を明らかにしたりするなどの「対話的な学び」
- (3) 深い学び
数学に関わる事象や、日常生活や社会に関わる事象について、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、新しい概念を形成したり、よりよい方法を見いだしたりするなど、新たな知識・技能を身に付けて、それらを統合し、思考、態度が変容する「深い学び」

【指導のポイント】

- 1時間で全てが実現されるものではありません。単元等を見通して、重点化を図りましょう。
- グループ活動等が目的となってはいけません。「どんな資質・能力が育成されたのか。」が大切です。児童に数学的活動の楽しさを味わわせながら実現したいものです。
- 習得・活用・探究という過程の中で「見方・考え方」を働かせることを通して、より質の高い学びにつなげることが重要です。「子供が問題を見いだせたか。」など子供の視点に立った省察を大切にしたいものです。



4 単元や題材の目標を明確にするために

学習指導要領に示す目標に照らしてその実現状況をみる評価（目標に準拠した評価）を着実に実施するためには、各教科の目標だけでなく、領域や内容項目レベルの学習指導のねらいが、明確になっている必要があります。そして、学習指導のねらいが児童の学習状況として実現されたというのは、どのような状態になっているかが具体的に想定されている必要があります。このような状況を具体的に示したものが評価規準であり、各学校において設定するものです。^{*1}

そこで、単元や題材の目標を明確にするためには、まず、各教科の『学習指導要領解説』で単元等のねらいを確認する必要があります。次に、評価の観点ごとに、「単元の評価規準」を設定します。そして、単元の指導計画を作成しますが、その際に、どの時間にどの評価の観点を重視して指導と評価を行うのかを計画します。1単位時間の中で全ての児童生徒を4観点から評価し、指導に生かすことは現実的ではありませんから、「本時では、このことについて評価し、どの児童生徒も『十分満足できる状況』や『おおむね満足できる状況』に高めるのだ」と明確にして授業に臨むことが重要です。このように指導の重点化が図られると、その時間でどのような活動に時間を割くべきかが明らかになってきます。「主体的・対話的で深い学び」を単なる指導方法として捉え、「グループ活動をいつもしなければならぬ」、「反復練習には、取り組ませるべきではない」などと形式的に考えることは望ましいことではありません。

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通して目標を明確化し、その目標を達成するためにふさわしい活動を位置付けることが求められています。

【例：中学校第1学年理科^{*2}】

(1) 単元名 葉・茎・根のつくりと働き

(2) 単元のねらい

観察によって、種子植物の葉、茎、根の基本的なつくりの特徴を見いだすとともに、それらを光合成、呼吸、蒸散についての実験結果と関連付けて捉えさせ、植物の体のつくりと働きについて総合的に理解させる。

(3) 単元の評価規準^{*1}

自然事象への 関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての 知識・理解
生物の観察、植物の体のつくりと働き、植物の仲間に関する事物・現象に進んで関わり、それらを科学的に探究するとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしている。	生物の観察、植物の体のつくりと働き、植物の仲間に関する事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	生物の観察、植物の体のつくりと働き、植物の仲間に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	観察や実験などを行い、植物の体のつくりと働き、植物の仲間に関する事物・現象について基本的な概念・多様性や規則性を理解し、知識を身に付けている。

(4) 単元の指導計画（全9時間）

節	時間	指導目標	主な学習活動	評価			
				関	思	技	知
葉の つくり	2	葉の表皮の観察結果を基に、葉の筋の通り方から葉を分類し、その特徴と筋の働きを推論することができる。	葉、茎、根の働きについて既習事項を基に話し合い、葉の表皮の観察を行う。	○		○	
		葉の表皮や内部の観察結果を基に、葉のつくり、水や養分の通り道について説明することができる。	葉の断面の観察を行い、葉の表皮や内部のつくりの特徴をまとめ、発表し合う。		○		○
葉の 働き	4	葉のつくりの観察結果と光合成の実験結果を基に、葉緑体で光合成が行われていることを推論できる。	葉の中で光合成が行われている場所を予想して実験を行い、結果を基に考察したことを発表し合う。		○		

*1 国立教育政策研究所『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料』（平成23年11月）から引用。
新学習指導要領では、3観点となるため、令和元年度中に新しい参考資料が発行される予定である。

*2 平成29年度市中学校教科別研修会（理科）公開授業指導案を基に作成。

5 児童生徒の思考・判断を促す「発問」の工夫

「主体的・対話的で深い学び」を実現するためには、本時の目標や児童生徒の実態を踏まえて、児童生徒が思わず考えたくなる発問を繰り出すことが必要です。また、発問した後は、教師の「待つ」姿勢も大切です。一人一人にじっくりと考えさせ、その上で、ペアやグループによる意見交換を促したり、全体で発表し合ったりして、考えを深め合うことも大切にしたい活動です。

下表の理科の発問例を参考にして、各教科の目標や特質を踏まえた発問を考えてみましょう。

※ 平成29年度の本報告書にも研究協力校の例を掲載しておりますので、是非参考にしてください。

表 科学的に探究する力を育成する理科の発問例

学習過程	発問のねらい	主な発問
課題把握 ・既習事項の想起、確認 ・課題設定(課題の焦点化)	既習事項の確認	「前の時間には、どのようなことを学習しましたか。」
	〃	「〇〇について、説明できますか。」
課題追究 ・解決の見通し 【予想や仮説の設定】 【検証計画の立案】 【結果の見通し】	事象提示の事実確認 比較観察の促進 問題意識の喚起 問題の焦点化	「どのような現象が見られましたか。 (何が起きましたか。何が確認できましたか。)」 「～～と～～を比べると、どこが違いますか。」 「違う理由は(この原因)は、何でしょうか。」 「よく分からないところは、どこですか。」 「何がはっきりするとよいのでしょうか。」
	予想や仮説の比較検討 予想や仮説の根拠の明確化 検証計画の立案(実証性を問う。) 比較の対象と観点の明確化 結果の見通し 操作等の意図の確認 安全性の確認 記録の仕方の確認	「～さんの考えについてどう思いますか。」 「どうして、そう思うのですか。」 「何からそう考えたのですか。」 「この予想を確かめるには、どうすればよいのでしょうか。」 「何と何を、どのような視点で比べるとよいですか。」 「～さんの予想が正しければ、どんな結果が得られるはずですか。」 「(実験操作や留意点を示して) 何のために、このようにするのでしょうか。」 「この実験で気を付けなければならないことは何ですか。」 「結果は、どのように記録すると分かりやすいでしょうか。」
【観察・実験】 【考察】	結果と予想の照合 再現性の確認	「予想どおりでしたか。」「納得しましたか。」 「何回やってもそうなりますか。」 「条件を変えてみても同じ結果ですか。」
	結果の整理・事実確認 考察	「どのような結果が得られましたか。」 「この結果からどんなことが言えますか。」 「それは、どの結果から分かったのですか。」
課題解決 ・結論 ・適用 ・振り返り	結論の記述の促し 教科書による確認、理解深化 日常生活や社会生活への適用(気付きの促し) 内容に関する振り返り 変容の自覚化 方法に関する振り返り	「今日の問題の答えを書きましょう。主語は、何ですか。(どんな言葉で書き始めるといいですか。)」 「今日はどんなことが分かりましたか。そのキーワードは、何ですか。」 「教科書では、どのように説明されていますか。」 「その中でよく分からないところはどこですか。」 「～～のよさは、どんなところでしょうか。」 「こんな場合は、どのように説明できるでしょうか。」 「印象に残ったことはどんなことですか。それは、どうしてですか。」 「初めに〇〇と予想したのはどんな理由からだったのでしょうか。その考えは、今日の授業で変わりましたか。」 「大切だなと思った考え方や方法は、どんなことですか。」

個々の実態や状況に応じて、絶妙なタイミングで“思わず考えたくなる発問”を繰り出すのは、決してAIにはできない技でしょう。これぞ、教師の醍醐味です。



6 児童生徒が自分の考えを相互に説明する活動の充実

思考力、判断力、表現力等の育成に当たっては、記録、要約、論述、説明などといった言語活動の充実が大切です。特に、児童生徒相互に説明し合う活動は、理解をより確かなものにしたり、考えを広げ深めることにつながります。その際、教室内のどの児童生徒も主体的に参加するようにするためには、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた指導の工夫が有効です。

下図を参考に、「授業でのバリアを除く工夫」や、学習活動や発問の焦点化、ペア・グループ活動等による考えの共有化、ICTの効果的活用や活動の流れの揭示等による視覚化を重視した授業づくりに取り組んでみましょう。

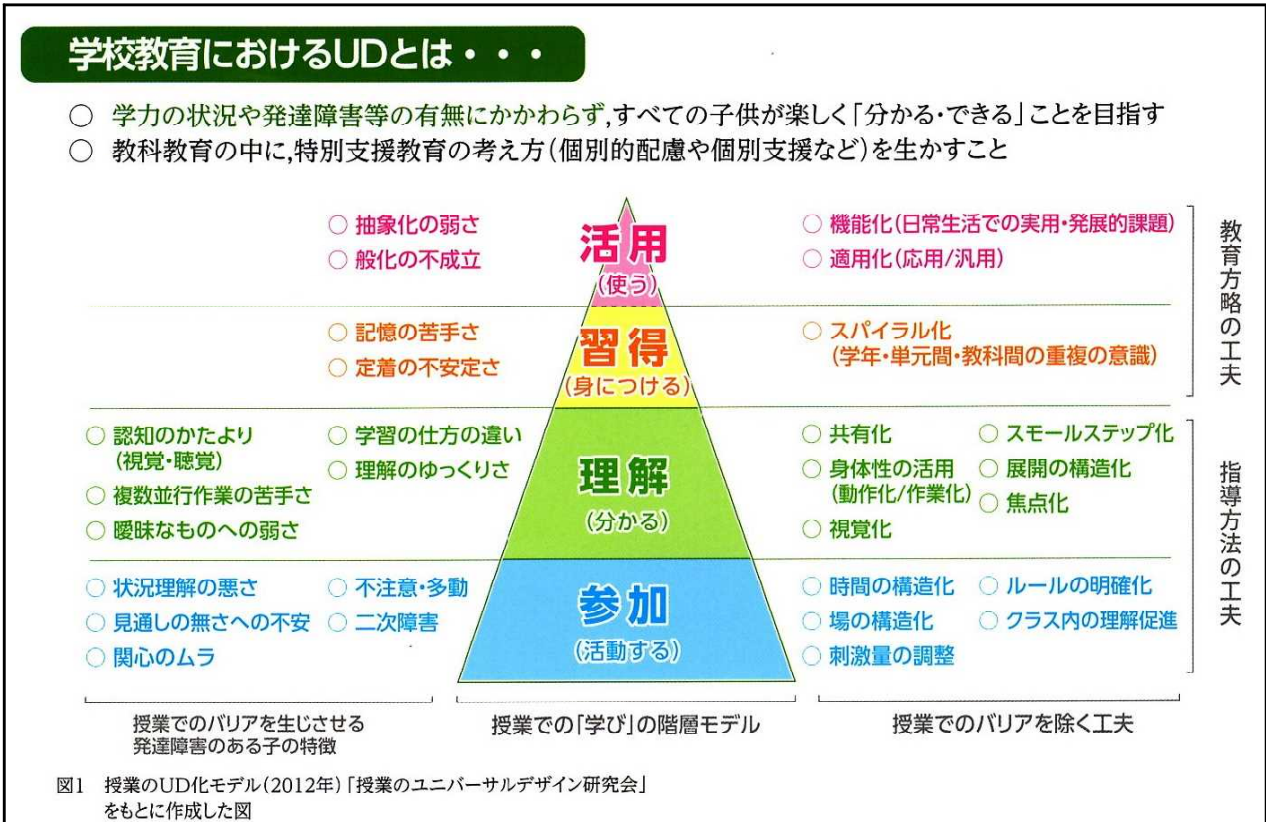


図1 授業のユニバーサルデザイン化モデル



図2 授業づくり「3つの柱」

出典：桜洲小学校 平成28・29年度研究紀要

『すべての子供が参加し、「分かる・できる」喜びを実感できる授業づくり』（平成30年1月）

7 「かごしま学力向上支援Webシステムの単元・領域別評価問題」等の活用

(1) 「かごしま学力向上支援Webシステムの単元・領域別評価問題」の活用

県教育委員会が、市町村教育委員会や教育事務所の協力を得て作成した思考力、判断力、表現力等を問う問題を加工可能な様式でCD-Rに集約し、各学校へ配布してあります（平成30年11月5日付け「かごしま学力向上支援Webシステムの活用について（依頼）」）。

問題は、ワープロソフトで作成されているため、問題を改変したり、部分的に活用したりすることができます。単元末の評価問題、定期考査の問題、授業の学習問題、家庭学習の課題（週末や長期休業中を含む。）として活用を図り、学習内容の定着、見届けに活用しましょう。

採点結果は、Webシステムに入力することで正答率や度数分布を確認することができます。

かごしま学力向上支援Webシステム 評価問題・単元対応表（社会科）			
小 5		小 6	
問題番号	単 元	問題番号	単 元
Q 1	主な大陸・海洋、我が国の位置と領土	Q 1	狩猟・採集や農耕の生活
Q 2	地形から見て特色のある地域の人々の生活～【選択】 低い土地のくらし	Q 2	大和朝廷による国土の統一
Q 3	地形から見て特色のある地域の人々の生活～【選択】 高い土地のくらし	Q 3	天皇を中心とした政治の発展

※ Webシステムの『教材集』には、PDF版の評価問題や過去の学力調査の問題も掲載されています。



小5 主な大陸・海洋、我が国の位置と領土
()年()組()番 名前()

1 日本の位置を、方位を表す言葉と資料1にある大陸名と海洋名を使って説明すると、どのように説明できますか。その説明を□に書きましょう。

(資料1)

(例) 日本は、太平洋の西（北西）の端で、ユーラシア大陸の東の端（海上）にある。

(2) 過去の学力調査等の活用

Webシステムの『学びの羅針盤、資料集』には、次に示す学力調査等の過去10年間分の『分類・整理表』が掲載されています。鹿児島学習定着度調査等のどの問題が、どの学年のどの単元で使用できるかが、一覧で示されていますので、単元・題材に応じて計画的に活用すると効果的であると考えられます。

鹿児島県学力調査 （「基礎・基本」定着度調査、鹿児島学習定着度調査） （分類・整理表）
平成20年度～平成29年度実施分
1 国語科
2 社会科

「鹿児島県学力調査（「基礎・基本」定着度調査、鹿児島学習定着度調査）」

(H20～29)

「全国学力・学習状況調査」

(H21～30)

「鹿児島県公立校等学校入学者選抜学力検査」

(H21～30)

小学校第5学年 鹿児島県学力調査（「基礎・基本」定着度調査、鹿児島県学力調査）					
小学校 理科	H30	H29	H28	H27	H26
電流の働き		2-(1)(2)	10-(1)～(3)	8-(1)(2)	4-(2)
空気と水の性質					11-(1)(2)
金属、水、空気と温度		5-(1)(2)	8-(1)～(3)	6-(1)～(3)	6-(1)(2)
		6-(1)(2)		7-(2)	7-(1)(2)
人の体のつくりと運動					
小4				4-(6)	2-(1)(2)